

一審カ該法條ニ依リ判決ヲ下シタルヲ以テ不當トセシハ相當ノ裁判ナリ況ンヤ刑事訴訟法第三百一條第六號ニハ民事上ノ判決トアリテ破産ノ決定ト同視スルヲ得サルニ於テオヤ

○破産者カ有罪行為ヲ行フ際犯者ヲ助ケ又ハ有罪行為ヲ破産者ノ利益ノ爲メニ行ヒタル者ノ如キハ破産宣告ヲ受ケサルモ詐欺破産ノ刑ニ處ス  
○商法第三十一條及第三十二條ハ獨リ商事會社ニ對シ實施シタルモノナレハ前二條ニ該當スル帳簿ナルト否トヲ問ハス債權者ニ損害ヲ被ラシムル意思ヲ以テ商業上必要ナル帳簿ヲ毀滅藏匿シタル者ハ當然有罪破産罪ヲ構成ス

○合名會社ノ業務擔當社員トナリ會社ハ既ニ其當時ニ於テ支拂停止ノ情況ニ陥リ履行スルコト能ハサル事情ヲ熟知シナカラ第三者ヲ誘惑シタル所爲アルトキハ其社員退社後ニ至リ破産ノ宣告ヲ受ケタルモ仍ホ詐欺破産ノ刑責ヲ負フヘキモノトス

○破産者ノ雇人ナルト否トヲ問ハス苟モ詐欺破産ノ行為ヲ幫助シタル者ハ詐欺破産ノ制裁(商法第五十條)ヲ免ル、ヲ得ス  
○仕入帖出入帖ハ商法第一編第四章ノ規定ニ依ラサルモノトスルモ現ニ商業ニ使用スル以上ハ當然商業帳簿ナリ從テ財産ノ現在高チ隠蔽スル

ノ目的ヲ以テ之ヲ毀棄シタル所爲ハ詐欺破産罪ヲ構成ス  
○詐欺破産罪ヲ處斷スルニ該リ商法第五十條ヲ適用セサル判決ハ法律上ノ理由ナクキタル不法アリ

第五十一條 破産宣告ヲ受ケタル債務者カ支拂停止又ハ破産宣告ノ前後ヲ問ハス左ニ掲グル行為ヲ爲シタルトキハ過意破産ノ刑ニ處ス

- 第一 一身又ハ一家ノ過分ナル費用、博奕、空取引又ハ不相應ノ射利ニ因リテ貸方財産ヲ甚シク減少シ若クハ過分ノ債務ヲ負ヒタルトキ
- 第二 支拂停止ヲ延ハサンカ爲メ損失ヲ生スル取引ヲ爲シテ支拂資料ヲ調ヘタルトキ
- 第三 支拂停止ヲ爲シタル後支拂又ハ擔保ヲ爲シテ或ル債權者ニ利ヲ與ヘ財團ニ損害ヲ加ヘタルトキ
- 第四 商業帳簿ヲ秩序ナク記載シ藏匿シ毀滅シ又ハ全ク記載セサルトキ
- 第五 財産目錄、貸借對照表ノ作成若クハ支拂停止届出ノ義務ヲ怠リタルトキ又ハ裁判所ノ許可ヲ得スシテ其住地ヲ離レタルトキ

○商人ニシテ支拂ヲ停止シタルトキハ破産ノ宣告ヲ受クヘキモノトス而シテ其商行爲ナルト否トハ之ヲ問ハサルモノトス  
○支拂停止ハ破産決定ニ依リ確定シタル事實ナリ  
○過意破産ノ決定ニ依リ犯罪ノ當時商人タリシコト確定シタル以上ハ該決定ニ基キ商人ナリトシテ判決スルハ不法ニ非ス

二七	〇	四三
二六	〇	四五
二九	六	一〇八
三〇	二	八一
三一	一	二

三三	一	一〇
三三	九	五
三三	九	五
三七	七	八

○破産ノ宣告ヲ受ケタル債務者ニシテ支拂ヲ停止シタルヨリ五日内ニ其届出ヲ爲サ、リシ事實アル以上ハ其有意ナリシト無意ナリシトナ問ハス懈怠ニ出テタル場合ニ於テハ過意破産ナリトス

(參照)

破産主任官ハ破産ノ理由事情其他ノ事項ニ付キ破産者ハ勿論其他ノ人テ何時ニテモ訊問スルノ權ヲ有スルコトハ商法第百二十二條ニ規定スル所ナリ已ニ其權ヲ有スル以上ハ其權内ニ於テ此調書ヲ作ルヲ得ルハ論ヲ俟タズ

小切手ハ裏書又ハ無記名式ヲ以テ賣買若クハ交換スヘキ約定證券ナリ

凡ソ手形ノ占有者ハ其取得ノ方法正當ニシテ且甚シキ怠慢ニ出テサルトキハ商法第七百一十一條ニ列擧シタル理由アルモノ、外同法第七百十條後段ノ場合ニ非サルヨリハ其取得ノ權利ヲ害セラルトコトナシ

商法第百五十一條第五號ニ所謂義務ヲ履行セサルトキノ文字ニハ怠慢ニ依リ義務ヲ履行セサルモノヲモ包含ス

會社ノ業務擔當社員ヲ詐欺破産ノ刑ニ處スルニ當リ商法第百五十二條ヲ適用セサル判決ハ疑律錯誤ノ不法アリ

手形保證人ナシテ其債務者ト連帶シテ義務ヲ負擔セシムルノ規定(商法第七百五十一條)ハ單ニ債權者ニ對シ連帶責任ヲ負ハシメタルニ止マリ主タル債務者ト保證人トノ權利關係ハ毫モ變更ヲ受クヘキモノニ非ス是故ニ保證人名義ヲ純然タル連帶債務者ノ如ク變更シタル所爲ハ手形變換行使罪ヲ構成ス

三四	二六	二九	二九	二六	三四
五	〇	一	四	五〇	五
一〇七	四五	一九	九四	二四	一〇七

約束手形ノ義務ノ原因ハ必スシモ賣買代金ニ限ラレタルモノニ非ス

約束手形ハ無形入ト雖モ其名ヲ以テ之ヲ振出スコトヲ得

會社ノ業務擔當ノ任アル社員ニシテ不實ノ報告ヲ爲シタルトキハ報告ノ各同毎ニ其罪(商法第二百六十二條)ヲ構成ス

賭博ニ原因スル約束手形ハ其情ヲ知ル者ニ對シテハ約束手形タルノ效力ナシ

商法施行法

第百二十八條 明治二十三年法律第三十二號商法第九百七十八條ヲ左ノ如ク改ム

商人カ支拂ヲ停止シタルトキハ裁判所ハ本人又ハ債權者ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ破産ヲ宣告ス

裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ裁判ヲ爲スコトヲ得此裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

○支拂停止ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ者ハ支拂ヲ停止シタル商人ニ限ルモノトス

民事訴訟法

第六十九條 委任者ノ死亡、訴訟能力若クハ法律上代理ノ變更、委任ノ廢罷及ヒ代理ノ謝

絶ニ因ル委任ノ消滅ハ其消滅ヲ通知スルマテ相手方ニ對シ其效力ナシ

此通知書ハ原告者クハ被告ヨリ受訴裁判所ニ之ヲ差出シ裁判所ハ相手方ニ之ヲ送達ス

商法施行法 民事訴訟法

三二	三三	三三	三三	三二	三二
六	三	三	三	六	六
七一	九〇	三七	三五	七一	七一

可シ

代理人ハ謝絶ヲ爲スモ委任者他ノ方法ヲ以テ自己ノ權利ノ防禦ヲ爲サル間ハ其委任者ノ爲ニ行爲ヲ爲スコトヲ得

○會社ノ解散ニ由リ其會社ノ代理人ノ代理權ハ消滅スルモ訴訟代理人ヲ以テ爲シタル訴訟ニシテ相手方ヨリ何等ノ申立ナキトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ訴訟手續ヲ停止スヘキモノニ非ス

第三百三十一條 前條第一號乃至第四號ニ掲ケタル調書ノ部分ハ法廷ニ於テ之ヲ關係人ニ讀聞カセ又ハ閱覽ノ爲メ之ヲ關係人ニ示ス

調書ニハ前項ノ手續ヲ履ミタルコト及ヒ承諾ヲ爲シタルコト又ハ承諾ヲ拒ミタル理由ヲ附記ス可シ

○民事訴訟法第三百三十一條ノ規定ニ違フト雖モ其調書ハ無効ニ非ス故ニ之ヲ斷罪ノ資料ニ供スルモ不法ナリトセス

第四百十五條 送達ヲ受ク可キ人ニ住居ニ於テ出會ハサルトキハ其住居ニ於テスル送達

ハ成長シタル同居ノ親族又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

此規定ニ從ヒ送達ヲ施行スルコトヲ得サルトキハ其送達ハ交付ス可キ書類ヲ其地ノ市町村長ニ預置キ送達ノ告知書ヲ作り之ヲ住居ノ戸ニ貼附シ且近隣ニ住居スル者二人ニ其旨ヲ口頭ヲ以テ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

○本人不在ノ節ハ送達書類ノ受取方一切ヲ委任セラレタル者ニ爲シタル送達ハ適法ナリ

三四	二九	三四
二	一	二
四七	三四	

第四百三十一條 送達ニ付テハ之ヲ施行スル吏員ハ送達ノ場所、年月日時、方法及ヒ受取人

ノ受取證據ニ送達吏ノ署名捺印ヲ具備スル證書ヲ作ルコトヲ要ス

受取人受取ヲ拒ミ若クハ受取證書ヲ出タスコトヲ拒ミタルトキ又ハ受取證書ヲ作ルコト能ハサル旨ヲ述フルトキハ之ヲ送達證書ニ記載ス可シ

第四百三十三條第三項ノ場合ニ於テハ郵便ニ付シタル吏員ノ報告書ヲ以テ送達ノ證據ト爲スニ足ル

○呼出狀ノ送達書ニハ送達吏ノ署名捺印アルヲ以テ足り其所屬官署ノ印ヲ押捺スルヲ要セス

○送達證書ニハ送達吏ノ署名捺印ヲ具備スルヲ要ス從テ其氏名ノ印刷ニ係ルモノハ無効ナリ

○訴訟記録中ニ存在スル送達證書ニ徴シ適式ニ呼出狀ヲ送達シタルコト明カナル以上ハ辯護人ニ發シタル呼出狀ニシテ不適式ナリヤ否ヤハ上告裁判所ニ於テ審査スヘキ所ニ非ス

○送達證書ノ「送達シタル場所」トアル欄内ニ「本人宅」ト記シアル上ハ送達シタル場所ハ自ラ明カナルヲ以テ特ニ市町村ノ明記ナキモ無効ニ非ス

第四百六十三條 期日ハ事件ノ呼上ヲ以テ始マル  
原告若クハ被告カ期日ノ終ニ至ルマテ辯論ヲ爲サルトキハ期日ヲ怠リタルモノト看

三四	三四	三四	三四
一〇	六	四	二
六	一五	九	五

做ス

○訴訟當事者ノ出頭セリヤ否ハ其者ノ相當ノ座席ニ着キタルト否トニ依テ定マルヘキモノニシテ認廷内ニ居ルト否トニ依テ定マルヘキモノニ非ス

第二編 第一章 第二節 判決

○特別ノ場合ノ外民事ノ裁判ハ刑事ノ判決ニ羈束セラレサルチ一般ノ原則トス

第二百九十九條

證人ハ第二百九十七條第一號及第二百九十八條第四號ノ場合ニ於テ左ノ事項ニ付キ證言ヲ拒ムコトヲ得ス

第一 家族ノ出產、婚姻又ハ死亡

第二 家族ノ關係ニ因リ生スル財產事件ニ關スル事實

第三 證人トシテ立會ヒタル場合ニ於ケル權利行為ノ成立及ヒ旨趣

第四 原告者クハ被告ノ前主又ハ代理人トシテ係争ノ權利關係ニ關シタル行為

前條第一號、第二號ニ掲ケタル者其默秘ス可キ義務ヲ免除セラレタルトキハ證言ヲ拒ムコトヲ得ス

○婚姻事項ニ關シテハ親族ト雖モ證人タルノ資格ナ有ス

第五百六十六條

債務者ノ占有中ニ在ル有體動産ノ差押ハ執達吏其物ヲ占有シテ之ヲ爲ス其物ハ債權者ノ承諾アルトキ又ハ其運搬ヲ爲スニ付テ重大ナル困難アルトキハ之ヲ債務者ノ保管ニ任ス可シ此場合ニ於テハ封印其他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスルトキ

ニ限リ其效力ヲ生ス

執達吏ハ債務者ニ其差押ヲ爲シタルコトヲ通知ス可シ

○差押ノ爲メ執達吏ノ爲メ封印ノ方法ハ物ノ開閉スヘキ部分ヲ封鎖スルニ限ルモノニ非ス從テ馬ノ襟髮ニ施シタル封印ヲ破棄シタルトキハ封印破毀罪ヲ構成ス

○民事訴訟法第五百六十六條ニ依レハ債務者ノ占有中ニ在ル有體動産ノ差押ハ封印其他ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ヘキモノナルヲ以テ差押ヲ爲シタルハトテ常ニ封印ヲ爲シタルモノト云フコトヲ得ス

民事訴訟法第十四條ニ依リ國ヲ代表スルノ規定

第二條 各省大臣ハ省令ヲ以テ所屬特別地方機關中其司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

○大林區署長ハ事務ノ分任トシテ其所屬官吏ヲ指定シ國ヲ代表シテ訴訟ヲ爲サシムルコトヲ得而シテ訴訟事件ノ發生前豫メ之ヲ指定シ置クハ法ノ禁スル所ニ非ス

明治二十三年法律第一百號

民事訴訟法第十四條ニ依リ國ヲ代表スル規定 明治二十三年法律第一百號

三〇 三 二七

二四 一 一〇一

二九 一 三四

三三 四 二五

三四 四 三六

三〇 三 四六

○被告ハ原院カ被告ヲ處罰スルニ未タ實施セサル明治二十三年法律第百一號(破産宣告ヲ受ケタル者ノ處罰)ヲ適用シタルハ不法ナリト論告スレトモ該法律ハ明治二十三年法律第九號ヲ以テ明治二十六年一月一日ヨリ施行ヲ命ジタルモノニシテ其以來會テ之ヲ停止シタルコト無シ故ニ該法律ノ基本タル商法一部ノ施行セラルニ當テハ固ヨリ共ニ施行セラルヘキモノナルヲ以テ原院カ之ヲ適用シタルハ相當ナリ

二七〇四二

### 陸軍治罪法

○陸軍軍法會議理事カ刑事々件ニ關スル調書ヲ作成スル場合ニハ陸軍治罪法ノ法則ニ遵由スヘキモノトス從テ其調書ニシテ刑事訴訟法ノ規定ニ違背スルモ不法ニ非ス

二九九二

明治二十五年敕令第四十六號(明治三十三年三月法律

第二十五號)  
ニ依リ廢止

(參照)

控訴ト共ニ保證金ヲ豫納セスシテ免除ノ請求ヲ爲シ證明書提出期間内ニ更ニ保證金ヲ納付シタリト雖モ其會テ免除ノ請求ヲ爲セシ當時無資力ナリシコトノ證明書ヲ提出セス且巳ニ控訴

ノ期間ヲ經過シタル後ニ係ルニ於テハ其控訴ノ有效ヲ認ムルヲ得ス

上告趣意書ヲ提出スル日ニ於テ豫納金ヲ添付セザルトキハ上告ヲ爲スノ權ヲ失ヒタルモノトス

罰金ノ言渡ヲ受ケタル者上告ヲ爲サントスルトキハ其罰金十分ノ一ニ當ル金額ヲ上告趣意書ニ添へ原裁判所書記局ニ豫納セザル可ラス故ニ之ヲ爲サハ上告ハ法律上成立セザルモノトス罰金ノ言渡ヲ受ケタル者ニシテ上告ノ申立ヲ爲ストキハ其十分ノ一ニ該當スル金額ヲ上告趣意書ニ添へ原裁判所書記局ニ預ケ置クヘシ否ラサレハ其上告ハ成立セス

### 内閣官制

○各省大臣ノ外特旨ニ依リ國務大臣トシテ内閣ニ列セラレタル者ハ大政ヲ輔弼スル内閣員ナリ

### 宮内省官制

○宮内大臣ハ授爵ニ關スル職務ヲ有ス

### 御料局支廳職制

○御料局支廳職制ニ基キ宮内大臣ヨリ其出張所長ニ對シ御料地ニ關スル刑事附帶ノ私訴ヲ爲スコトヲ豫メ特任シアル以上ハ故ラニ一事件毎ニ

二五	二五	二五	二七	二五	二九
五	五	五	〇	五	〇
三四	二五	二八	三四九	二五	二八

之ヲ委任スルノ必要ナシ

郵便及電信局官制

○三等郵便局ハ官署ニシテ其局長ハ官吏ナリ

尋常師範學校官制

○尋常師範學校教諭ハ尋常師範學校官制ニ基ケル官吏ナリ而シテ同制第二條ニ判任官ト同一ノ待遇ヲ受クヘキモノト規定シタルハ官吏トシテノ禮遇ヲ表明シタルニ過キス

沖繩縣間切島吏員規程

○沖繩縣間切長ハ公吏ニ非スシテ官吏ナリトス

市制

○市參事會ヨリ市ノ水道事務員又ハ水道工手ニ任用セラレ其職務ニ従事スル者ハ市ノ附屬吏員ナリ從テ其執務上ノ行爲ハ市吏員ノ行爲トシテ有效ナリトス

○市參事會員ハ市吏員ナリ其常設委員モ亦市吏員ナリ

三四	三〇	三二	三四	三〇	三二
四	六	九	五	六	九
五七	二二	二〇	五四	二二	二〇

町村制

○受負工事ハ營利的事業ナルカ故ニ村タル公法人ノ事業ト爲ステ得スト論スルモ其所謂營利的トハ地元村公共ノ利益ハ勿論村民各自ノ利益ヲ指稱スルニ過キス又受負工事ハ營利的事業ナリトスルモ何カ故ニ營利的事業ハ村ノ公共事業トナルヘカラサル乎只營利的ニ非サルモノヲ以テ常トスト云フニ過キス町村制ノ明文ニ依リテ其精神ニ照シ視レハ村ハ行政機關ノ一法人ナルカ故ニ其弊ナカラシメンカ爲メ行政官廳ノ監督ヲ受ケシムルノミ故ニ本件受負工事ハ事實村ノ公共事務ニシテ村長モ亦其資格ヲ以テ事務執行ニ當ルヘキチ當然トス

○町村長ハ町村制第三十九條ニ依リ當然町村會ノ議長ト爲ルコトヲ得ヘシ是故ニ町村會ヲ開クノ必要アル場合ニ當リ議長ノ名義ヲ用ヒス町村長ノ名義ヲ以テ議員ヲ召集スルモ權限外ノ處置ト爲ステ得ス從テ其召集ニ應シタル議員ハ不適法ノ議員ニ非ス

○町村助役ハ町村ノ公文書類ヲ保管スルノ責任ヲ有ス

○部落所有ノ財産ヲ管理スルハ町村長ノ固有ノ職權ニシテ他人ニ代理セシムルコトヲ得ス

二六	三〇	三〇	三三	三〇	三三
〇	一〇	三	三	一〇	三
一九五	二	一七	六	二	六

- 村會ノ議事録ハ村長ノ管掌ニ係ル公文書ナリ
- 村會ノ議事録ハ村長助役兩名ノ管掌ニ係ル文書ナリ
- 町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助スルモノナレハ特ニ其代理ヲ爲ス場合ニ非サルモ役場印ハ當然之ヲ監守スルノ責アリ

市町村會議員選舉罰則

- 市町村會議員選舉罰則第七條ハ普通一般ノ人ニ適用スヘキ規定ニシテ選舉長ノ如キ選舉ノ結果ヲ報告スヘキ任務ヲ有スル者ニ適用スヘキ規定ニ非ス
- 拐引其他ノ手段ヲ以テ選舉權ノ施行ヲ妨害シタルトキハ其目的ヲ達スルト否トニ拘ラス明治二十三年法律第三十九號市町村會議員選舉罰則第七條ノ犯罪ヲ構成ス
- 市町村會議員選舉罰則第五條ニ依リ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ處斷スル場合ニハ特ニ同則第二條ヲ引用スルヲ要セス

郵便法

(參照)

郵便條例ニ所謂郵便物隠蔽ノ所爲ニハ竊取ノ意圖ヲ包含セス從テ之ヲ開封シ封中ノ印形又

三三	三五	三六
三一	三五	三六
三二	三五	三六

三三	三五	三六
三一	三五	三六
三二	三五	三六

三四	三九	三〇
三三	三九	三〇
三二	三九	三〇

ハ貯金拂戻證書ヲ隠蔽スルモ別ニ竊盜罪ヲ構成セス  
 郵便稅ヲ免ル、目的ヲ以テ使用濟ノ郵便證書ヲ使用シタル所爲ハ刑法第九十九條ノ犯罪ニ非スシテ郵便條例第二百三十七條ノ犯罪ナリ  
 郵便條例第二百三十四條ニ所謂「己レニ屬セサル郵便物ヲ開封シ云々」トアルハ信書ノ秘密ヲ侵ス意思ヲ以テ開封シタル場合ヲ謂フニ止マリ竊盜ノ目的ヲ遂行スル意思ヲ以テ開封シタル場合ヲ包含セス

移民保護法

- 移民保護法違反事件ニ付移民株式會社ノ社長ヲ處罰スルニ當リ其社長ノ資格ハ業務擔當社員ニ相當スルヤ又ハ取締役ニ相當スルヤ否ノ事實ヲ明示セサル判決ハ理由不備ノ不法アリ
- 移民保護法第二十四條ノ代理人ニハ官許ヲ得サル代理人ヲ包含セス
- 移民保護法第五條ニ所謂渡航ノ周旋トハ渡航ノ爲メ助力ヲ與フルノ意義ナリ
- 移民保護法施行細則第一條第二號中ニハ雜貨店手傳ヲ包含スルモノトス
- 移民保護法第五條ノ移民取扱人トハ移民ヲ募集シ又ハ其渡航ヲ周旋スルヲ營業トスル者ヲ云フ從テ同法第二十三條ヲ適用スルニハ被告カ移

三四	三〇	三〇	三〇
三一	三九	三六	三六
三二	三九	三六	三六

民取扱人ノ行爲即チ募集又ハ渡航ノ周旋ヲ營業トシタルノ事實アルチ必要トス

### 葉煙草專賣法

○煙草製造營業、許可ハ各營業者ニ對シ與フルモノニシテ營業者死亡シタルトキハ其相續人ト雖モ許可ヲ受ケスシテ營業ヲ繼承シ得ヘキ法律ノ規定ナシ

### 葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律

#### 施行細則

○官吏公吏ノ作成スヘキ書類ト雖モ特別法ノ規定アル場合ニ於テハ其特別法ニ依テ作成スヘキモノニシテ刑事訴訟法第二十條ノ規定ニ則ルヘキモノニ非ス

### 煙草稅則 (明治二十九年三月法律第三十) (五號葉煙草專賣法ニ依リ廢止)

(參照)

煙草製造人ニ非ス又其雇人ニ非サル者ハ權令ヒ製造人ノ依頼ヲ受クルモ煙草製造ヲ爲スコトヲ得ス  
犯則製造ノ所爲半期内ニ止ルトキハ之ニ科スヘキ罰金ハ製造營業稅半個年分ノ三倍ナリ  
帳簿ニ虛偽ノ記載ヲ爲スモ其目的稅稅ニ在ラサル者又ハ元來帳簿ニ記載スル義務ナキ者ハ煙草稅則第二十五條ノ制裁ヲ受ク可キニ非ス  
稅則ニ違犯シテ製造シタル煙草及ヒ其用ニ供シタル器械ハ犯人ノ所有ニ係ルトキニ非レハ沒收スルコトヲ得ス

### 會計法

○會計法第十條ニ所謂當該官吏トハ廣ク租稅徵收ノ資格ヲ有スル者ノ謂ニシテ必スシモ收入官吏ニ限ルモノニ非ス

### 通貨及證券模造取締法

○通貨及ヒ證券模造取締法第一條ハ其目的ノ如何ヲ問ハス苟モ兌換銀行券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シタル以上ハ之ヲ處罰スル趣旨ナリトス

### 國稅徵收法

會計法 通貨及證券模造取締法 國稅徵收法

三四	三三	二四	二四	二四	二四
九	一〇	一	一	一	一
二四	六	五六	五六	五六	五六

三三	三四	三四
七	五	六
二四	三	七



○國稅徵收法第三十二條第一項ハ納稅者カ其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ契約ヲ爲シ以テ國庫ニ損害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスル者ヲ罰スルモノトス從テ滯納者トナリタル後ノ行爲ノミヲ罰スルノ法意ニ非ス

○酒類製造營業者妻カ共謀シテ營業者ノ財産ヲ隱匿シタル所爲ハ犯罪ヲ幫助シタルニ過キササルヲ以テ國稅徵收法第三十二條第一項ヲ以テ論スヘキモノニ非スシテ同條第三項ヲ以テ論スヘキモノトス

間接國稅犯則者處分法

○收稅屬臨檢ノ際犯則者ヲ發見シタル場合ニアリテハ間接國稅犯則者處分法第六條ノ法則ニ基キ犯則者及證人ヲ訊問スルヲ得而シテ同法ハ其訊問方法ニ制限ヲ設クルコトナシ

○間稅官吏ハ間接國稅犯則者處分法第六條ニ基キ證人ヲ訊問スルノ職權ヲ有ス

○收稅官吏カ稅則違犯事件ニ付キ調書ヲ作成スルニ該リテハ間接國稅犯則者處分法ニ依ルヘキモノニシテ刑事訴訟法ノ規定ニ從フヘキモノニ非ス

○間稅官吏カ臨檢ノ際ニ非スシテ被告人ヲ訊問シ調書ヲ作成スルハ不法

三四	三四	二九	二九	三四	三四
七	七	七	六	七	四
四	四	六	八	四	七九

ナリ

○間稅署長カ間接國稅犯則者處分法第十四條第一項第十五條ニ該當スル者ト認ムルトキハ同法第十一條ニ定メタル手續ヲ履踐セスシテ直ニ告發ヲ爲スコトヲ得

○間稅官吏カ犯罪者本人其他ノ者ヲ訊問スルニハ刑事訴訟法ニ據ルヘキモノニ非スシテ間接國稅犯則者處分法第六條ニ據ルヘキモノトス而シテ同條ニ據レハ訊問ニ立會人ヲ要セス

○本人ノ立會ナクシテ作成シタル間稅官吏ノ臨檢調書ハ無効ナリ

○間稅官吏ノ犯則者及ヒ其他ノ者ヲ訊問スル手續ハ刑事訴訟法ノ規定ニ據ルヘキモノニ非ス

○間稅官吏ハ臨檢ノ後其場所以外ニ於テモ必要ニ應シ犯則者及ヒ證人ヲ尋問スルコトヲ得

○收稅官吏ハ犯則事件ノ調査ヲ終リタル後證憑湮滅ノ虞アルトキハ直ニ之ヲ告發スルノ職權ヲ有ス而シテ證憑湮滅ノ虞アリヤ否ヤハ當時ノ情況ニ徵シ當該官吏ノ査定スヘキモノトス

國稅滯納處分法 (明治三十年三月法律第 二十一號ヲ以テ廢止)

三四	三四	三三	三三	三三	三三
九	九	五	三	九	六
三	一九	三	七	九	四

(參照)

滞納處分ノ爲メ財産ノ差押ヲ免脱セントスルノ意思ニ出テタル行爲ハ即チ滞納處分ニ對スルノ行爲ニシテ法文ニ滞納處分ニ對シ云々トアルハ其處分開始ノ前後ヲ問フヘキモノニ非ス

森林法

- 贓物ヲ以テ他ノ物品ヲ製造シタル以上ハ他ノ物品ノ如何ナル物タルヲ問ハス森林法第三十八條第二ヲ適用處斷スヘキモノトス
- 森林竊盜ニシテ森林法第三十八條ノ各號中其一ニ當ル所爲アルトキハ同條第一項ヲ適用スヘキモノトス從テ認定ノ事實ニシテ數號ニ涉ル場合ト雖モ其一ヲ判示スルヲ以テ足ル

狩獵法

- 狩獵禁制ノ場所ニ於テ狩獵ヲ爲シタルトキハ狩獵ニ用ヒタル銃及ヒ網等ハ罪體ニシテ犯罪ノ用ニ供シタル物件ニ非ス
- 狩獵トハ銃及ヒ網等ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルヲ云フ

登録税法

- 登録税法ハ收税ヲ目的トシタル法律ニシテ其登録ヲ以テ婚姻ノ條件ト

ナシタルモノニ非ス

取引所法

- 取引所法ニ依リ處斷スヘキ犯罪ニシテ二人共犯ニ係ルトキハ刑法總則ニ從フヘキモノナレハ同法第五條第二項ヲ適用スヘキモノトス
- 仲買人ト雖モ取引所外ニ於テ賣買取引ヲ爲シタルトキハ當然取引所法第二十五條ノ違犯者トシテ制裁ヲ科セラルヘモノトス
- 取引所外ニ於テ取引所ノ取引ト同一ノ方法ニ依リ賣買取引ヲ爲シタル以上ハ賣手買手ノ外取引所ニ代ルヘキ中間者ナキモ之ヲ以テ取引所ノ取引ト同一ノ方法ニ非スト云フヲ得ス

米商會所條例 (明治二十六年三月法 律第六號ニ依リ廢止)

(參照)

米商仲買人ト雖モ普通人ノ資格ヲ以テ他ノ仲買人ニ依賴シ規則ニ違ヒ賣買取引ヲ爲スハ條例ノ禁スル所ニ非ス  
米商仲買人方賣買本人ノ依頼ニ應ジ其帳簿ニ假設ノ名義人ヲ掲ケ本人ノ姓名ヲ記載セザルモ條例違犯ニ非ス

明治十三年布告第二十一號 (明治二十六年三月法律)

取引法 米商會所條例 明治十三年布告第二十一號

五三七

二六	三三	三四	三〇	三〇	三〇
〇	三	三	九	五	三
一六	五	一	九	四	二

第六號ニ依リ廢止

(參照)

取引所條例ニ觸レ過意金ヲ科セラレタルモ個々取引所力其者ニ對スル一ノ懲戒處分ニ過キサルヲ以テ之レカ爲メ一般法律ノ規定スル刑罰ノ責ヲ免ルコトヲ得ス

明治二十年敕令第十一號(明治二十六年三月法律第六號ニ依リ)

廢止

(參照)

取引所條例ニ觸レ過意金ヲ科セラレタルモ個々取引所力其者ニ對スル一ノ懲戒處分ニ過キサルヲ以テ之レカ爲メ一般法律ノ規定スル刑罰ノ責ヲ免ルコトヲ得ス

登記法(明治三十二年二月法律第二十號)四號不動産登記法ニ依リ廢止

(參照)

登記法第十條ハ契約者雙方ノ請求アレハ登記ノ取消ヲ許ス

善意ノ買得者ト雖モ其買得ノ地所犯罪行為ニ原因セシモノナルトキハ登記法第六條ヲ援用シテ眞所有者ニ對抗スルヲ得ス

他人ノ所有ニ屬スル地所ノ賣渡證書及登記委任狀ヲ偽造シテ登記ヲ受ケ所有名義ヲ變更シタル所爲ハ文書偽造行使ノ結果ニシテ地所ノ騙取ニ非ス

三	二九	二九	二五	二五
三	九	八	四	四
三	一五	五八	四	四

酒造税法

- 免許ヲ受ケスシテ製造シタル酒類ハ法律ニ於テ禁制シタル物件ニ非ス
- 酒類請賣營業人甲者ノ代理人乙者ニシテ其業務擔當中免許ヲ得スシテ酒類ヲ製造シタルトキハ乙者ハ酒造税法第二條第二十二條ノ制裁ヲ免カルヲ得ス

- 酒類ヲ製造セントスル者ハ製造場一箇所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘキモノトス從テ免許ヲ受ケタル製造場以外ニ於テ酒類ヲ製造シタルトキハ免許ヲ受ケスシテ製造シタルモノトス
- 免稅處分濟ノ腐敗酒ヲ原料トシ更ニ清酒ヲ製造シタル所爲ハ免許ヲ受ケスシテ清酒ヲ製造シタルモノナリトス

混成酒税法(明治三十四年三月法律第八號ニ依リ廢止)

(參照)

混成酒税法違犯者ヲ處罰スルニ當リ其製造シタル混成酒ノ種類ヲ明示セサル判決ハ理由不備ノ不法アリ

酒精ニ水ヲ混和シ一種ノ飲料酒類ヲ製造シテ販賣シタル所爲ハ混成酒税法ニ違反シタルモノトス

三	三	三	三	三
三	六	六	六	六
一	六	七	七	七

酒造稅則 (明治二十九年三月法律第二) 十八號酒造稅法ニ依リ廢止

(參照)

生醜モ醸造ニ係ルヲ以テ酒類ニ非スト云フヲ得ス  
酒類隱蔽ノ所爲ハ繼續犯ナリ從テ之ヲ發見シタルトキハ現行犯トシテ處分スルコトヲ得ヘシ  
酒造稅則第三十一條ニ依リ造石稅三倍ノ罰金ヲ科スルニハ清酒ノ石數ニ基キ其額ヲ算定スル  
モノトス是故ニ清酒ノ石數ニ依ラズシテ膠ノ石數ニ對シ罰金額ヲ算定シタル判決ハ擬律錯誤  
シ不法アリ

酒精營業稅法 (明治三十四年三月法律第八號酒) 精及酒精含有飲料法ニ依リ廢止

(參照)

密賣ノ目的ヲ以テ酒精ヲ買入レ販賣ノ準備ヲナシタル所爲ハ酒精營業稅法第十條ニ所謂ル無  
免許營業者トシテ處分スヘキモノトス  
營業ノ免許ヲ受ケスシテ酒精ヲ販賣シタル場合ニアリテハ其製造又ハ買入ハ酒精營業稅法發  
布以前ニ係ルモ仍ホ同法ノ制裁ヲ受クヘキモノトス  
營業ノ免許ヲ受ケスシテ酒精ヲ販賣シタル所爲アルトキハ其製造又ハ買入ノ日時カ酒精營業  
稅法發布以前ニ係ルモ仍ホ同法ノ制裁ヲ受クヘキモノトス  
無免許ニテ酒精ヲ販賣シ利益ヲ得ルノ目的ヲ以テ酒精ヲ買入儲藏シ置キタル場合ニアリテハ  
未タ其酒精ハ販賣セサルモ無免許ニテ酒精營業ヲ爲シタルモノトス

二五	二八	二元	二元	二元	二元	二元
四	三	八	九	六	九	三
一〇一	一九四	三	七	七	八	七

密賣ノ目的ヲ以テ酒精ヲ購買シタル以上ハ未タ之ヲ販賣セサルモ酒精營業稅法第十條ニ所謂  
無免許營業ナリ  
酒精營業ナルト其他ノ營業ナルトト間ハス苟モ營業ニ供スル目的ヲ以テ酒精ヲ買入レタル者  
ハ酒精營業稅法第一條ニ所謂自用者ニ非ス

遺失物法

- 家宅内ニ於テ拾得シタル物件ヲ不正ニ處分シタル所爲ハ遺失物法第十  
六條ノ犯罪ヲ構成ス
- 他人カ置忘レタル物品ヲ取り之ヲ隱匿シタル所爲ハ遺失物法ヲ適用ス  
ヘキモノニシテ委託物消費罪ヲ以テ論スヘキモノニ非ス
- 被雇主カ雇主ノ命ニ依リ他人ヨリ金錢ヲ受取ルニ當リ他人カ錯誤ニ依  
リ過渡シタル金錢ヲ受ケ之ヲ隱匿シタルハトテ雇主ト被雇主トノ間ニ  
委託關係ヲ生スルコトナシ從テ被雇主ノ所爲ニ對シテハ遺失物法第十  
二條ヲ適用スヘキモノトス
- 遺失物法第十二條ノ所謂誤テ占有シタル物件ニハ受領者ノ錯誤ニ非ス  
シテ交付者ノ錯誤ニ依テ之ヲ占有シタルモノヲモ包含ス

登記印紙規則

三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八
四	三	三	五	五	九	九
四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七

○登記印紙ハ登記税ニ外ナラス從テ一旦正當ノ印紙ヲ貼用シ登記ヲ經タル以上ハ縱令未ダ消印ヲ爲サルモ印紙ノ效用ヲ遂ケタルモノトス

○登記ノ消印ハ官ノ印章ナリ

爆發物取締規則

○既ニ爆發スヘキ性質ヲ具備セル諸原料ヲ自己ノ手ニ取集メ必要アルトキハ自由ニ使用シ爆發セシムルコトヲ得ヘキモノトナシタル以上ハ縱令ヒ其藥品其他ノ物品ヲ調合シ一物體ト爲サルモ爆發物ヲ所持シタルニ外ナラサルヲ以テ爆發物取締規則第三條ニ據リ重懲役ニ處スヘキモノニシテ火藥取締規則第二十五條ニ據リ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノニ非ス

○爆發物取締規則第九條ニ謂フ所ノ湮滅トハ刑法第五百二十二條ニ謂フ如キ罪證ト爲ル可キ物件ナルニ於テハ其物件ノ消滅セサル以上ハ之ヲ湮滅ト云フヲ得サルモ第九條ニハ罪證ノ湮滅ト云ヒ物件其モノ、湮滅ニ非サルカ故ニ縱令物件ノ形體ハ存スルモ其隱シテ罪證ト爲ルヲ得サルニ至ラシメタルニ於テハ則チ罪證ヲ湮滅シタルモノト云ハサルヲ得ス

火藥取締規則 (明治三十二年八月法律第百六號銃砲火藥取締法ニ依リ廢止)

(參照)

既ニ爆發スヘキ性質ヲ具備セル諸原料ヲ自己ノ手ニ取集メ必要アルトキハ自由ニ使用シ爆發セシムルコトヲ得ヘキモノトナシタル以上ハ縱令ヒ其藥品其他ノ物品ヲ調合シ一物體ト爲サルモ爆發物ヲ所持シタルニ外ナラサルヲ以テ爆發物取締規則第三條ニ據リ重懲役ニ處スヘキモノニシテ火藥取締規則第二十五條ニ據リ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノニ非ス

官廳ノ委任ヲ受ケスシテ火藥ヲ製造シタル者ハ明治十七年第三十一號布告火藥取締規則第二十五條ノ私ニ製造シタルモノナルヲ以テ同規則ノ時代ニ於テ犯シタルトキハ同條項ノ制裁ヲ免カレサルモノトス

蠶種検査規則 (明治三十年三月法律第十號蠶種検査法ニ依リ廢止)

(參照)

蠶種検査所ハ官廳ニシテ公署ニ非ス

藥品營業並藥品取扱規則

○藥種商ニシテ阿片賣買ニ關スル違反者ハ明治二十二年法律第十號藥品

火藥取締規則 蠶種検査規則 藥品營業並藥品取扱規則 五四三

三三  
六六  
五四

二五  
一一  
三三

二八  
〇〇  
四三六

二五  
一一  
三三

三三  
一〇  
二二

三〇  
一一  
一四

營業並ニ藥品取扱規則第四十五條ニ基キ明治十一年第二十一號布告藥用阿片賣買並ニ製造規則第九條第十六條ヲ適用シテ處斷スヘキモノトス

○藥品營業並藥品取扱規則第三十九條ハ毒藥劇藥ハ之ヲ營業者ノ監守スヘキ場所ニ貯藏スヘキコトヲ命シタルモノトス而シテ之ヲ他人ニ預ケ置キタルトキハ該條ニ違背シタルモノトス

執達吏規則

○執達吏ハ官吏ニシテ公吏ニ非ス從テ其代理者モ亦官吏トシテ處分ス

○執達吏ハ官吏ニシテ公吏ニ非ス〔同一判例二八年五卷一頁二九年九卷七五頁〕

斷獄則例

○斷獄則例ハ檢事カ檢察事務ヲ執ル場合ノ規定ニシテ民事訴訟人トシテ出廷スル場合ヲ包含セズ

特別輸出港規則

○特別輸出港ハ開港場ニ非ス

公證人規則

○公證人規則ニ所謂囑託人トハ囑託者本人ノ謂ニシテ其代理人ヲ包含セズ

執達吏手数料規則

○執達吏ノ旅費手数料ハ執達吏手数料規則ニ依リ執達吏自ラ收入スヘキモノニシテ職務上監守スヘキモノニ非ス

稅關規則

○甲港ニ於テ他ノ貨物ト共ニ輸入手續ヲ爲スヘキ物品ヲ故ラニ積荷目錄ニ記載セスシテ乙港ニ廻漕シタル所爲ハ稅關規則第十五條ノ法則ニ違背シタルモノトス

賣藥規則

○賣藥規則ニ違犯シタル製藥沒入ノ判決ハ單ニ其現行高ヲ明示スルヲ以

三〇	三	二六	三三	三〇
七	三	四	三	四
八	三四	二四	五九	二六

三	三〇	二九	三
二	四	一	五
六	二六	五	二

充足レリトシ必スシモ製造高ヲ確定スルヲ要セス

(參照)

藥種商業者單純ノ藥種ヲ出賣シ又ハ出賣セシムルモ配伍調製ヲ爲サス又分量ヲ定メ效能書ヲ附セサルトキハ縦ヒ小瓶又ハ小包ニ分チテ賣却スルモ賣藥ノ販賣ニ非ス  
免許ヲ受ケタル賣藥ニ劇藥ヲ私ニ配伍シタル所爲ハ賣藥規則第二十二條ニ所謂免許ヲ受ケスシテ私ニ藥味ヲ改更シタルモノナルヲ以テ同條ニ依リ處斷スヘキ旨ナルニ原裁判所ハ之ヲ賣藥ノ私ニ賣藥ニ配合シテ販賣シタルモノト斷定シ同則第二十五條ニ依テ罰シタルハ疑律錯誤ナリ

賣藥規則第二十五條ニ所謂ル有毒藥トハ毒藥ノミヲ指シタルモノニシテ劇藥ヲ包含セス  
賣藥規則第一條ニ所謂賣藥トハ其效能書ヲ附シタルモノトミテ意味スルニ非ス縱令之ヲ付セサルモ效能用法ヲ口授シ若クハ又々他人既ニ效能書ヲ付シテ販賣シ來レル賣藥ト同一ナル藥劑ヲ調製シテ販賣スルモノ、如キモ亦々此法條ニ包含セラルヘサモノトス  
配伍調製セサル單純ナル藥品ト雖モ其分量ヲ定メ瓶ニ詰メ又ハ包ニ入レ效能書若クハ之下同視スヘキ方法ヲ以テ治病ノ效能ヲ知ラシメタルトキハ賣藥規則第一條ニ所謂賣藥ナリトス

新聞紙條例

○凡ソ新聞紙ニ記載シタル事項ニシテ苟モ現時豫審中ニ係ル秘密ノ手續ニ關スル上ハ縱令其記載スル所多少實際ノ手續ト異ル點アルモ又名チ道路ノ風説等ニ藉ルモ新聞紙條例第十六條ノ制裁ヲ免ル、コトヲ得ス

二六	三	一
二四	一	八
二六	三〇	七
二六	五	一九
二九	一〇	三
二五	五	六

○秘密ニ屬シ公ニセサル官ノ文書ヲ裁判所ノ公廷ニ於テ證據トシテ提出セテレ其證據調ヲ經タルニモセヨ裁判所ハ裁判ヲ公行シタルニ在リテ其文書ヲ公ニスルカ爲メノ目的ニ非サルヲ以テ尙ホ之カ秘密ヲ保ツノ要アルニ於テハ當該官廳ハ之ヲ秘密ニスルノ責任ヲ有ス故ニ當該官廳ノ許可ヲ得スシテ私專ニ之ヲ新聞紙ニ掲載スルヲ得サルモノトス  
○新聞紙條例第十七條ニ所謂刑律ニ觸レタル犯罪人トアルハ一旦刑律ニ觸レタル以上ハ其刑ノ執行ヲ終了シタルト否ト又其者ノ既ニ死亡シタルト否トヲ問ハス總テ包含スヘキモノトス

○新聞紙條例第十六條第一項ニ所謂豫審ニ關スル事項トハ豫審ニ繫リタル被告事件ノ内容ニ屬スル事項ヲ謂フ從テ其外形ニ顯ハレタル加害者若クハ被害者ノ氏名及ヒ殺害前後ノ模様ニ付別ニ新聞社カ聞知シタル事柄ヲ新聞紙ニ掲載スルハ右ノ條項ニ抵觸スルモノニ非ス  
○新聞紙條例違犯ニ付テハ再犯加重例ヲ用ヒス  
○新聞紙條例第十六條ニ所謂豫審ニ關スル事項トハ豫審ニ係ル被告事件ノ内容ヲ謂フ  
○新聞紙條例違反罪ト他ノ犯罪ト俱發シタルトキハ他ノ犯罪カ刑法上ノ犯罪ナルト否トヲ問ハス總テ刑法ノ數罪俱發例ヲ適用セス

二六	〇	四七
二九	七	六
三三	六	三
三三	二	七
三五	五	七
三五	五	七

○新聞紙ニ猥褻ノ記事ヲ掲載シ世人ヲシテ一見羞恥厭惡ノ感情ヲ起サシムル所爲ハ風俗壞亂ノ事項ヲ記載シタルモノトス

○新聞紙條例第二十五條ハ官吏侮辱事件ニ適用スルコトヲ得ス

### 國立銀行條例

○國立銀行ニ於テ使用スル傳票ハ金錢ノ出納ニ關スル證明書ニシテ銀行條例第八十五條ニ所謂證書ニ包含スヘキモノトス

○銀行ノ損失ヲ隱蔽センカ爲メ銀行帳簿ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル所爲ニ對シ刑法第二百十條第一項ヲ適用シタル上ハ別ニ國立銀行條例(第八十五條)ヲ適用スルヲ要セズ

### 水利組合條例

○水害豫防費ニ付テハ水利組合條例第三十條後段ニ依リ町村長管理者タル場合ニ於テ其收入役ハ監守ノ責任アリ

### 商標條例(明治三十二年三月法律第三十八號商標法ニ依リ廢止)

(廢止)

商標條例第二十三條第一項ハ苟クモ他人ノ登録商標ナルコトヲ知リナカラ之ト同一又ハ類似ノ商標ヲ貼付シアル同一ノ商品ヲ販賣シタル者ハ其貼付者ノ何人タルヲ問ハズ即チ使用シテ販賣シタルモノトス

他人ノ商標登録ヲ受ケ居ル事實ヲ知リナカラ其商標ノ表示アル空函ヲ買集メ之ニ自己ノ製造シタル物品ヲ容レテ販賣シタル所爲ハ商標條例第二十三條第一項ニ違背シタルモノトス

### 鑛業條例

○鑛業條例第七十八條ニ所謂特許ヲ得スシテ探掘ヲ爲シタル者トハ探掘者ノ有意ナルト無意ナルトヲ問ハズ總テ之ヲ包含ス

### 兌換銀行券條例

○兌換銀行券ノ偽造變造ニ關スル犯罪ヲ刑法ノ偽造紙幣ノ各本條ニ照シテ處斷スルハ兌換銀行券條例第十二條ノ規定ニ依ルヘキモノトス從テ兌換銀行券ノ偽造變造ニ關スル犯罪ヲ處斷スルニ當リ該法則ヲ適用セサル判決ハ不法ナリ

(同旨)

兌換銀行券偽造罪ヲ處斷スルニ當リ日本銀行兌換券銀行條例第十二條ヲ適用セサル判決ハ法律ノ理由ヲ明示セサル瑕疵アリトス

鑛業條例 兌換銀行券條例

三	三	二九	三四	三三
四	九	六	一	九
五九	三四	三二	三四	二九

二九	三四	三三	三三	二九
二	五	八	七	七
三四	一六	一	八	三三



豫戒令

○豫戒命令ニ定メタル期間内ニ適法ノ生業ニ就カサル爲メ豫戒令第二條第一號ノ違犯者トシテ處罰セラレタル以上ハ爾後適法ノ生業ニ就カサレハトテ再ヒ處罰セラルヘキモノニ非ス

徵兵令

○徵兵忌避罪ハ徵兵令第三條ノ徵兵適齡ニ達シテ初メテ成立スヘキモノトス

○徵兵忌避ノ豫備手段トシテ虚偽ノ入籍届ヲ爲スモ犯罪ヲ構成スルコトナシ

○徵兵適齡以前ニ於テ兵役ヲ免カル、爲メニ用ヒタル詐欺ノ所爲ハ徵兵忌避罪ノ豫備ニ止マリ滿二十年ニ達シテ始メテ其犯罪ヲ構成ス

明治十四年第七十三號(明治三十一年六月法律第十一號民法施行

法ニ依リ廢止)

(參照)

三	二	三四
三	三	二〇
三	三	二〇
三	五	五一

要ノ犯罪ニ因テ他人ニ加ヘタル損害ハ其夫民事擔當人トシテ賠償ノ責ニ任スヘキモノトス

明治三十一年敕令第百八十七號

○發布ノ日ヨリ施行スル敕令ニ違反セシ所爲アルトキハ其發布ヲ知リタルト否トヲ問ハス制裁ヲ免カル、ヲ得ス

明治六年第三十六號布告

○年齢ノ計算ハ月ヲ以テスヘキモノニシテ日ヲ以テスヘキモノニ非ス

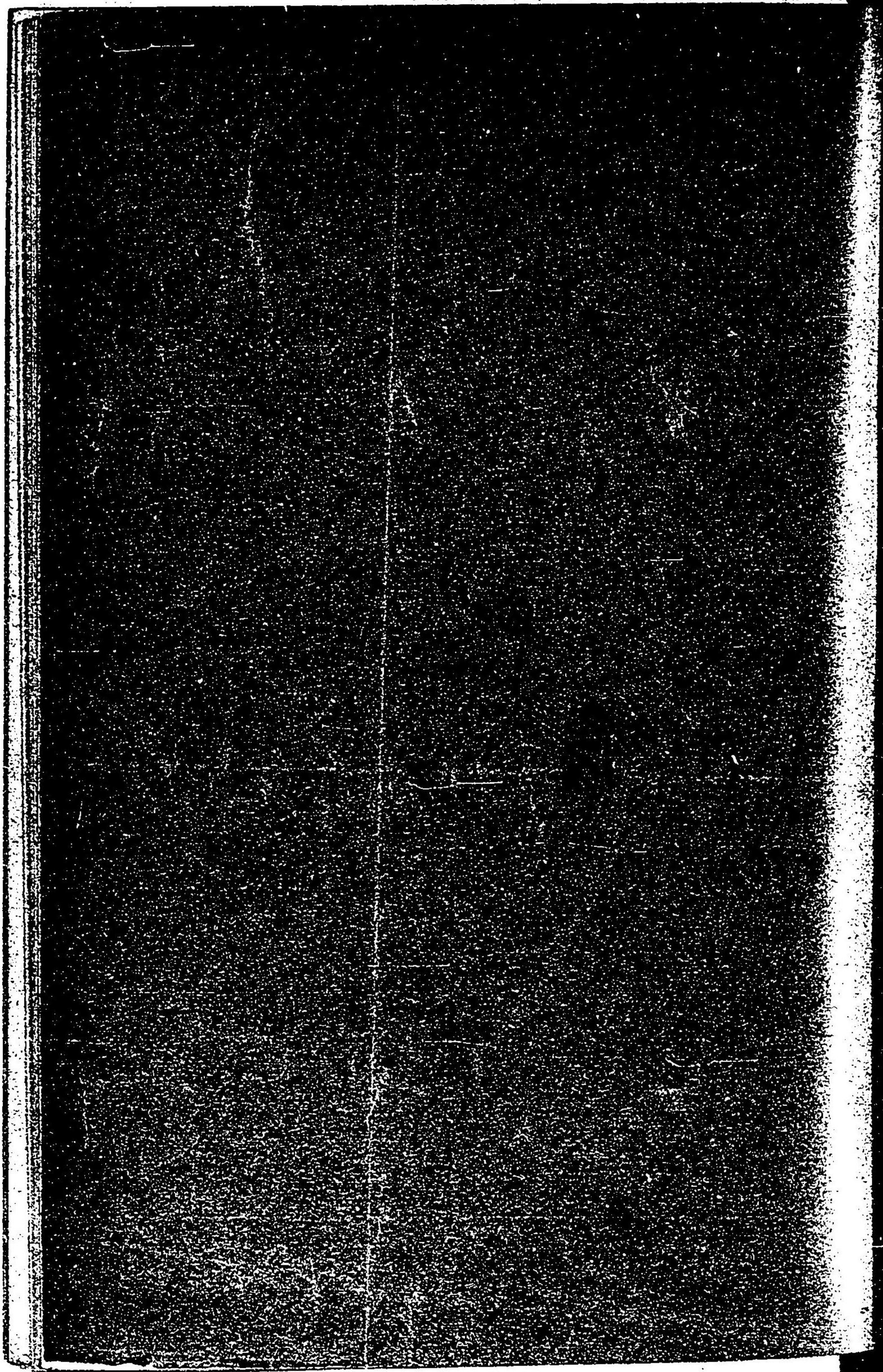
明治六年第二號太政官布告

○一月一日ヨリ三日マテハ法律上ノ休暇ナリ

明治二十二年法律第二十八號

○議員ノ公務上ノ言論行爲ニ付公然誹毀シタルトキハ其議席ニアルト控席ニアルトヲ問ハス總テ明治二十二年法律第二十八號第二條ノ制裁ヲ受クヘキモノトス

三〇	二	六九
三	一	二五
三	九	二六
三	九	五
三〇	三	一七



THE HISTORY OF THE  
CITY OF BOSTON  
FROM THE FIRST SETTLEMENT  
TO THE PRESENT TIME  
BY NATHANIEL BENTLEY  
VOLUME I  
PUBLISHED BY W. BENTLEY  
1822

大審院藏版

(自明治三十五年至同三十八年)

大審院刑事判例要旨類集

中央大學發行

大審院刑事判例要旨類集追錄 目次

刑 法

第一編 總則

第一章 法例

第 三 條

第 五 條

第二章 刑例

第三節 附加刑處分

第 四 十 三 條

第 四 十 四 條

第四節 徵價處分

第 四 十 五 條

第 四 十 七 條

第 四 十 八 條

目次

一〇 同 同 九 八 同 同 同 三 同 同 一

第五節	刑期計算	一
第五十一條		一
第三章	加減例	一
第七十條		一
第四章	不論罪及ヒ減輕	一
第一節	不論罪及ヒ宥恕減輕	一
第七十七條		一
第二節	自首減輕	一
第八十五條		一
第五章	再犯加重	一
第九十一條		一
第九十二條		一
第九十五條		一
第七章	數罪俱發	同
第一百條		同
第一百二條		同
第八章	數人共犯	二

第一節	正犯	二
第一百四條		二
第一百五條		二
第一百六條		二
第一百八條		同
第二節	從犯	三
第一百九條		三〇
第九章	未遂犯罪	三
第一百十二條		三
第十章	親屬例	三
第一百四條		三
第一百五條		三
第二編	公益ニ關スル重罪輕罪	三
第三章	靜謐ヲ害スル罪	三
第一節	兇徒聚衆ノ罪	同
第一百三十七條		同
第二節	官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪	三

第三百三十九條	三六
第四百一十一條	三八
第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪	四〇
第四百四十四條	同
第四百五十一條	同
第四百五十二條	四一
第六節 往來通信ヲ妨害スル罪	同
第四百六十二條	同
第四百六十五條	同
第四百六十七條	同
第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪	同
第四百七十四條	同
第四章 信用ヲ害スル罪	同
第一節 貨幣ヲ偽造スル罪	四五
第四百八十二條	同
第四百八十六條	同
第四百九十條	四六
	四七

第二節 官印ヲ偽造スル罪	同
第四百九十五條	同
第四百九十六條	四九
第四百九十七條	同
第四百九十八條	五〇
第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪	五一
第二百三三條	同
第二百四四條	六一
第二百五五條	六六
第二百六六條	六七
第四節 私印私書ヲ偽造スル罪	六八
第二百八八條	同
第二百九九條	七〇
第二百十條	七三
第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪	八三
第二百十四條	同
第二百十五條	同

第六節 偽證ノ罪	八四
第二百十八條	同
第二百二十三條	八七
第二百二十五條	八八
第二百二十六條	八九
第七節 度量衡ヲ偽造スル罪	九〇
第二百二十九條	同
第八節 身分ヲ詐稱スル罪	同
第二百三十二條	同
第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪	同
第二百三十三條	同
第二百三十四條	同
第二百三十六條	九一
第五章 健康ヲ害スル罪	九二
第一節 阿片烟ニ關スル罪	九三
第二百二十七條	同
第六章 風俗ヲ害スル罪	同

第二百六十條	同
第二百六十一條	九四
第二百六十二條	九五
第九章 官吏瀆職ノ罪	九六
第二節 官吏人民ニ對スル罪	同
第二百八十二條	同
第二百八十四條	同
第二百八十六條	九九
第二百八十八條	一〇〇
第三節 官吏財産ニ對スル罪	一〇一
第二百八十九條	同
第二百九十條	一〇九
第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪	一一〇
第一章 身體ニ對スル罪	同
第一節 謀殺故殺ノ罪	一一一
第二百九十二條	同
第二百九十三條	同

第二百九十八條	一一二
第二節 毆打創傷ノ罪	同
第二百九十九條	一一三
第三百條	同
第三百一條	一一四
第三百四條	一一五
第三百五條	同
第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪	同
第三百九條	同
第三百十一條	一一六
第四節 過失殺傷ノ罪	同
第五節 自殺ニ關スル罪	同
第三百二十條	同
第三百二十一條	一一七
第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪	同
第三百二十二條	同
第三百二十三條	同

第八節 墮胎ノ罪	一一八
第三百三十一條	同
第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪	同
第三百五十五條	同
第三百五十六條	一一〇
第三百五十八條	同
第二章 財産ニ對スル罪	一一一
第一節 竊盜ノ罪	同
第三百六十六條	同
第三百六十八條	一二四
第三百七十條	同
第三百七十一條	一二五
第三百七十二條	一二八
第三百七十七條	同
第二節 強盜ノ罪	一三〇
第三百七十八條	同
第三百七十九條	一三一



第三百八十條

一三三

第四節 家資分散ニ關スル罪

一三三

第三百八十八條

同

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

同

第三百九十條

一三四

第三百九十一條

同

第三百九十二條

一四九

第三百九十三條

同

第三百九十五條

一五〇

第三百九十六條

一六〇

第三百九十八條

一六一

第六節 贓物ニ關スル罪

一六二

第三百九十九條

同

第四百一一條

同

第七節 放火失火ノ罪

一六三

第四百二一條

一六四

第四百三一條

一六五

第八節 決水ノ罪

一六六

第四百三一條

同

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

一六七

第四百三六條

同

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

一六八

第四百三十七條

同

第四百三十一條

同

第四百三十四條

一六九

第四百三十七條

同

第四編 違警罪

同

刑事訴訟法

第一編 總則

一七一

第 二 條	一七二
第 三 條	一七六
第 四 條	同
第 五 條	一七七
第 六 條	一七八
第 十 條	同
第 十 一 條	一七九
第 十 五 條	同
第 十 六 條	一八〇
第 十 八 條	同
第 十 九 條	一八一
第 二 十 條	一八三
第 二 十 一 條	一八八
第 二 十 一 條ノ二	同
第 二 十 四 條	一九二
第 二 編 裁 判 所	同
第 一 章 裁 判 所ノ管 轄	同

第 二 十 五 條	同
第 二 十 六 條	一九三
第 二 十 七 條	同
第 三 十 條	一九四
第 二 章 裁 判 所 職 員ノ除 斥 及 ヒ 忌 避 回 避	同
第 四 十 條	同
第 四 十 一 條	一九六
第 四 十 二 條	同
第 四 十 三 條	一九七
第 四 十 五 條	同
第 三 編 犯 罪ノ搜 査 起 訴 及 ヒ 豫 審	一九八
第 一 章 搜 査	同
第 四 十 七 條	同
第 一 節 告 訴 及 ヒ 告 發	一九九
第 四 十 九 條	同
第 五 十 一 條	二〇〇
第 五 十 二 條	二〇一

第五十四條	二〇二
第二節 現行犯罪	同
第五十八條	同
第五十九條	二〇三
第二章 起訴	同
第六十二條	二〇五
第三章 豫審	二〇七
第六十七條	同
第三節 證據	二〇八
第九十條	同
第九十一條	二二三
第九十二條	二二四
第四節 被告人ノ訊問及ヒ對質	二二五
第九十三條	二二六
第九十五條	同
第九十八條	二二七
第一百條	同

第一百一條	二二八
第五節 檢證、搜索及ヒ物件差押	同
第一百三條	同
第一百四條	二一九
第一百八條	二二〇
第一百十條	同
第一百十一條	同
第六節 證人訊問	二二一
第一百五條	二二三
第二十一條	同
第二十二條	同
第二十三條	二二四
第二十五條	二二九
第二十七條	二三〇
第三十一條	同
第三十二條	二三一
第七節 鑑定	二三三

第三百三十五條  
第三百三十六條

二三三  
二三三

第八節 現行犯ノ豫審

第四百四十四條

同

第四百四十五條

二三五

第四百四十七條

二三六

第四百四十八條

同

第十節 豫審終結

第六百六十一條

二三七

第六百六十三條

二三八

第六百六十七條

同

第六百六十八條

二三九

第六百六十九條

同

第六百七十一條

二四〇

第六百七十三條

同

第六百七十五條

二四一

第四編 公判

二四二

第一章 通則

第七十七條

同

第七十八條

二五六

第七十九條

同

第八十二條

二五七

第八十三條

二五八

第八十四條

同

第八十六條

二五九

第八十七條

二六〇

第九十條

二六一

第九十二條

同

第九十三條

二六三

第九十五條

同

第九十七條

同

第九十八條

二六五

第九十九條

二六六

第一百條

二六八

同

第二百一一條	二六九
第二百二條	二七一
第二百三條	二七二
第二百四條	二八六
第二百五條	同
第二百八條	二八九
第二百九條	二九三
第二百十條	同
第二章 區裁判所公判	二九四
第二百十三條	同
第二百十四條	二九五
第二百十五條	二九六
第二百十七條	同
第二百十八條	二九七
第二百十九條	二九八
第二百二十條	三〇〇
第二百二十四條	三〇一

第二百二十五條	同
第二百二十六條	三〇二
第二百二十七條	同
第二百二十八條	三〇三
第二百二十九條	同
第二百三十二條	三〇四
第二百三十三條	同
第三章 地方裁判所公判	三〇五
第二百三十七條	同
第二百三十八條	三〇八
第二百三十九條	三〇九
第二百四十一條	三一〇
第五編 上訴	三一
第一章 通則	同
第二百四十二條	同
第二百四十三條	同
第二百四十四條	三二三

第二百四十五條  
第二百四十六條  
第二章 控訴

- 第二百五十一條
- 第二百五十二條
- 第二百五十四條
- 第二百五十七條
- 第二百五十八條
- 第二百五十九條
- 第二百六十一條
- 第二百六十二條
- 第二百六十三條
- 第二百六十四條
- 第二百六十五條
- 第二百六十六條
- 第三章 上告
- 第二百六十七條

三二三  
三二四  
三二五  
三二八  
三二九  
同  
三三〇  
三三三  
三三五  
三三六  
三三一  
同  
三三四  
三三七  
同  
三四〇

- 第二百六十八條
- 第二百六十九條
- 第二百七十一條
- 第二百七十三條
- 第二百七十六條
- 第二百八十一條
- 第二百八十六條
- 第二百九十二條
- 第四章 抗告
- 第二百九十四條
- 第二百九十六條

第六編 再審

- 第三百一一條
- 第三百七條
- 第八編 裁判執行、復權及特赦
- 第一章 裁判執行
- 第三百十九條

同  
三四一  
三四五  
三四六  
三四七  
同  
三四八  
三四九  
同  
同  
同  
三五〇  
同  
三五二  
三五三  
同  
同

第三百二十條  
第三百二十二條

帝國憲法

衆議院議員選舉法

裁判所構成法

民法

民法施行法

商法

商法(明治二十三年法律第三十二號)

商法施行法

民事訴訟法

陸軍治罪法

家資分散法

府縣制

三五三  
三五四

三五五

同

三六一

三六三

三七三

三七四

三七六

三七八

同

三八四

三八五

同

郡制

市制

町村制

市町村會議員選舉罰則

郵便法

不動產登記法

移民保護法

國稅徵收法

關稅法

間接國稅犯則者處分法

間接國稅犯則者處分法施行規則

森林法

酒造稅法

酒精及酒精含有飲料稅法

三八六

同

三八七

三九〇

同

三九一

三九二

三九三

三九五

三九六

四〇〇

同

四〇三

四〇七

酒母醪及麴取締法	四一〇
砂糖消費稅法	同
取引所法	同
鐵道營業法	四二二
通貨及證券模造取締法	同
兌換銀行券條例	四二二
要塞地帶法	同
軍機保護法	同
瀆職法	四二三
華族世襲財產法	四二四
船員法	同
特許法	四一五
商標法	四一六
出版法	四一七

著作權法	四一八
煙草專賣法	四一九
葉煙草專賣法	四二〇
骨牌稅法	四二一
遺失物法	同
戶籍法	四二二
肥料取締法	四二四
肥料取締法施行規則	同
行政法	四二五
行政執行法	同
徵兵令	四二六
新聞紙條例	同
水利組合條例	四二八
外國旅券規則	四二九



公證人規則

四二九

林區署官制

四三〇

帝國大學令

同

小學校令

同

小學校令施行規則

四三一

明治二十二年法律第二十八號

同

明治二十三年法律第九十九號

四三二

明治二十三年法律第百號

四三三

明治三十三年法律第五十二號

同

明治三十五年法律第二十二號

四三四

明治三十八年法律第六十六號

同

明治三十八年法律第七十號

四三五

明治三十二年法律第九十八號

同

明治二十四年勅令第三號

同

明治三十五年勅令第二百五十六號

四三六

明治三十六年勅令第七十三號

同

明治三十七年勅令第一百七十七號

四三七

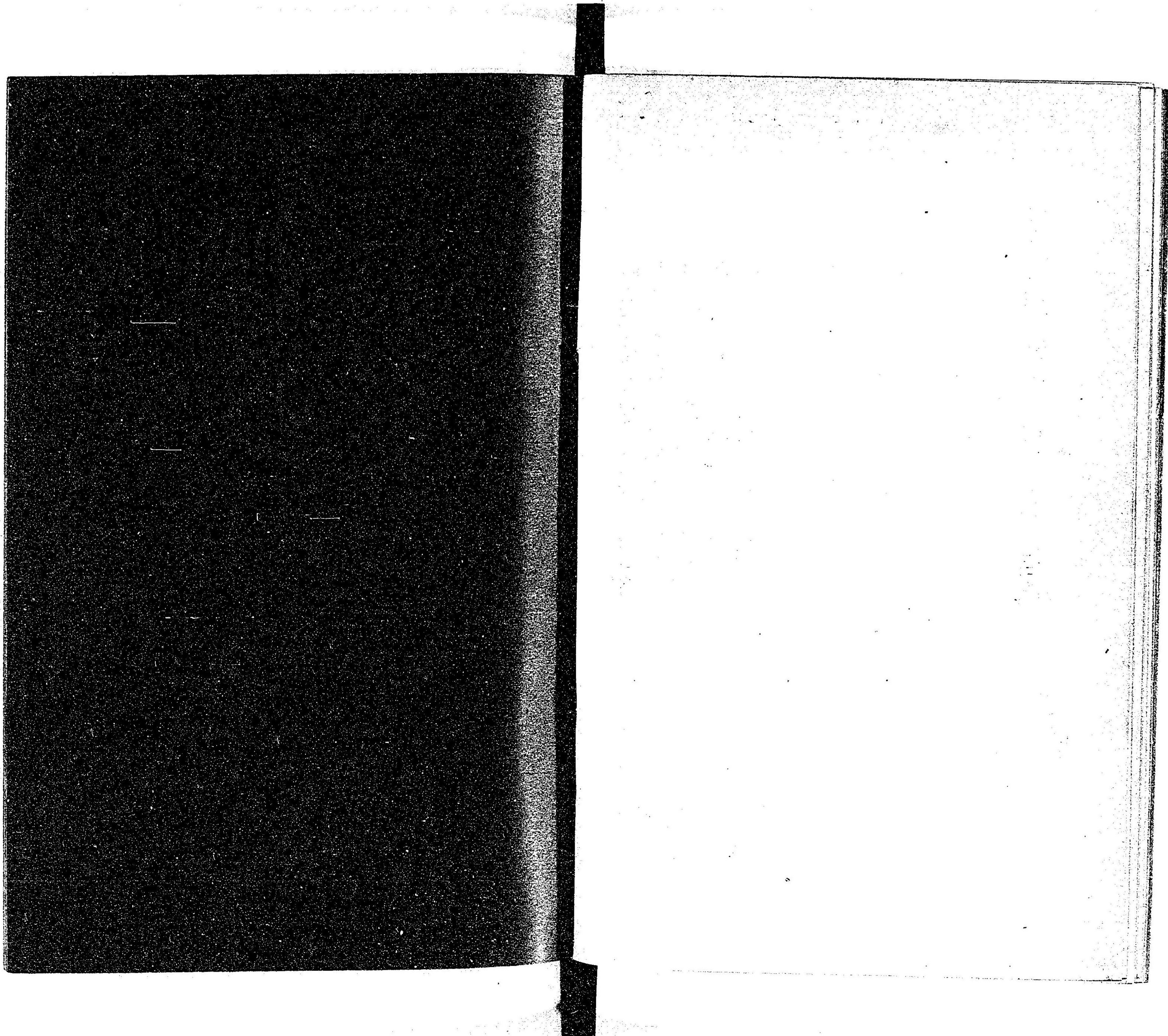
明治三十七年陸軍省令第一號

同

明治三十七年海軍省令第一號

四三八

大審院刑事判例要旨類集追錄目次 終



刑

法

# 大審院刑事判例要旨類集追録

## 刑法

### 第一編 總則

#### 第一章 法例

○目的タル行爲ニシテ罪トナラサルモ其目的ヲ達スル手段ニシテ犯罪ヲ構成スル以上ハ之ヲ處罰スヘキハ勿論トス

○刑法上被害者ト稱スヘキ者ハ犯罪ニ因リ私法上ノ權利ヲ侵害セラレ其賠償ノ請求ヲ爲シ得ヘキ地位ニ立ツモノヲ云フ而シテ證人カ偽證ヲ爲シタル場合ニ在テハ國家ノ公益ヲ害シタルニ過キササルヲ以テ其裁判所ヲ構成セル判事其人ノ私法上ノ權利ヲ侵害シタルモノト云フヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホスコトナ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決ヲ經サル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス

○刑法第三條第二項ノ規定ハ新法發布前ニ終了シタル犯罪行爲ニ適用ス

刑法 第三條

三	三	年
六	六	卷
八	一	頁
四	四	

ルコトヲ得ルニ止マリ新法發布前ニ犯サレタル犯罪カ新法發布後ニ繼續シタル場合ニ適用スルコトヲ得ス從テ繼續犯ノ場合ニ於テハ單一ナル犯罪トシテ其全部ニ對シ新法ヲ適用スヘキモノトス

三五〇 四九

○控訴裁判所カ判決ヲ爲シタル當時ニ在リテハ舊衆議院議員選舉法ヲ適用スヘキモノナルモ上告裁判所カ判決ヲ爲ス當時ニ在リテハ舊選舉法ハ既ニ廢止ニ屬シ新選舉法ノ效力ヲ生シタル場合ニ於テハ刑法第三條第二項ニ遵由シ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷スヘキモノトス

三五〇 二六

○腐敗清酒ヲ模造シ造石税ノ免除ヲ得ントシタル犯罪行爲カ現行酒造税法施行後ナルトキハ其清酒ノ醸造カ施行前ニ係ル場合ト雖モ現行酒造税法ヲ適用スヘキモノトス

三六 四九

○法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホスコトヲ得ス而シテ新法ノ刑舊法ノ刑ヨリ輕キ場合ニ付テハ刑法第三條第二項ノ例外アリト雖モ新舊兩法ノ刑全ク同一ナルトキハ該例外ノ場合ニ該當セス從テ舊法ヲ適用スヘキモノトス

三六 一四三

(同主旨)

新舊法ヲ比照スルニ當リ新舊共ニ其刑相均シキトキハ舊法ニ從ヒ處斷スヘキモノトス

三六 一〇八

○酒類製造者ニ課スヘキ造石税ノ税率ハ明治三十七年法律第三號非常特

別税法ニ依リ改正セラレタルヲ以テ其改正前ニ係ル犯罪ニシテ造石税ヲ標準トシ罰金刑ニ處スヘキ場合ニ在リテハ必スヤ刑法第三條第二項ノ規定ニ從ヒ新舊ノ法則ヲ比照シ輕キニ從テ處斷セサルヘカラス  
○舊法ニ於テ再犯加重ノ例ニ依ルヘキ犯罪ニ付キ新法カ再犯加重ノ例ヲ用キサル旨ヲ規定シタルトキハ其犯罪ハ如何ナル場合ト雖モ再犯罪ノ前科タルコトヲ得ス

三七 一三六  
三六 九〇六

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ  
若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

○勅令ハ刑法第五條ニ所謂規則ニ該當ス故ニ勅令ニシテ別ニ總則ヲ掲ケサルモノハ刑法總則ニ從フヘキハ當然ナリ

三七 一九二九

### 第一章 刑例

#### 第三節 附加刑處分

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ  
一 法律ニ於テ禁制シタル物件  
二 犯罪ノ用ニ供シタル物件  
三 犯罪ニ因テ得タル物件



ニ過キサレハ偽造届書ノ一部分トシテ他ノ部分ト共ニ沒收セララルヘキモノトス

○借主カ抵當貸主兼保證人トシテ擅ニ他人ノ名義ヲ借用證書ニ記入シテヲ行使シタル場合ニ在リテハ其擔保ニ關スル部分ノミヲ沒收スヘキモノトス

○關係人ノ資格ヲ詐リ公正證書ニ署名捺印シタルトキハ其證書ハ全部偽造セラレタルモノニシテ公證人ノ手ニ成レル部分ノミ有效ニ存在シ得ルモノニ非ス從テ其證書全部ヲ沒收シタルハ相當ナリ

○猥褻物ハ法律上公然之ヲ陳列シ又ハ販賣スルコトヲ禁シタルモノニシテ單ニ之ヲ所持スルハ違法ニ非ス故ニ法律ノ禁制ヲ犯シテ公然其物件ヲ陳列シ又ハ販賣シタルトキ始メテ禁制物トシテ之ヲ沒收スヘキモノトス

○甲者カ約束手形ヲ偽造シ取立委任ノ趣意ヲ以テ表面上讓渡裏書ヲ爲シ之ヲ乙者ニ交付シタルニ止マリ他ニ正當ナル裏書ヲ以テ該手形ヲ讓受ケタル者ナキ場合ニハ其讓渡裏書ハ原手形ト共ニ無効トナルカ故ニ該手形全部ヲ沒收スヘキモノトス

○甲者自ラ債務者ト爲リ且乙者ノ代理資格ヲ詐テ同人ヲ連帶債務者ト爲

三七

一五四

三七

一七九〇

三七

二〇八五

三六

四三三

三六

一〇一六

シ金員貸借ノ公正證書ヲ作成シタル場合ニ於テハ其證書中甲者ニ關スル部分ハ有效ニシテ乙者ニ關スル偽造ノ部分ト分割シテ存在シ得ヘキモノトス從テ該證書全部ヲ沒收シタル判決ハ擬律錯誤ノ不法アリ

三六

二五二

○既存ノ受取證書ノ記載ニ附加變更ヲ爲シ新ナル效力ヲ生セシメタルトキハ該證書ハ全然偽造證書ト爲リ別ニ原證書トシテ存在スヘキモノナシ從テ其證書全部ヲ沒收シタルハ相當ナリ

三六

二二九

○要塞地帯法第七條ハ方法ノ如何ヲ問ハス要塞司令官ノ許可ヲ得スシテ要塞地帯内水陸ノ形狀ヲ測量シ又ハ其形狀ニ付キ或物體ノ上ニ後日ニ存在セシムヘキ性質ヲ有スル表顯ヲ爲スコトヲ禁止シタルモノトス從テ之ヲ表顯スル爲メ使用シタル寫真器械ハ犯罪組成ノ物件ニ非スシテ犯罪供用ノ物件ナリトス

三五

一

五六

○未遂罪ノ場合ト雖モ犯罪ハ既ニ成立シタルモノナルヲ以テ其犯罪ノ用ニ供シタル物件ハ沒收スヘキモノトス

三五

九

三四

○單ニ兇器ヲ携帯シテ竊盜ヲ爲シタルニ止マラス尙ホ之ヲ犯罪ノ用ニ供シタルノ事實アルトキハ其兇器ハ犯罪供用ノ物件トシテ沒收スヘキモノトス

三六

八四

○酒造税法第二十二條ノ規定ハ酒類ノ製造ヲ罪トシテ禁スルノ趣旨ニ非

ス唯酒類ヲ製造スルニ當リ政府ノ免許ヲ受ケサル行爲ヲ處罰スルノ精神ニ外ナラサレハ其製造ニ用キタル器械ノ如キハ之ヲ犯罪ノ用ニ供シタル物件ト云フヲ得ス

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スルコトヲ得ス

○刑法第四十四條ニ所謂所有主中ニハ眞ノ所有權ヲ有スル者ハ勿論尙モ物上ニ權利ヲ有スル者ハ盡ク之ヲ包含スルモノトス

○犯罪ノ用ニ供セラレタル物件ニシテ犯人ノ所有ニ係リ沒收スヘキモノナル以上ハ其犯罪ニ付キ主刑ヲ受クル總テノ犯人ニ對シテ之ヲ言渡スヘク單ニ共犯中物件所有者ノミニ對シテ言渡スヘキモノニ非ス

○證書騙取ノ場合ニ於テ法律行爲ノ要素ニ錯誤アルトキハ其證書ノ所有權ハ被害者ニ存スルヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得ス

○春書ハ風俗ヲ壞亂スヘキ圖書ニシテ出版法上發賣頒布ノ目的ヲ以テ之ヲ印刷スルコトヲ禁止シタルモノトス從テ刑法第四十三條第一號第十四條ニ依リ其現存スルモノハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス沒收セラレヘキモノナリ

三七

二九

三六

二八七

三七

二八二

三六

六九七

三七

二四四

第四節 徵償處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

○被告事件ノ一部分ニ對シ無罪ヲ言渡シタル場合ト雖モ有罪ヲ言渡シタル他ノ一部分ト共ニ一事件トシテ取調ヲ爲シタルモノナルトキハ被告人ヲシテ其裁判費用ノ全部ヲ負擔セシムルモ違法ニ非ス

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ナシテ之ヲ連帶セシム

○刑法第四十七條ハ數名ニテ行ヒタル犯罪ニ付キ共犯人カ共ニ訴追セラレ同一ノ判決ヲ以テ刑ノ言渡ヲ受クル場合ニ適用セラレヘキモノトス從テ共犯人中ノ一人ニ對シテノミ公訴起リタルトキハ共同被告ナキヲ以テ同條ヲ適用シ裁判費用ノ連帶負擔ヲ命スル能ハサルハ當然ナリ

○共同被告人トシテ有罪ノ判決ヲ受ケタル以上ハ自ラ訴追セラレサル前他ノ共同被告人ニ依リテ生シタル裁判費用ト雖モ共ニ連帶負擔スヘキモノトス

○衆議院議員選舉法第八十七條第一項第二號ノ選舉ニ關シ人ヲ響應シ及ヒ之ヲ受ケタル犯罪ハ響應ヲ爲ス者ト之ヲ受クル者トアリテ始メテ成

三五

九

二四六

三五

七

四〇

三七

二三一



立スヘキモノトス故ニ其裁判費用ハ刑法第四十七條ニ依リ之ヲ連帶負擔セシメサルヘカラス

三七

一五三

○繼續犯罪中ノ一所爲ヲ實行シタル者ハ縱令中途ヨリ脱退スルモ其被告事件ノ爲メニ生シタル公訴裁判費用ニ付キ他ノ共犯者ト共ニ連帶負擔ノ責ヲ免レサルモノトス

三六

九七九

第四十八條 裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルコトヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス

○刑法第四十八條ニハ「若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス」ト規定セルモ贓物ノ還給ハ民法上ノ請求權ヲ基礎トスル原狀回復ノ一方法ニ過キササルヲ以テ直チニ其還給ヲ命スヘキヤ否ヤハ民法上ノ權利關係如何ニ因リテ定マルヘキモノトス從テ恐喝取財カ當事者ノ意思指示ニ因由スル場合ニ於テハ被害者ヨリ財物證書類ノ還付ヲ請求シ又ハ其他ノ方法ニ因リ取消ノ意思ヲ表示スルニ非サレハ裁判所ハ進ンテ其還給ヲ命スルコトヲ得サルモノトス

三六

一三〇九

ニ依リ還付ノ言渡ヲ爲スヘキモノトス

三六

六五五

第五節 刑期計算

第五十一條

刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ從フ

一 犯人自ラ上訴シテ其上訴正當ナル時ハ前判宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上訴不當ナル時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス

二 檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トヲ分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス

三 上訴中保釋ヲ得又ハ貴付セラレタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入スルコトヲ得ス

○刑法第五十一條ニ所謂上訴ノ正當ナルトキハ前判宣告ノ日ヨリ起算ストアルハ上訴最終ノ結果ニ付テ言フヘキモノニシテ上訴審ノ階級ニ從ヒ之カ區別ヲ爲スヘキモノニ非ス從テ第一審判決ニ對シ控訴ヲ爲シ控訴棄却ノ判決ヲ受クルモ更ニ上告ヲ爲シ其上告ニシテ正當ニ歸シタルトキハ第一審判決言渡ノ日ヲ以テ前判宣告ノ日ト爲サ、ルヘカラス

三六

二二九

○刑法第五十一條第二號ハ檢事ノ上訴アリテ其上訴ニ對シ當否ノ判決アリタル場合ニノミ適用スヘキモノトス從テ被告ノ控訴取下ノ爲メ檢事ノ附帶控訴無効ニ歸シタルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニ非ス

三五

七 克

○保釋ノ言渡ヲ受ケタルモ他事件ノ爲メ勾留狀ノ執行ヲ受ケ居リテ釋放セラレタルニ非サルトキハ保釋言渡ノ執行ハ自ラ停止セラレタルモノトス從テ其拘禁中ノ日數ハ保釋ヲ得タル日數中ニ算入セスシテ刑期ニ

通算スヘキモノトス

○上訴中保釋ヲ得タル者ハ其保釋中ハ勾留ノ效力ヲ停止シ勾留ヲ受ケサル者ト異ナル所ナシ從テ刑法第五十一條第三號ニ因リ其保釋中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヲ得サルモノトス

### 第三章 加減例

○自己ノ身體ニ暴行ヲ加ヘラレタルニ因リ直ニ怒ヲ發シ暴行人ヲ毆傷シ一目ヲ失明セシメタル場合ニ於テ其所爲三犯ニ係ルトキハ刑法第三百條第二項第三百九條第三百十三條ニ依リ酌減シタルモノヲ以テ本刑ト爲シ而シテ同法第九十八條第九十二條ニ依リ之ニ加重スヘキモノトス  
○數罪俱ニ發シタル場合ニ於テ酌量減輕ヲ爲スヘキモノアルトキハ先ツ減輕例ヲ適用シ然ル後數罪俱發例ニ據リテ處斷スヘキモノトス

#### 第七十條

禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト爲シ其加重ス可キ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス  
輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルコトヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルコトヲ得

賭場開張罪ノ從犯ヲ以テ論シ刑法第二百六十條ノ刑ニ一等ヲ減シ（二月七日以上九月以下ノ重禁錮一圓五十錢以上七十五圓以下ノ罰金）處斷スヘキモノナルコトヲ說示シナカラ二月ノ重禁錮七圓ノ罰金ニ處シ

三五

二七六

三六

一七〇五

三七

五六一

三八

七三

タルハ刑ノ適用ヲ誤リタルモノトス

○刑法第三百六十七條ニハ云々六月以上五年以下トアリテ之ニ一等ヲ加重スレハ其長期ハ六年三月トナリ更ニ一等ヲ減スレハ四年八月九日トナリ又之ニ一等ヲ加重スレハ五年十月十一日トナル即チ此場合ニ於テハ加減ノ結果五年十月十一日以下ノ範圍内ニ於テ處斷スヘキモノナルニ重禁錮六年ノ刑ヲ科シタルハ不當ナリトス

### 第四章 不論罪及ヒ減輕

#### 第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論セス但法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪トナルヘキ事實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルコトヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スコトヲ得ス

○強盜ヲ毆打創傷シタル場合ト雖モ尙ホ毆打創傷罪ヲ構成ス從テ強盜ナリト誤信シテ他人ヲ毆打創傷セシメタル所爲ヲ以テ罪トナルヘキ事實ヲ知ラサリシモノト謂フヲ得ス

○刑法第七十七條第四項ハ縱令實際ニ於テ法律規則ヲ知ラスシテ罪ヲ犯

三五

四

一五五

三六

一四三六

三五

四

四六

シタル者ト雖モ罪ヲ犯スノ意ナシト主張スルコトヲ許サ、ルコトヲ規定シタルモノトス而シテ同條項ニ所謂「法律規則」トハ其刑罰法ナルト否トヲ問ハサルモノトス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺殺害ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

○數箇ノ犯罪行爲アル場合ニ其中ノ一罪ニ付キ自首シタルトキハ減刑ノ恩典ハ單ニ其一罪ニノミ止マルヘキモノトス從テ之ヲ自首セサル他ノ犯罪ニ及ホスコトヲ得ス

○詐欺取財ヲ行フニ因テ官私文書ヲ偽造シタル所爲ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ論スヘキ實質上ノ一罪ナリトス而シテ其重キ一罪ニ付キ處斷スル以上ハ自首減輕モ亦其一罪ノミニ付テ之ヲ行フヘク各罪ニ付キ一々減輕ヲ爲スヘキモノニ非ス

○警察署ハ司法警察官カ其管掌ニ係ル司法警察事務ヲ取扱フヘキ官署ナルヲ以テ犯罪ノ報告カ警察署ニ到達シ其官署ノ吏員ニ於テ之ヲ接受スルト同時ニ犯罪ハ發覺シタルモノトス從テ其報告ヲ直接ニ受付ケタル者ノ搜查權ヲ有スル司法警察官ナルト其指揮命令ヲ受クル巡查ナルト

ハ之ヲ問フノ要ナシ

第五章 再犯加重

○闕席判決ヲ以テ言渡シタル刑カ法定期間ノ滿了ニ因リ期滿免除ト爲リタル場合ニハ法律ハ一方ニ於テ闕席判決ヲ確定不可動ト爲シ之ト同時ニ其刑ヲ免除スルモノニ外ナラサレハ該判決ヲ以テ處罰セル犯罪ハ再犯ノ原由タルニ妨ナシ

○在韓帝國領事官ハ輕罪事件ノ裁判權ヲ有シ憲法第六十條ニ謂フ特別裁判所ノ職務ヲ行フモノニ該當ス而シテ刑法再犯加重ノ法則ハ特別裁判所ノ確定判決アル場合ニモ亦適用スヘキモノナレハ通常裁判所カ該領事官ノ言渡シタル輕罪犯ノ確定判決ヲ以テ再犯加重ノ原由ト爲シタルハ相當ナリ

○舊法ニ於テ再犯加重ノ例ニ依ルヘキ犯罪ニ付キ新法カ再犯加重ノ例ヲ用キサル旨ヲ規定シタルトキハ其犯罪ハ如何ナル場合ト雖モ再犯罪ノ前科タルコトヲ得ス

第九十二條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ  
○前科ヲ言渡シタル裁判所ノ名稱ヲ異ニスルモ再犯加重ノ法律適用トシ

三五	一〇	七五
三七	二〇三	
三七	二二五	
三六	九〇六	

三五	四	九六
三五	九	二
三六	二四七	

テハ何等ノ影響ヲ有セス從テ第一審ニ於テ其言渡ヲ爲シタル裁判所ノ名稱ヲ誤記シタルニ對シ第二審ニ於テ之ヲ更正スルモ第一審判決ヲ取消スノ要ナシ

○刑法第九十二條ニ所謂先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者トハ重罪輕罪ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ノ義ニシテ刑ノ執行ヲ受ケタル者ノ謂ニ非ス

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

○刑期服役中ト雖モ或場合ニ於テ犯罪行為ヲ爲スハ不能ノ事ニ非サルヲ以テ服役中ノ犯罪ヲ判決スルニ當リ特ニ其場合ヲ說示セサルモ不法ニ非ス

### 第七章 數罪俱發

第九十條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期ノ等シキ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト爲シ輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス

○數罪俱發例ヲ適用スルニ當リ重罪ト輕罪トニ付テハ刑法第百條一項ヲ適用シ重罪ト重罪トニ付テハ犯情ノ重キニ從ヒ處斷スヘキモノトス  
○二罪俱發シ一ノ重キニ從ヒ處斷シタル場合ニ於テハ二箇ノ犯罪事件ハ互ニ分離スルヲ得サルモノトス從テ之ニ對スル被告ノ控訴中ニハ當然二事件ヲ包含ス

同主旨判例  
二四年一卷  
一七二頁

(同主旨)

數罪俱發ニ付キ刑法第百條ヲ適用セラレ其數罪中一ノ重キニ從ヒ處斷セラレタル場合ニ在リテハ其判決ハ常ニ不可分ノモノナリトス從テ之ニ對スル控訴ニ於テ其一罪ノミノ取下ハ許スヘカラサルモノトス

○金員ヲ騙取スルノ目的ヲ以テ同時ニ偽造株券五枚ヲ交付シ之ヲ行使シタル所爲ハ一罪ニシテ數罪ニ非ス  
○人ノ住居シタル家屋ト人ノ住居セサル家屋ト相密接セルモノヲ共ニ燒燬セントシテ火ヲ放チ同時ニ之ヲ燒燬シタルトキハ人ノ住居セサル家屋ヲ燒燬シタル所爲ハ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル重キ犯罪中ニ包括シ別ニ一罪ヲ構成セス

同主旨判例  
○犯罪遂行ノ手段ニシテ他ノ罪名ニ觸ル、ニ於テハ特別ノ規定アル場合

三五	一	三〇
三五	一	二五
三五	二	六一
三六	一	五六一

三五	一	五三
三五	四	三二
三七	一	二〇三

三三八年八卷  
三頁

ノ外別罪ヲ構成ス從テ森林盜幫助ノ手段トシテ官印ヲ盜用シタル所爲  
ハ官印盜用ト森林盜幫助トノ二罪ナリトス

三六

二九五

○犯人カ一ノ犯罪ヲ行ハントスルノ決意ヲ爲シ其決意ノ實行上犯罪遂行  
ニ必要ナル數箇ノ所爲ヲ爲シタル場合ニ其各所爲カ互ニ相連絡シ犯人  
カ當初企圖シタル目的ノ範圍内ニ於テ此等ノ行爲ヲ爲シタルモノナル  
ニ於テハ各箇ノ所爲ハ獨立ノ犯罪ヲ構成セスシテ相共ニ一罪ヲ構成ス  
而シテ其行爲ノ日時場所ノ異同ハ之ヲ問フノ要ナシ

三六

一三九三

○徵收臺帳ヲ燒燬センカ爲メ市役所ニ放火シタル所爲ハ臺帳燒燬ノ所爲  
ト市役所燒燬ノ所爲ト箇々別々ニ放火シタル二箇ノ所爲アルニ非ス從  
テ二罪俱發ニ非スシテ市役所燒燬ノ一罪ヲ構成スルニ過キササルモノト  
ス

三六

一五七

○犯罪ノ手段タル行爲ト雖モ刑罰法ニ觸ル、トキハ之ヲ一箇ノ犯罪トシ  
テ處斷スヘキモノトス

三六

一五六七

○公私文書ノ偽造行使ニ因ル詐欺取財ハ單一ノ犯罪ヲ構成シ其内ノ重キ  
所爲ニ適用スヘキ一ノ法條ニ從ヒ處斷スヘキモノトス從テ各箇ノ所爲  
カ獨立ノ犯罪ヲ構成スルモノトシテ各別ニ刑律ヲ適用處斷スヘキモノ  
ニ非ス

三六

一七三

同主旨判例  
三二年四卷  
六五頁

(同主旨)

詐欺取財ヲ爲サンカ爲メ官私ノ文書ヲ偽造シ若クハ變造シタル者ハ其行爲ハ數箇ナルモ合シ  
テ一罪ヲ構成シ數罪ヲ構成スルモノニ非ス從テ刑罰法第三百九十條第二項ニ依リ重キ行爲ニ從  
テ處斷スヘキモノニシテ刑罰法第百條ヲ適用スヘキモノニ非ス

三五

一一一

○犯罪ノ單一ナルヤ否ヤヲ定ムルニハ犯人ノ爲シタル法益侵害ノ單一ナ  
リヤ否ヤヲ以テ標準トス從テ犯人ノ所爲カ數箇ノ罪名ニ觸レ又ハ數回  
同一ノ罪名ニ觸ル、トキハ所爲ノ單一ナルト否トヲ論セス其法律違反  
ノ數ニ相當スル犯罪ヲ構成スヘキハ當然ナリ

三七

一五一

○刑ノ輕重ハ主刑ノ輕重ニ依リテ之ヲ定メ主刑相等シキトキハ附加刑ア  
ルモノヲ以テ重シト爲ス故ニ第二審ニ於テ第一審判決ノ附加セザリシ  
罰金及ヒ監視ヲ附加スルモ其主刑ニシテ第一審判決ヨリ輕キトキハ之  
ヲ重キ刑ニ變更シタルモノト云フヲ得ス

三七

一四五

○毆打創傷罪ハ其結果ニ依リ刑ヲ定ムルモノトス故ニ輕重ノ創傷アリテ  
其内ノ幾部ヲ致死ナル結果ヲ生シタルトキハ輕キ結果ハ最重ノ致死ナ  
ル結果ニ包含セラルヘキモノナレハ單一ノ罪トシテ處斷スヘキモノト  
ス

三七

二九三

○同一事件ニ付キ同一ノ法廷ニ於テ同一ノ證人訊問ニ際シ證人カ數多ノ  
事項ニ涉リテ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル場合ト雖モ其陳述カ同種同性質ノ

同主旨判例  
三四年一  
卷四四頁

モノニシテ同一ノ刑名ニ觸ル、モノナルトキハ相共ニ一箇ノ偽證罪ヲ構成ス

○同一ノ目的ヲ以テ同時同所ニ於テ官權ノ執行ヲ妨害シタルトキハ縱令其執行者ハ數多ノ官吏ナリトスルモ一罪ヲ構成スルニ過キス

○委任狀ト登記申請書トハ各其性質ヲ異ニシ登記ニ關シテハ各別ニ效力ヲ有スルヲ以テ苟モ此二箇ノ文書ヲ偽造スルニ於テハ其行使ハ同時ナルモ二罪ヲ構成スヘキモノトス

○明治三十七年海軍省令第一號ノ發布後海軍大臣ノ許可ヲ得スシテ新聞紙上ニ前後數回軍艦御用船ノ動作ニ關スル事項ヲ掲載シタル場合ニ其所爲カ被告ノ意思ニ因リテ一罪ヲ成スモノナリヤ否ヤヲ定ムルハ事實承審官ノ職權ニ專屬ス

○甲乙及ヒ丙郵便電信局ノ消印ヲ偽造行使シタル所爲ハ縱令其偽造印ヲ同一ノ文書ニ押用セル場合ト雖モ三箇ノ官印偽造行使罪ヲ構成ス故ニ其或モノニ對シテ起訴スルモ爾餘ノモノハ之ニ包含セラル、コトナシ

○一ノ詐欺取財ヲ爲サンカ爲メ二箇別異ノ公正證書ヲ偽造行使シタル所爲ハ刑法第三百九十條第二項ニ依リ各本條ニ照シ一ノ重キニ從テ處斷スヘキモノニシテ同法第百條ヲ適用スヘキモノニ非ス

三七	三七	三七	三七	三七
四七一	五七〇	六五八	五八〇	二〇三八

○二人以上ヲ陷害センカ爲メニ誣告ヲ爲シタルトキハ犯人ノ行爲ハ一ナルモ其結果ハ各人ニ付テ生スルカ故ニ二箇以上ノ犯罪ヲ構成ス

○數多ノ事項ヲ掲ケテ一人ヲ陷害セントスルモ陷害ノ結果ハ唯一ナルカ故ニ縱令一人ヲ陷害スル爲メ數罪アリト誣告シタレハトテ數罪ヲ成スモノニ非スシテ一罪ニ止マルモノトス

○委任狀ヲ偽造シ他人ノ代理資格ヲ冒シテ公正證書ニ署名捺印シタル所爲ハ各獨立セル文書偽造罪ヲ構成ス

○均シク輕懲役ニ該ルヘキ重罪ト雖モ其間輕重ノ差アリ從テ之ニ當行スヘキ刑期ニ長短ノ別アルハ當然ナレハ數箇ノ官文書偽造行使罪ノ俱發シタル場合ニ其一罪ヲ以テ最モ長キ刑ヲ當行スヘキ最モ重キ罪トシテ處斷シタルハ適法ナリ

○官吏ノ職務ニ對シ數日ニ渉ル新聞ノ記事ヲ以テ侮辱ヲ加ヘタル場合ト雖モ前後繼續セル意思ニ出ツルトキハ單一罪ヲ構成スルモノトス從テ最初ノ記事ニ對シ起訴アリタルトキハ裁判所ハ其後ノ記事ニ付テモ亦當然審判スルコトヲ得

○二人ニ對シテ一箇ノ恐喝手段ヲ施シ同時ニ之ヲ畏怖セシメ金圓ヲ騙取シタル場合ニハ縱令其被害者ノ出捐セル金額ニ差等アルモ單一罪ト

三七	三七	三七	三七	三七
二五二	二五二	二五二	二七六	二七七

シテ處斷セサルヘカラス

○數名ノ官吏カ執行行為ヲ爲ス場合ト雖モ其行為ノ目的ニシテ同一ナル法律規則其他官署ノ命令ヲ共同執行スルニ在ル以上ハ各自別々ニ數箇ノ執行行為ヲ爲スモノニ非スシテ相共ニ一ノ執行行為ヲ爲スモノトス從テ之ヲ抗拒スル犯人ノ所爲ハ數名ノ官吏ヲ對手トスルニ拘ハラヌ單ニ一罪ヲ構成スヘキハ當然ナリ

○一罪カ數箇ノ所爲ヨリ成立スル場合ト雖モ各箇ノ所爲ハ常ニ其運命ヲ同ウシ全部公訴ノ時効ニ罹ルカ若クハ全部訴追處罰ノ目的トナルカ二者必ス其一ニ居ルヘキモノトス而シテ數多ノ所爲カ其性質上一罪ヲ構成スルト本來數箇ノ犯罪ヲ構成スヘキ所爲カ法律ノ規定ノ爲メ相共ニ一罪ヲ構成スルトニ依リテ何等ノ差異ヲ生スルコトナシ

○村會議員ノ定期改選及ヒ補闕選舉ニ於テ同時ニ其投票ヲ増加シタル行為ハ唯一ノ犯罪行為ニシテ二罪ヲ構成スヘキモノニ非ス

○數罪俱ニ發シタル場合ニ於テ酌量減輕ヲ爲スヘキモノアルトキハ先ツ減輕例ヲ適用シ然ル後數罪俱發例ニ據リテ處斷スヘキモノトス

○一箇ノ意思ヲ繼續シテ數箇ノ犯罪行為ヲ行ヒタルトキハ其數箇ノ行為ハ之ヲ一罪トシテ處斷スヘキモノトス

三七

一七九三

三七

二二二

三七

二四六

三六

一

三六

七

三六

一〇七

○同一ノ目的ヲ以テ同種同性質ナル數箇ノ所爲ヲ行ヒタルトキハ之ヲ一罪トシテ處斷スヘキモノトス

○數人ヨリ委託ヲ受ケテ保管スル數口ノ金圓ヲ不正ニ使用シタル場合ト雖モ唯一ノ意思ノ發動ニ因リ同一期間内ニ同一ノ場所ニ於テ之ヲ費消シタルモノナルトキハ單一罪トシテ處斷スヘキモノトス

○免許ヲ受ケスシテ清酒並ニ醪ヲ製造シタル場合ニハ清酒製造ノ所爲ニ付キ酒造税法第二十二條ヲ適用スルト同時ニ尙ホ醪製造ノ所爲ニ付テハ酒母醪及麴取締法第九條ヲ適用シ二罪俱發トシテ處分セサルヘカラス

○他人カ竊取シタル仕切書ヲ材料ト爲シ私書ヲ偽造變造シ其偽造若クハ變造文書ヲ行使シテ詐欺取財ヲ爲シタルトキハ緣由ノ如何ヲ問ハス竊盜罪ト獨立シテ別ニ犯罪ヲ構成スヘキモノナレハ之ヲ以テ竊盜罪ノ結果若クハ事後ノ從犯ナリト云フヲ得ス

○犯罪ノ場所及ヒ被害者ヲ異ニスルモ意思ノ繼續アル以上ハ法律上一罪トシテ處斷スルノ妨ト爲ラス

三六

一三九

三六

一三六

三六

八二

三六

三六

三六

一五七

第百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セ  
ス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金料料ニ該

リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス  
若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較  
シテ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス

○前ニ發シタル一罪ニ付キ既ニ期滿免除ニ依リ關席判決ヲ以テ言渡サレ  
タル刑ノ執行ヲ免カレタル後餘罪發覺シ刑法第二百二條ヲ適用スルトキ  
ハ被告ハ刑ノ執行ノ全部又ハ一部ヲ免カル、ノ結果ヲ生スヘキモ前發  
ノ罪ニ付キ確定判決ヲ經タル以上ハ同條ノ規定ヲ適用スヘキハ當然ニ  
シテ其被告カ刑ノ執行ヲ免カル、ヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシ

○刑法第二百二條第一項ノ通算スヘキ刑ニハ死刑ヲ包含セス

○刑法第二百二條ニ依リ前發ノ刑ヲ通算スルハ二箇ノ犯罪カ同時ニ發シタ  
ルトキハ數罪俱發例ニ因リ一ノ重キニ從テ處斷スヘキニ發覺ノ時期ヲ  
異ニスルカ爲メ通算方法ヲ以テ特ニ刑ノ併科ヲ避クルモノニ外ナラス  
○刑法第二百二條第一項ノ場合ニ於テハ主刑ト附加刑トハ之ヲ通算スヘキ  
モノニ非ス

### 第八章 數人共犯

○刑法ト罰令トヲ問ハス犯罪行爲ニ科スル刑期罰金ハ其共犯者各自ニ於

テ全部ノ責任ヲ負フヘキモノトス從テ之ヲ分割負擔スルヲ得ヘキモノ  
ニ非ス

#### 第一節 正犯

○人ヲ殺害センコトヲ共謀シ殺害實行ノ現場ニ於テ下手者ニ助勢シ又ハ  
兇行ノ障礙排除ニカメタル者ハ謀殺罪ノ正犯ナリトス

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ各自ニ其刑ヲ科ス

○共犯ノ一人ハ他ノ共犯者ヲ代表シテ行動ヲ爲スモノナルカ故ニ共犯中  
一人ノ行爲ニ付テハ他ノ共犯者モ共ニ其責ニ任スヘキモノトス

○強盜ヲ爲サンコトヲ共謀シ其實行ニ與リタル以上ハ共犯者ノ一人カ爲  
シタル傷人ノ行爲ニ付テモ責任ヲ負フヘキハ當然トス

○實行正犯トハ犯罪ノ成立ニ重要ナル行爲ヲ爲ス者ヲ云フ從テ見張ナル  
モノカ竊盜罪ノ成立ニ重要ナル行爲ナル以上ハ實行正犯ノ責ニ任スヘ  
キモノトス

○犯人カ或犯罪ヲ實行セントスルニ當リ其目的ヲ達スルカ爲メニハ犯人  
カ其犯罪ノ遂行ニ必要ナル所爲ヲ實行スルコト、犯罪實行ノ當時ニ於  
テ之ヲ妨クヘキ事實ノ存在セサルコトヲ必要トス從テ苟モ其所爲ニ依  
リ此二个ノ要件ノ一ヲ充タシタル以上ハ其所爲カ犯罪構成ノ要件タル

三六 一六六一

三七 一四五

三五 八九

三五 九四

三六 三六

三六 二七七

三六 一五六七

三五 四八三

三五 一三六



積極的ノ實行行為ナルト犯罪行為ノ實行ニ對シ消極的ノ作用タル妨害排除ノ行為ナルトニ論ナク其犯罪ノ實行ニ干與シタルモノトス

○共犯ノ關係アリトスルニハ各犯人カ其犯罪事實ヲ知リテ之ニ干與シタル事實アルヲ以テ足ル從テ共犯者カ豫メ通謀シタルヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシ

(同主旨)

或者カ犯罪ヲ行フノ事實ヲ知リ他人カ其犯罪行為ニ干與シタルトキハ即チ共犯ノ關係ヲ生ス從テ必スシモ其共犯者ノ間ニ犯罪ヲ行フニ付キ通謀ノ事實アリタルコトヲ要セス

○數人カ共同シテ一ノ犯罪行為ヲ行ヒタル場合ト雖モ其各自ニ對シ別々ニ刑ヲ科スヘキモノトス從テ其犯罪ノ單一ナルカ爲メ科刑モ亦單一ナリトシ共犯者全員ヲシテ單一ノ刑ニ服從セシムヘキモノニ非ス

○見張ハ犯罪ノ遂行ヲ妨クヘキ事實ノ存在ヲ排除スルノ所爲ニシテ實行ノ所爲ト相待テ犯罪成立ニ必要缺タヘカラサルモノナレハ同シク實行ノ行為ニ外ナラス

(同主旨)

見張ハ犯罪ノ實行ヲ確保スル爲メノ一ノ必要ナル手段ナリトス從テ實行ノ所爲ヲ擔任シタルト見張ノ所爲ヲ擔任シタルトハ其罪責ニ輕重ナキヲ以テ等シク實行正犯トシテ處罰スヘキモノトス

○刑法第四百四條ハ實行正犯二人以上アル場合ノ規定ナルヲ以テ教唆者二

人以上アル場合ニハ之ヲ適用スヘキモノニ非ス

○是非ノ辨別ナキ幼者ヲ機械ト爲シ竊ニ借用證書ヲ取出サシメタル者ハ實行正犯トシテ處分スヘキモノトス

第四百五條

人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者ハ亦正犯ト爲ス

○酒造税法第三十二條ハ代理人家族其他ノ者ノ爲シタル犯罪行為ヨリ生スル刑罰ノ責任ハ酒類製造人ヲシテ之ヲ負ハシムルコトヲ規定シタルニ過キサルモノトス從テ酒類製造人ノ代理人家族其他ノ者ヲ教唆シテ税法違反ノ行為ヲ爲サシメタル者ハ刑法第五條ニ依リ酒造税法違反ノ正犯トシテ處罰スヘキモノトス

○人ノ居宅内ニ忍入り竊盜ヲ爲スコトヲ教唆シタル者ハ其手段タル門戶墻壁ノ踰越ニ付テモ責任ヲ負ハサルヘカラス

○人ヲ教唆シ自己ノ犯罪ノ證トナルヘキ物件ヲ隱蔽セシメタル所爲ハ刑法第五十二條罪證隱蔽罪ノ教唆罪ヲ構成ス

○教唆罪ハ教唆者カ教唆ニ因テ犯シタル罪ノ要件タラサルヲ要スルヤ勿論トス從テ刑ノ執行ヲ逃レンカ爲メ他人ニ囑託シ自己ニ代リテ受刑セシメ自己ヲ隱避セシメタル所爲ハ隱避罪ヲ教唆シタルモノト云フヲ得

三七	三七	三五	三五	三五	三五
二三八九	二四一五	四	五	七	二
二七九	二七九	一七六	八二	八三	一七九

- 侮辱ノ記事ヲ認メタル原稿ヲ新聞社員ニ交付シテ之ヲ新聞紙ニ掲載發行セシメタル所爲ハ其編輯人ニ侮辱罪ヲ教唆シタルモノトス
- 郵便局長ヲシテ其監守スル爲替金ヲ取出サシメタルモ自ラ其金員ノ取出ニ干與セサルトキハ犯罪ノ實行ニ干與セサルモノナルヲ以テ監守盜ノ教唆者トシテ責任ヲ負ハシムヘク共犯ヲ以テ論スヘキモノニ非ス
- 人ヲ教唆シテ他人ノ印影ヲ盜捺セシメタルノミノ所爲ハ何等ノ犯罪ヲ構成セス而シテ教唆者ニ於テ之ヲ行使シタルトキハ教唆者ハ私印盜用私書偽造行使ノ正犯トシテ處罰スヘキモノトス從テ教唆罪ニ關スル法條ヲ適用スヘキモノニ非ス
- 刑法第二百二十五條ハ同法第二百五條ノ單純ナル適用ヲ示シタルモノニシテ其例外ヲ示シタルモノニ非ス
- 偽證ヲ囑託シタル者ト其囑託ヲ受ケ偽證シタル者トノ關係ハ則チ教唆者ト被教唆者トノ關係ニシテ刑法ニ所謂共犯ナリトス
- 町長カ融通ノ爲メニ收入役ヲシテ其職務上保管スル税金ヲ取出サシメタル所爲ハ監守盜ノ教唆罪ヲ構成ス
- 目的物ヲ指定シ之ヲ竊取センコトヲ教唆シタル場合ニ於テ被教唆者カ其指定以外ノ物ヲ竊取シタリト雖モ教唆ニ因リ竊取ノ決意ヲ爲シタル

トキハ教唆者ハ竊盜教唆ノ責任ヲ免ル、コトヲ得ス

- 刑法第二百五條ハ被教唆者自ラ重罪又ハ輕罪ヲ犯シタル場合ナルト更ニ他人ヲシテ其教唆ニ係ル罪ヲ行ハシメタル場合ナルトヲ問ハス苟クモ他人ニ重罪輕罪ヲ犯スノ決意ヲ起サシメ教唆ニ係ル犯罪ノ結果ヲ生シタルトキハ教唆者ヲシテ其責ニ任セシムルノ法意ナリトス

(同主旨)

刑法第二百五條ハ被教唆者自ラ指定セラレタル重罪又ハ輕罪ヲ犯ス場合ナルト更ニ他人ヲシテ被教唆罪科ヲ決行セシメタル場合ナルトヲ問ハス齊シク教唆者ヲシテ其責ニ任セシムルノ法意ナリトス

第三百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯及ヒ教唆者ニ及ホスコトヲ得ス

- 刑法第六條ニ所謂身分トハ官公吏及ヒ親族ノ身分等人ノ身上ノ地位ヲ指稱シタルモノトス故ニ或權利義務ノ主體タル人ニ對シテ特別ニ科シタル加重ノ刑罰ハ之ヲ權利義務ノ關係ナキ他ノ共同正犯ニ科スルコトヲ妨ケス

第三百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行ノ所ノ方法教唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處斷ス

三五	二〇六	三七	五〇〇
三六	三四	三七	二四九
三六	三二四	三七	八〇一
三六	三二九	三七	二六五
三七	四七		

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止タ其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス  
 二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

○強盜ノ教唆ヲ爲シタル者ハ其實行方法ニ關シテ何等ノ制限ヲ付セザリシ場合ト雖モ強盜殺人教唆ノ責任ヲ負フコトナシ從テ強盜教唆者ヲシテ強盜殺人教唆ノ責任ヲ負ハシムルニハ教唆者ニ於テ被教唆者カ財物強取ニ關シ被害者ヲ殺害スルコトヲ豫見シタリトノ事實ヲ説示セサルヘカラス

第二節 從犯

第九條

重罪輕罪ヲ犯スコトヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ所ノ罪ニ從テ知ル所ヨリ重キ時ハ止タ其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

○從犯ノ罪ハ正犯ヲ幫助スル罪ナルヲ以テ正犯ノ行爲ニシテ犯罪ノ構成要素ヲ具備スル以上ハ從犯ノ罪モ亦成立スルモノトス從テ賄賂收受罪ニ付テハ正犯ニシテ官公吏タル身分ヲ有スル以上ハ從犯ノ身分如何ヲ問フノ要ナシ

○刑法第九條ハ正犯者カ罪ヲ犯ス意思ノ確定シ居ルコトヲ知テ之ヲ幫助スル場合ノミナラス唯其意アルモノト察知シテ之ヲ幫助スル場合ヲ

三〇

八〇一

三五

三

八九

同主官判例  
三三〇年一〇  
卷四九頁

モ包含ス從テ從犯者カ正犯者ノ決意以前ニ爲シタル行爲ト雖モ爾後正犯者カ犯罪遂行ノ幫助ト爲リタル以上ハ其行爲ハ從犯罪ヲ構成スルモノトス

○刑法第九條ニ所謂豫備ノ所爲トハ正犯者カ犯罪ニ著手ノ前後ヲ問ハス其犯罪ヲ容易ナラシムル爲メノ加擔行爲ヲナリトス

○賭博罪ノ他ノ犯罪ト異ナル點ハ唯現行犯ニ限リ之ヲ罰スルニ在リ從テ賭博正犯ノ成立スル以上ハ之ヲ幫助シタル從犯モ亦成立ス而シテ賭場開張又ハ賭博ヲ爲スニ付キ必要ナル帳簿ノ記載ヲ爲スハ幫助ノ行爲ナルヲ以テ從犯トシテ處分スヘキモノトス

○懷胎者ヲ幫助シテ墮胎罪ノ實行ヲ容易ナラシメタル事實ヲ以テ墮胎手術者ヲ幫助シ其犯罪ヲ容易ナラシメタルモノト認定シタル判決ハ不法ナリ

○犯罪遂行ノ手段ニシテ他ノ罪名ニ觸ル、ニ於テハ特別ノ規定アル場合ノ外別罪ヲ構成ス從テ森林盜幫助ノ手段トシテ官印ヲ盜用シタル所爲ハ官印盜用ト森林盜幫助トノ二罪ナリトス

○刑法第九條ノ規定ハ正犯幫助ノ爲メニ用フヘキ手段方法ハ必ス犯罪實行以前ニ於ケル豫備ノ行爲タルコトヲ要ストノ趣旨ニ非スシテ單ニ

三五

三

八九

三五

三

八九

三五

四

一五五

三五

四

一五五

三六

一四七

三六

一四五

從犯行為ノ重ナルモノヲ例示シタルニ過キス從テ正犯ノ犯罪行為ニ著手スル前後ヲ問ハス苟クモ之ヲ幫助シテ其犯罪ヲ容易ナラシメタル以上ハ從犯罪ヲ構成スルモノトス

### 第九章 未遂犯罪

第一百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

○恐喝取財未遂ノ場合ニ於テハ犯人ノ用ヒタル恐喝手段カ人ヲシテ恐怖ノ念ヲ生セシムヘキ性質ノモノタルヲ以テ足ル而シテ被害者カ豫期ノ如ク恐怖ノ念ヲ生シタルヤ否ヤハ未遂罪ノ成立ニ影響ヲ及ボサス  
(同五頁)

恐喝取財未遂ノ場合ニ於テハ被恐喝者カ畏怖シタルヤ否ヤハ必スシモ犯罪ノ成立ニ影響ヲ及ボスモノニ非ス從テ其恐喝手段ニシテ苟モ人ヲ畏怖セシムヘキ性質ヲ有スル以上ハ被恐喝者ニ對シ效力ナカリシ場合ト雖モ恐喝取財未遂罪ヲ構成ス

○訴訟費用ヲ請求スルニ當リ一人ノミ出頭シタルニ三人カ出頭シタルモノ、如ク計算書ニ記載シ確定決定ヲ受ケ執達吏ニ其取立ヲ委任シ金錢ヲ騙取セントシタル所爲ハ詐欺取財未遂罪ヲ構成ス

○委託物ヲ費消スルノ意思ヲ以テ之ヲ隱匿シタルノミノ事實ハ委託物費

消ノ未遂罪ナリトス

○犯罪ノ豫備トハ犯罪構成ノ要素タル行為ニ著手スル以前ノ行為ヲ云フ是故ニ苟モ其要素タル行為ニ著手シタル以上ハ如何ナル程度ニ於テ發覺スルモ常ニ犯罪ノ未遂ヲ以テ論スヘキモノトス

○刑法第三百二十一條ノ自殺ニ關スル教唆罪ハ自殺者ヲ以テ犯罪ノ目的物ト爲シ教唆ノ行為ヲ犯罪構成ノ要素トシ其行為ノ結果被教唆者カ自殺ヲ遂クルニ因リテ完成ス故ニ被教唆者カ自殺セントシテ遂ケザリシ場合ニ於テハ同條ノ未遂罪ヲ構成スルモノトス

○文書偽造行使印影盜用ノ罪ハ偽造ノ文書ヲ行使シ又印影ヲ不正ニ使用スルニ因リテ成立ス從テ單ニ文書ヲ偽造シ又印影ヲ盜捺シタルニ止マリ未タ其行使又ハ使用ニ著手セザルトキハ未遂罪トシテ處罰スルコトヲ得ス

○受託者カ擅ニ委託物ヲ入質セント欲シ其入質方ヲ他人ニ依頼シタルモ他人ニ於テ入質ノ手續ニ著手セル事實ナキ以上ハ受託者ノ所爲ハ委託物費消罪ノ準備行為ト稱シ得ヘキモ未タ其未遂犯ヲ以テ論シ得ヘキモノニ非ス

### 第十章 親屬例

三六	三七	三六	三六
二二三	二六九	一九〇五	七二一

三五	三五	三五	三七
五	四	八	二七四
七	四三	五	

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云フ

- 一 祖父母父母夫妻
- 二 子孫及ヒ其配偶者
- 三 兄弟姊妹及ヒ其配偶者
- 四 兄弟姊妹ノ子及ヒ其配偶者
- 五 父母ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者
- 六 父母ノ兄弟姊妹ノ子
- 七 配偶者ノ祖父母父母
- 八 配偶者ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者
- 九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子
- 十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹

○親屬例(刑法第一編第十章)ハ民法上親屬ト爲スヘキ者ヲ規定シタルニ非スシテ親屬又ハ姻屬ノ關係ヨリシテ刑法上特別ニ處分スヘキ者ヲ列舉シタルモノトス刑事訴訟法第二十四條モ亦同一ノ主旨ニ外ナラス從テ民法ノ制定ニ依リ親屬例ニ變更ヲ及ホスヘキモノニ非ス

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫外孫同シ兄弟姊妹ト稱スルハ異父異母ノ兄弟姊妹同シ養子其養家ニ於ケル親屬例ハ實子ニ同シ

○親屬例(刑法第一編第十章)ハ民法上親屬ト爲スヘキ者ヲ規定シタルニ非スシテ親屬又ハ姻屬ノ關係ヨリシテ刑法上特別ニ處分スヘキ者ヲ列

三五 五 七

舉シタルモノトス刑事訴訟法第二十四條モ亦同一ノ主旨ニ外ナラス從テ民法ノ制定ニ依リ親屬例ニ變更ヲ及ホスヘキモノニ非ス

三五 五 七

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪  
第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

○兇徒嘯集罪(刑法第百三十七條)ハ多衆カ現ニ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲スコト、其暴動カ多衆共同ノ意思ニ基クコト、ニ依リテ成立ス從テ多數ノ人カ此等ノ暴動行爲ヲ爲スモ暴動者間ニ意思ノ合同ナキトキハ本罪ヲ構成セス

○兇徒嘯集罪(刑法第百三十七條)ハ多衆カ其共同ノ意思ヲ以テ暴動行爲ヲ爲スニ依リテ成立ス從テ多衆集合ノ初ニ於テ暴動ヲ爲スノ意思ナキモ其後ニ至リ暴動ノ意思ヲ生シ共同シテ暴動ヲ爲シタルトキハ本罪ヲ

三五 五 一〇五

成立ス

○當初平穩ナル多衆ノ集合ト雖モ多衆ノ意思如何ニ依リ何時ニテモ兇徒嘯集ニ變シ得ヘキモノトス而シテ其集合ノ全部之ニ變セサルモ一部ノ人ニシテ暴動ノ意思ヲ生シ現ニ暴動ヲ爲シタルトキハ其之ニ干與シタル者ニ對シテハ本罪ヲ構成ス

○多數ノ小作人ヲ嘯集シテ村落ヲ騷擾シ暴動ヲ爲スニ至ラシメタルトキハ縱令其目的ハ地主ヲシテ小作米ノ減額ヲ承諾セシムルニ在ルモ相手方タル地主ニ對シ暴行脅迫ヲ爲スニ止マラス村落ノ靜謐ヲ害シタルモノナレハ刑法第三百二十七條前段ノ犯罪ヲ構成ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第三百二十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

○何人ト雖モ官吏カ職務ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ之ヲ妨害シタル者ハ官吏抗拒罪(刑法第三百二十九條)ノ制裁ヲ受クヘキモノトス而シテ其妨害者ノ執行ヲ受クヘキ人タルト其以外ノ第三者タルトハ之ヲ問

同主官判例  
三三三  
年三卷  
七頁

フノ要ナシ

○巡查カ現行犯ト認メタルハ誤ナリトスルモ其當時眞ニ現行犯ナリト信シ引致セントシタル場合ハ其引致手續ハ職務ノ執行タルコトヲ妨ケス從テ其職務ニ對シ抗拒シタル所爲ハ官吏職務執行抗拒罪ヲ構成ス

(同主官)

官吏カ職務ヲ以テ正當ニ法律規則ヲ執行スル場合ニ在テハ縱令其執行カ事實上ノ誤認ニ基因シタルトキト雖モ被執行者ハ之ニ服従スルノ義務アルモノトス從テ之ニ暴行ヲ加ヘ抗拒シタル以上ハ官吏抗拒罪ヲ構成ス

○甲乙共謀シ犯人ヲ逃走セシメント欲シ甲者ハ監守ノ右手ニ組付キ且乙者ニ對シ同監守ノ指ヲ折ルヘキコトヲ命シタルニ乙者之ニ應シテ其左手拇指ヲ逆折シ犯人ヲ逃走セシメタル場合ニ於テハ甲者カ犯人ヲ逃走セシメタル所爲ハ官吏抗拒罪ノ實行正犯ニシテ監守ノ指ヲ折傷シタル所爲ニ付テハ毆打創傷ノ教唆ナリトス

○執達吏代理ハ執達吏カ自己ノ責任ヲ以テ之ヲ選任シ其職務ヲ代行セシムルコトヲ得ルニ止マリ官制上高等官及ヒ判任官ノ資格ナキハ勿論又特ニ官吏ニ準スルモノニモ非ス從テ執達吏代理ハ官吏タル資格ヲ有セス

三五	三	六〇
三五	五	二一九
三七	七	九七
三七	七	五五八

○同一ノ目的ヲ以テ同時同所ニ於テ官權ノ執行ヲ妨害シタルトキハ縱令其執行者ハ數多ノ官吏ナリトスルモ一罪ヲ構成スルニ過キス

三七

五七〇

○刑法第三百九十九條ニ所謂暴行ハ必スシモ官吏ノ身體ニ對シ直接ニ之ヲ加フルコトヲ要セス苟クモ官吏カ職務ヲ執行スルニ當リ暴行ヲ以テ之ニ抗拒シタルトキハ直接タルト間接タルトニ論ナク同條ノ犯罪ヲ構成ス

三七

一五〇〇

○數名ノ官吏カ執行行為ヲ爲ス場合ト雖モ其行為ノ目的ニシテ同一ナル法律規則其他官署ノ命令ヲ共同執行スルニ在ル以上ハ各自別々ニ數箇ノ執行行為ヲ爲スモノニ非スシテ相共ニ一ノ執行行為ヲ爲スモノトス從テ之ヲ抗拒スル犯人ノ所爲ハ數名ノ官吏ヲ對手トスルニ拘ハラズ單ニ一罪ヲ構成スヘキハ當然ナリ

三七

二二二

第四百四十二條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

○侮辱トハ誹毀ト罵詈トヲ意味スル法語ナリトス從テ罵詈ニシテ公吏ノ職務ニ對スルモノナル以上ハ公吏侮辱罪ヲ構成ス

三五

四八七

○公廷内ニ於テ立會檢事ノ職務ニ對シ侮辱ヲ加フル目的ヲ以テ檢事ニ面

シタル儘故ラニ兩手ニテ顔ヲ撫テ大ナル咳嗽様ノ聲ヲ發シ雙手ヲ高く差伸シ大聲ヲ發シタル所爲ハ刑法第四百四十一條第一項ニ所謂形容ヲ以テ侮辱シタルモノトス

三五

六一三五

○訟廷ニ列席セル判事檢事等ニ對シ單一ノ行為ヲ以テ侮辱ヲ加ヘタル所爲ハ則チ一ノ官憲ニ對スル侮辱行為ニシテ各人ニ對スル毎ニ一罪ヲ構成スルモノニ非ス從テ審理ノ結果被害者ノ數ヲ増減スルモ之カ爲メ殊別ノ判決ヲ爲スノ要ナシ

三五

六一三五

○刑法ニ所謂官吏中ニハ法律規則ニ依リ官吏ト同一ノ待遇ヲ受ケ又ハ之ニ準スル旨ノ規定アル者ヲモ包含ス

三五

一〇三

○雇員ハ官吏ニ非ス

三五

一〇三

○縣立中學校長ハ刑法ニ所謂官吏ナリトス從テ其職務ニ對シ侮辱シタル所爲ハ官吏侮辱罪ヲ構成ス

三五

一〇三

○檢疫委員ノ職務ハ傳染病豫防法第十五條市制第六十一條ニ依リ市參事會員ニ屬ス而シテ市長ハ市參事會員ナルヲ以テ檢疫委員長ハ公吏タル市長ノ公務ナルコト勿論トス從テ其職務ニ對シ侮辱シタル所爲ハ公吏侮辱罪ヲ構成ス

三六

四八一

○特ニ當該官吏ノ氏名ヲ掲ケサルモ東京地方裁判所刑事部下記載アル以

上ハ特定ノ官吏ヲ指示シテ侮辱シタルモノナリトス  
 ○他人ニ對シテ形容ヲ爲シ又ハ言語ヲ發スルモ其形容言語カ目前ニ在ル  
 官吏ノ職務ニ對シ之ヲ侮辱スヘキモノナルニ於テハ官吏侮辱罪ヲ構成  
 ス

○刑法第四百四十一條第二項ノ演説トハ或事項ノ問題ヲ掲ケ之ヲ演説示  
 スルモノ、ミヲ云フニ非ス

○裁判所構内辯護士控所ニ於テ辯護士新聞記者廷丁給仕傍聽人等數十名  
 居合セタル際暗ニ檢事ヲ指シ侮辱ノ語ヲ放チ大聲演説シタル所爲ハ刑  
 法第四百四十一條第二項ニ所謂公然ノ演説ヲ以テ侮辱シタルモノトス

第二節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四百四十四條 未決ノ囚徒人監中逃走シタル者ハ第四百四十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪チ  
 判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

○警察官カ刑事訴訟法第五十八條ノ規定ニ基キ令狀ヲ待タスシテ逮捕シ  
 タル被告人ハ未決ノ囚徒ナリトス而シテ其囚徒ニシテ監獄ノ一部ナル  
 警察署ノ留置場ニ拘禁セラレタルトキハ其入監中ナルコト論ヲ俟タス  
 從テ該囚徒ニシテ逃走シタルトキハ刑法第四百四十四條ノ囚徒逃走罪ヲ  
 構成スルモノトス

三五	三	九〇七
四五	五	二〇九
三五	六	一三五
三五	四	一七〇

第五百一十一條

犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ之ヲ藏  
 匿シ若クハ隠避セシメタル者ハ十一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上  
 下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

○刑法第五百一十一條ノ犯罪人隠避ノ罪ハ自ら隠避ノ行爲ヲ行ハサルモ犯  
 罪人ニ隠避ノ便ヲ與ヘタルニ依リテ成立ス

○犯人隠避罪(刑法第五百一十一條)ハ犯罪人ナルコトヲ知リテ之ヲ隠避セ  
 シムルニ因リテ成立ス從テ隠避ノ所爲カ其犯罪人ニ對スル告訴又ハ豫  
 審請求前ニ在ルヤ若クハ其後ニ在ルヤハ犯罪ノ成立ニ影響ナシ

第五百一十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメシメテ圖リ其罪證ト爲ル可キ物件ヲ隠蔽シタル  
 者ハ十一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○人ヲ教唆シ自己ノ犯罪ノ證トナルヘキ物件ヲ隠蔽セシメタル所爲ハ刑  
 法第五百一十二條罪證隱蔽罪ノ教唆罪ヲ構成ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ  
 重禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○往來ノ妨害トナルヘキコトヲ豫知シ乍ラ道路損壞ノ行爲ニ著手シタル  
 以上ハ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ其犯行ヲ遂ケサルモ往來妨害

三五	五	一四七
三五	五	一四七
三五	七	一八三



未遂罪ヲ構成ス

第六十五條 汽車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス

○汽車カ軌上ノ石ヲ割ルヤ否ヤヲ試験センカ爲メ軌上ニ石ヲ置キタル所爲ハ其直接ノ目的ハ往來ヲ妨害スルカ爲メニ非スト雖モ既ニ之ヲ知リ乍ラ其所爲アリタル以上ハ汽車往來妨害罪(刑法第六十五條)ヲ構成ス

○刑法第六十五條ノ罪ハ汽車ノ往來ヲ妨害スル爲メ之ニ危險ヲ加フヘキ虞アル障礙ヲ現存セシムルニ依リテ完成シ現ニ汽車ノ進行ヲ阻害シタルコトヲ必要トセス

(同主旨)

刑法第六十五條ハ汽車ノ往來ヲ妨害スル爲メニ出テタルコトヲ要シ現ニ妨害ヲ爲シタルコトヲ必要トセス

第六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

○刑法第六十七條ニ所謂其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時トハ汽車ノ往來妨害罪ニ在テハ總テ鐵道ニ關スル事務ニ従事セル官吏雇人等カ自ラ其罪ヲ犯シタル場合ヲ指稱シタルモノニシテ擔當事

務ノ如何ハ問フ所ニ非ス從テ鐵道停車場ノ驛夫見習ノ如キモ亦同條ノ雇人ニ包含ス

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス  
若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

○收税官吏カ容器ニ施シタル封印ヲ破棄シ在中ノ物品ヲ取出シ他ニ移シタル所爲ハ封印破棄(刑法第七十四條)差押物件藏匿(刑法第三百九十六條)ノ二罪俱發ナリトス從テ竊盜罪(刑法第三百七十一條)ヲ以テ論スヘキモノニ非ス

○封印破毀罪ト刑法第三百七十一條ノ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守スル自己ノ所有物ヲ竊取スル罪トハ各獨立シタル犯罪ナリトス從テ封印破毀罪ハ右盜罪ノ成立要件ニ非ス

○刑法第七十四條ノ封印破棄罪ハ封印ヲ施ス職務權限ヲ有スル人カ官署ノ命令ニ基キテ施シタル封印ヲ破棄スルニ因リテ成立ス而シテ其封印ヲ施シタル者ノ官吏タルト否トハ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ナシ

(同主旨)

執達吏代理ハ執達吏規則ニ依リ執達吏ニ代リテ其職務ヲ執行スル者トス從テ執達吏代理カ裁

三七 二九五

三五 四 三三

三七 一八〇八

三五 四 三三

三七 一八〇八

三五 八 二

三六 一四六八

三七 一四〇二

判所ノ執行命令ニ基キ其職務上爲シタル封印ヲ破棄スルニ於テハ刑法第七十四條ノ犯罪ヲ構成ス而シテ其封印ヲ施シタル者ノ身分ノ官吏又ハ公吏タルト否トハ犯罪ノ成立ニ關係ナシ

○執達吏代理ハ官吏ニ非スト雖モ執達吏ニ代リテ差押其他執達吏ノ取扱フヘキ一切ノ手續ヲ行フノ權限ヲ有ス從テ執達吏代理カ執行力アル判決正本ニ基キ債務者ノ動産ヲ差押ヘテ之ニ施シタル封印ハ刑法第七十四條第一項ニ所謂官署ノ處分ニ因リテ施シタルモノニ該當ス

○刑法第七十四條第一項ニハ官署ノ處分ニ因リ特別ニ倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印トアルヲ以テ其封印ニシテ苟クモ違法ノ手續ニ依リ成立シタルモノナルカ若クハ或事由ノ爲メ失効ニ歸シタルモノニ非サル以上ハ總テ封印破棄罪ノ目的タルコトヲ得而シテ其差押手續ノ完了シタルヤ否ヤハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ

○執達吏代理カ債權者ノ委任ニ基キ債務者ノ住居ニ臨ミ其所有ニ係ル金庫ノ開扉ヲ命シタルモノ之ヲ開扉シ能ハサルヨリ後日ノ取調ヲ保全スル爲メ該金庫ニ封印ヲ施シタルトキハ既ニ強制執行ニ著手シタルモノニシテ其封印ハ執達吏ノ職務上當然爲シ得ヘキ必要ノ行爲ナリトス故ニ惡意ヲ以テ之ヲ破棄シタル所爲ハ封印破棄罪ヲ構成ス

○膠ヲ差押ヘテ封印ヲ施シタル場合ニ在リテハ其容器ハ封印ノ一部ヲ成

スモノトス從テ其容器ヲ破壊シタル所爲ハ封印破棄罪ヲ構成ス

(同室旨)

膠ヲ差押ヘテ封印ヲ施シタルトキハ其容器モ亦封印ノ一部ヲ成スモノトス從テ容器自體ニ孔穴ヲ穿テ之ヲ破壊シタル以上ハ縱令其封印ノ紙片ニハ何等破壊除去ノ所爲ナキモ刑法第七十四條ノ犯罪ヲ構成ス

○債務者ニ對スル執達吏ノ諭示書ハ常ニ差押處分ニ隨伴シテ生スル一ノ文書ナレトモ封印其モノ、一部ニ非スシテ全然別箇ノ效用ヲ有スルモノナレハ差押物件ニ施シタル封印ヲ破棄シ併セテ諭示書ヲ毀棄スルトキハ封印破棄及ヒ官文書毀棄ノ二罪ヲ構成ス

第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第四百八十二條

内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス若シ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

○偽造貨幣ヲ他人ニ交付シテ其所有權ヲ移轉スルハ貨幣ノ用法ニ從ヒ之ヲ使用シタルモノトス從テ偽造貨幣ヲ小遣錢トシテ贈與シタル所爲ハ偽造貨幣行使罪ヲ構成ス而シテ其行爲ノ有償タルト無償タルトハ犯罪ノ成立ニ影響ヲ及ホサス

三五  
四  
四八

三六  
四七〇

三七  
一六六一

三七  
二三四

三七  
二八七

三七  
二四六二

三七  
二四六二

三六  
九二一

○自ラ犯罪ノ實行ニ著手シタル後他人ヲシテ其一部ヲ行ハシムルハ犯罪ノ教唆ニ非スシテ犯罪行為ノ分擔ナリ從テ自ラ貨幣ヲ偽造シ他人ヲシテ之ヲ行使セシメタル場合ニ在テハ貨幣偽造行使ノ一罪ニ問フヘキモノトス

○五十錢二十錢十錢ノ銀貨ハ各異ナリタル法益ノ附著セルモノナルヲ以テ之ヲ偽造スルトキハ各銀貨固有ノ法益ヲ侵害ス從テ一銀貨毎ニ一罪ヲ構成スルモノトス

○貨幣ノ變造トハ正當ノ貨幣ヲ材料トシテ同質ノ貨幣ヲ造成スルノ謂ナリ故ニ五厘銅貨ヲ材料ト爲シ二十錢銀貨ヲ造成スルハ變造ニ非スシテ偽造ナリトス

第八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス  
若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

○二十錢銀貨ヲ偽造行使センコトヲ企テ五厘銅貨ノ縁ニ刻ミヲ附シ文字ヲ改造シテ之ヲ銀色ト爲シタルモ其方法拙劣ナルカ爲メ未タ他人ヲ欺クコトヲ得サルトキハ刑法第八十六條ニ所謂貨幣ノ偽造未タ成ラサル者ニ該當ス

第九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス  
其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

○刑法第九十條第一項ノ犯罪ハ偽造變造タルノ情ヲ知テ收受シタル貨幣ヲ真正ノモノナリトシテ情ヲ知ラサル者ニ對シ之ヲ使用スルニ因リテ成立ス故ニ其偽造タルノ情ヲ明カシテ之ヲ他人ニ交付スルモ同項ノ犯罪ヲ構成スルコトナシ

○他人カ情ヲ知テ偽造兌換券ヲ收受シ之ヲ行使セントスルニ當リ其謀議ニ贊同シ之ニ加功シテ行使ヲ遂ケタル者ハ縱令自ラ該偽造紙幣ヲ收受セサルモ正犯トシテ處分スヘキモノトス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

○甲乙及ヒ丙郵便電信局ノ消印ヲ偽造行使シタル所爲ハ縱令其偽造印ヲ同一ノ文書ニ押用セル場合ト雖モ三箇ノ官印偽造行使罪ヲ構成ス故ニ其或モノニ對シテ起訴スルモ爾餘ノモノハ之ニ包含セラル、コトナシ  
○刑法第九十五條ニ所謂官署ノ印ヲ偽造シタル者ニハ官署ノ眞印ニ模擬シ或方法ヲ以テ其印影ヲ現出セシメタル者ヲモ包含ス

三五  
四  
三

三六  
一七六

三八  
二三五

三九  
二三五

三七  
二〇九六

三七  
二二四

三七  
九七〇

三七  
二四八

○苟クモ實在セル官署ノ印ナリトシテ人ヲ欺クニ足ルヘキモノヲ偽造スルトキハ官印偽造罪ヲ構成ス從テ眞印ノ存在スルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ

○印章偽造ノ行爲ハ行使ノ手段ニ外ナラス唯官印ニ付テハ特ニ手段タル偽造ノミナルモ之ヲ處罰スヘキコトヲ規定シタルニ過キサレハ官印ヲ偽造シテ行使シタル場合ニ於テハ其目的タル行使ノ所爲ニ付キ其罪ヲ論スヘキハ當然ナリ

(同旨)

印章偽造ノ行爲ハ行使ノ手段ニ外ナラス唯官印ニ付テハ特ニ手段タル偽造ノミナルモ之ヲ罰スヘキコトヲ規定シタルニ過キス從テ偽造ト行使ト併發シタル場合ニ在テハ其目的タル行使ノ所爲ニ付キ其罪ヲ定ムヘキモノトス

○官吏公吏ノ用ユル印願カ私印ナルヤ將タ職印ナルヤハ其印願ノ性質如何ニ依リテ定ムヘキモノニシテ之ヲ押捺セル文書ノ性質ニ據リテ定ムヘキモノニ非ス

○金庫ハ大藏大臣ノ管理スル官署ニシテ金庫ニ關スル事務ハ官ノ事務ナリトス從テ其擔當者ノ官吏ナルト否トヲ論セス該事務ニ關シテ使用スル金庫ノ印ハ官印ナリ

○押捺ニ依リ官印ニ模擬セル影蹟ヲ現出スヘキ材料ヲ製造スルニ於テハ其材料ノ一箇タルト數箇タルトヲ問ハス官印偽造罪ヲ構成スルモノトス

第九十六條

產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

○山林ノ樹木ニ押用スル印章ハ刑法第九十六條第一項ニ所謂產物ニ押用スル印章ナリトス

○大林區署ニ於テ山林ノ樹木及ヒ其伐根ニ押用スル檢字並ニ山字ノ兩印ハ刑法第九十六條ニ所謂產物ニ押用スヘキ官ノ印章ナリトス

○工事請負人カ其請負工事ニ用ユヘキ石材ノ検査ニ合格シタルコトヲ表示センカ爲メ之ニ押用スル府縣廳ノ印章ハ刑法第九十六條第一項ノ所謂商品ニ押用スル官ノ印章ニ該當ス

第九十七條

御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

○衡器ニ施用スヘキ官ノ印章ハ刑法第九十六條ニ所謂商品ニ押用スル

三六

二二七

三六

二二七

三五

一〇九

三六

二〇八一

三六

二一六三

三六

二七四

三六

一一〇

三七

一九三

三六

八〇九

官ノ印章ナリトス從テ檢定濟ノ衡器ニ刻施シアル檢定印章ヲ挾取シ他ノ衡器ニ嵌入シタル所爲ハ刑法第九十七條ニ所謂官ノ印章ノ影蹟ヲ盜用シタル所爲ニ該當ス

三五 九四

○石川縣立輸出織物検査所ハ石川縣内務部ノ監督ニ係リ縣廳ノ一部ニシテ官署ニ外ナラス從テ其検査所ノ印ハ官印ナリトス

三六 一〇二

○小林區署ハ大林區署ノ事務ヲ分掌スル爲メニ設置セラレタル官署ニシテ其署長ハ大林區署長又ハ大林區支署長ノ指揮ヲ承ケ署務ヲ掌理スルモノトス從テ小林區署長心得ハ拂下木ニ押用スヘキ極印ヲ保管スルノ職務權限ヲ有ス

三七 一〇〇

○區裁判所出張所ノ消印ハ單ニ塗抹ノ用ヲ爲スニ止マラスシテ其職務上消印ヲ爲シタルコトヲ證明スヘキ印章ナリトス從テ擅ニ之ヲ押捺シタル所爲ハ官印盜用罪ヲ構成ス

三七 二九

第九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○一旦貼用ノ上消印ヲ施シ印紙ノ效用ヲ了リタルモノハ再ヒ印紙トシテ使用スヘカラサル紙片タルニ過キス從テ此紙片ヲ切斷シ其斷片ヲ彼此

繼合シテ新ニ印紙ヲ製造シタル所爲ハ印紙ノ偽造ナリトス

三六 一七

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

○文書偽造罪ハ信用ヲ害スル罪ナルヲ以テ或目的ヲ以テ偽造若クハ變造ノ文書ヲ行使スルニ因リ成立シ結局ノ目的ヲ達シ得ルト否トハ犯罪ノ構成ニ影響ナシ

三五 一四

○電報送達紙ヲ偽造シ之ニ必要ナル文言ヲ記入シテ配達ノ手續ヲ爲シタルトキハ縱令日附印ノ押捺ナシト雖モ官文書偽造行使罪ヲ構成ス

三五 二三

○電報送達紙ハ郵便電信局ニ於テ作成スル文書ナレハ私人ノ通信ト雖モ尙ホ官文書ナリトス

三五 二三

○官吏ニシテ其官廳ノ取扱例ニ依リ記入スヘキ事項ヲ偽造スルトキハ官文書偽造罪ヲ構成ス

三五 一五

○同一ノ文書ニシテ一面ハ私文書偽造トナリ一面ハ官文書偽造トナル場合ニ於テハ私文書偽造罪ハ自ラ官文書偽造罪中ニ包含ス

三五 一五

○刑法第二百三條ニ所謂官文書トハ官吏カ其職務ノ執行上法令其他所屬官廳ノ職務規定ニ基キ作成スル書類ヲ總稱ス

三五 一〇六

○官廳ノ内達慣例等ニ依リ作成スヘキ書類ニ關シ其例規ノ存在スルヤ否  
ヤハ一ノ事實問題ナリトス從テ裁判所ハ各種ノ證據方法ニ依リ其存否  
ヲ認定シ官文書ナルヤ否ヤヲ解決スヘキモノトス

三五 六一〇六

○官文書作成ノ目的及ヒ其本來ノ效用如何ニ拘ハラズ之ヲ他ノ目的ニ使  
用シ本來定マレル効用以外ノ效用ヲ致サシムルコトヲ得從テ此場合ニ  
於テモ官文書偽造行使罪ヲ構成ス

三五 六一〇六

○法律ニ於テ代理ヲ許ス場合ナルト其然ラサル場合ナルトヲ問ハス苟モ  
代理權限ヲ有セサル者カ擅ニ某代理ト記入シ之ヲ以テ眞ニ官ヨリ發シ  
タル文書ナリトシテ行使シタルトキハ官文書偽造行使罪ヲ構成ス

三五 九八七

○郵便貯金通帳ハ郵便局ナル官廳ニ於テ官吏カ職務上作成スヘキ文書ナ  
リトス從テ其記載事項ハ一私人ノ貯金證明ニ過キスト雖モ官ノ文書ニ  
外ナラス

三五 一〇一一

○有體動産ノ差押ヲ爲シ其調書ヲ作成スルハ執達吏ノ職務ニシテ執達吏  
ハ右等ノ職務ヲ自己ノ責任ヲ以テ代理ノ資格ヲ有スル者ニ委任スルコ  
トヲ得(執達吏規則第十一條)從テ其代理人カ作成シタル調書ハ執達吏  
カ自ラ作成シタル文書ト同シク官文書ナリトス

三五 一一六六

○明治三十四年度第一期縣稅地租割ノ領收書中第一期ノ一ナル文字ノ上

同主旨判例  
三〇年四卷  
三六頁

ニ更ニ一畫ヲ加ヘ二ノ字ト爲シ以テ第二期縣稅地租割ノ領收書ヲ作成  
シタル所爲ハ文書ノ變造ニ非スシテ偽造ナリトス

三五 一一二三

○書類ノ作成者ニ非サル他ノ係官ニシテ承認ノ爲メ其書類ニ捺印スルモ  
書類ヲ作成シタルモノト云フヲ得ス從テ捺印ノ所爲ハ文書偽造變造罪  
ヲ構成セス

三六 九

○凡ソ文書ノ偽造變造アリトスルニハ其目的タル文書即チ言語文章ヲ以  
テ表出シタル記録アルヲ要ス而シテ捺印ノミハ一ノ記録ニ非サルヲ以  
テ文書偽造罪ヲ構成スルコトナシ

三六 九

○事務取扱ノ便宜上主任者ニ代リテ書類ノ文詞ヲ筆記シタルニ止マルト  
キハ書類ヲ作成シタルモノト云フヲ得ス從テ其書類ハ職權アル主任者  
ノ作成シタルモノニシテ偽造文書ヲ以テ目スヘキモノニ非ス

三六 九

○官吏公吏カ其職務上作成スヘキ文書ト雖モ虛偽ノ事項ヲ記載シテ一箇  
ノ文書ヲ作リタルトキハ其所爲ハ一個人カ官公吏タル記録者ノ資格ヲ  
詐リ偽造文書ヲ作成シタルモノニ外ナラス從テ其所爲ハ官文書偽造罪  
ヲ構成ス

三六 二八二

○郡長ハ水利組合條例第二十九條ノ規定ニ基キ府縣知事ノ指定ニ依リ水  
利組合ヲ管理スルモノナレハ水利組合其者ハ公共事務ヲ處理スル團體

ナリトスルモ之ヲ管理スルハ郡長ノ職務ナリ從テ其管理者タル郡長ノ作製スヘキ文書ハ公文書ニ非スシテ官文書ナリトス

三六

三〇四

○町村學校組合收入役ハ公吏ナリトス從テ其名義ノ領收證ヲ偽造行使シタル所爲ハ公文書偽造行使罪ヲ構成ス而シテ收入役任命ノ手續ニ不完全ノ點アリシヤ否ヤハ毫モ此犯罪ノ構成ニ關係ナシ

三六

三三七

○文書偽造罪ノ完成ニ必要ナル行使アリトスルニハ犯人ノ所爲カ文書ノ信用ニ對スル危險ヲ生スルノ程度ニ達シタルノミヲ以テ足レリトシ犯人ノ行爲ヨリ生スル其後ノ結果如何ハ之ヲ問フノ必要ナシ從テ犯人カ或方法ヲ以テ偽造文書ヲ利害關係人ノ閱覽ニ供シ利害關係人ヲシテ其内容ヲ知ルコトヲ得セシムヘキ状態ニ置キタルトキハ利害關係人ニ於テ現ニ之ヲ閱覽シテ其内容ヲ認識シタルト否トニ拘ハラヌ偽造文書ノ行使アリタルモノトス

三六

五〇七

○帳簿中正當ノ記事アル一葉ヲ毀棄シ其次葉以下ニ無實ノ記入ヲ爲シタル所爲ハ帳簿ヲ毀棄スルト同時ニ之ヲ偽造シタルモノトス從テ文書毀棄及ヒ偽造ノ二罪ヲ構成ス

三六

七二六

○送達證書カ一旦執達吏ノ管掌ニ歸シタルトキハ其證書ハ全部官文書トナリ受取人ノ氏名ノ部分ノミヲ分割シテ私文書ナリト云フヲ得ス從テ

執達吏自ラ送達證書中受取人ノ氏名ヲ偽造又ハ變造シ若クハ他人カ執達吏ノ手中ニ在ル送達證書ノ受取人ノ氏名ヲ偽造又ハ變造シタルトキハ官文書ノ偽造又ハ變造罪ヲ構成ス

三六

九二〇

○町村制第六十四條ニハ町村ニモ區長ヲ置クノ制アリテ其第七十三條ニ依レハ區長ハ町村長ノ事務ヲ補助執行スル町村吏員ナルコト明カナレハ區長ハ町村長ニ代リ當然公文書類ヲ保管スルノ職責ヲ有ス從テ變造ノ地圖ヲ區長タル町村吏員ニ交付シ他人ヲシテ之ヲ閱覽スルノ状態ニ置キタル所爲ハ偽造文書行使罪ヲ構成ス

三六

九八五

○村役場ニ於テ其必要上作成保管シタル地圖ハ法令ノ規定ニ基キ作成シタルモノニ非サルモ其性質公文書ナリトス

三六

九八五

○官文書トハ必スシモ官吏ノ作成シタル文書ノミヲ云フモノニ非ス從テ一私人ノ作成シタル文書ト雖モ之ヲ官廳ニ差出シ官廳ニ於テ保存スヘキ文書ナル以上ハ官ノ記録又ハ官ノ帳簿ニ外ナラサルヲ以テ官文書ナリトス

三六

一一三〇

○郵便取扱所ハ官衙ニ非ス且郵便取扱人ハ私人ニシテ官吏ニ非サルモ郵便取扱所ニ於テ取扱人ノ擔任司掌スル所ノ郵便事務ハ官廳ノ事務ナリトス從テ取扱人名義ノ貯金拂戻證書ヲ偽造シ之ニ取扱人ノ職印ヲ盗用

同主官判例  
三二年一巻  
四八頁

シタル所爲ハ官文書偽造行使及ヒ官印盜用罪ヲ構成ス

三六 一四八四

○戸籍簿ノ謄本ハ戸籍簿内容ノ事項ヲ證明シテ人民ニ下付スル文書ニ非  
スシテ戸籍簿ノ記載其儘ヲ謄寫シテ人民ニ下付スル文書ナリトス從テ  
戸籍簿ノ謄本ハ公證文書ニ非スシテ公文書ナリ

三六 一五四四

○公簿ハ刑法第二百三條ニ所謂文書中ニ包含ス

三六 一六七七

○文書偽造行使罪ヲ構成スルニハ其文書ヲ偽造行使シタルニ因リ他人ニ  
害ヲ生シ又ハ生シ得ヘキ事實ヲ要件ト爲スヘキモノトス而シテ其眞實  
ヲ僞リタルヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシ

三六 一六八二

○警察署ハ古物商取締法第七條但書ニ依リ住所氏名ノ詳ナラサル者カ其  
所持品ヲ賣買交換セントスル場合ニ於テ其申請ニ依リ證明ヲ與フルノ  
職權ヲ有ス從テ其證明書ヲ偽造シタル行爲ハ官文書偽造罪ヲ構成ス

三六 一八一五

○文書偽造行使罪ハ信用ヲ害スルノ罪ニシテ財産ニ關スル罪ニ非ス故ニ  
金錢ヲ私スルト否トハ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ナシ

三六 一八五六

○本金庫カ支金庫ニ對シ振替拂ヲ通報スル電報頼信紙ハ官文書ナリトス  
○府縣土木出張所ノ吏員カ其出張所ノ職務權限ニ屬スル事項ニ付キ出張  
所ノ名ヲ以テ作成シタル證明書ハ官文書ナリトス

三七 一六一

○逮捕狀ハ各箇獨立ノ文書ナリト雖モ之ヲ編綴シテ一ノ簿冊ヲ成ス以上

ハ其編綴中ヨリ擅ニ一ノ逮捕狀ヲ引抜クトキハ縱令其逮捕狀ヲ滅却セ  
シメタル事實ナキモ官文書毀棄罪ヲ構成ス

三七 六八五

○土地ヲ抵當ト爲シ村ノ基本財産中ヨリ金圓ヲ借受ケタル者カ爾後村長  
ニ就任セシヲ奇貨トシ未タ借用金ノ辨濟ナキニ拘ハラヌ助役ヲシテ受  
取書ヲ作成交付セシメ其結果登記抹消申請ノ爲メ村長代理トシテ同助  
役ヲ區裁判所ニ出頭セシムル旨ノ命令書ヲ作成シ村長ノ公印ヲ押捺シ  
テ借用證書ト共ニ之ヲ提出シタル所爲ハ公印盜用公文書偽造行使罪ヲ  
構成ス而シテ此場合ニ助役カ後日村長ヨリ他ノ借用證書ヲ差入ルヘキ  
約定ニ基キ登記ノ抹消ヲ承諾シタル事實ハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ  
及ホサス

三七 一四三五

○官報ハ印刷局カ内閣總理大臣ノ管理ノ下ニ行政事務ノ一部トシテ編輯  
印刷スル官ノ報告書ナリトス從テ官報原版中既ニ植字セラレタル活字  
ヲ變換シ其印刷ヲ遂ケシメタル所爲ハ官文書偽造罪ヲ構成ス

三七 一四四二

○印刷局カ一人ノ依頼ニ因リ或事項ヲ官報ニ掲載シテ發行スル場合ト  
雖モ其官文書タル性質ヲ變スルコトナシ

三七 一四四二

○官吏ノ出張旅費内譯明細表ハ旅費請求ノ爲メ出張日數及ヒ金額等ヲ詳  
記セル説明書ニ外ナラサレハ其職務上作成シタルモノニ非スシテ自己



ノ權利ニ關スル私文書タルニ過キス從テ虛偽ノ内譯明細表ヲ作成スルモ官文書偽造罪ヲ構成セス

同主判例  
三一年二卷  
一一二頁

○登記ニ關スル登記料又ハ登録税ハ名刺又ハ申請書ニ印紙ヲ貼用シテ納付スヘキモノニシテ登記申請ノ方式ハ其貼附ヲ以テ完備スルモノトス故ニ印紙ハ其貼附ト同時ニ名刺又ハ申請書ト一體ヲ成シ文書ノ一部ヲ構成スルモノナレハ登記申請受附ノ當時ナルト登記後ナルトヲ問ハス其印紙ヲ剝離シタル所爲ハ該文書ノ毀棄罪ヲ成立ス

○一私人名義ノ文書ヲ偽造シ豫テ官署又ハ公署ニ保存セラレタル書類ナルカ如ク裝ヒテ之ヲ官署若クハ公署ニ備付ケタル所爲ハ官文書又ハ公文書ノ偽造行使罪ヲ構成ス

○傳染病豫防費補助稟請書ニ包括的ニ金額ヲ掲記シ之カ補助ヲ申請シタル場合ニ於テ其記載金額不實ナル以上ハ該稟請書ハ全部偽造ニ係ルモノトス從テ其金額ノ割合ニ應シ之ヲ分割シテ一部ヲ偽造トシ他ノ一部ヲ真正ノモノト爲スヲ得ス

○官署ノ名稱ニ多少ノ相違アルモ苟クモ實在セル官署ヨリ出テタル文書ナリトシテ人ヲ欺クニ足ルヘキモノヲ偽造シ之ヲ行使シタル所爲ハ官文書偽造行使罪ヲ構成ス

○苟クモ官署ヨリ出ツヘキ文書ヲ偽造行使スルトキハ其公權關係ニ於テ作成シタル文書ナルト否トヲ論セス官文書偽造行使罪トシテ處斷スヘキモノトス

(同主旨)

刑法第二百三條第一項ニハ單ニ「官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ云々」トアリテ公法上ノ關係ニ於テ作製スヘキ文書ナルト私法上ノ關係ニ於テ作製スヘキ文書ナルトヲ區別スルコトナシ從テ苟クモ官吏方其職務上作製スヘキ文書ナル以上ハ總テ官ノ文書ナリトス

○村役場書記カ擅ニ戶籍簿ヲ變造シタル後戶籍吏ノ名義ヲ冒シ其職印並ニ役場印ヲ盜捺シテ戶籍謄本ヲ作成シタル所爲ハ戶籍簿變造行使並ニ謄本偽造行使ノ二罪ヲ構成ス而シテ其謄本ノ記載カ變造ニ係ル原簿ノ記載ト同様ナルヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシトス

○文書ノ形式的真正ヲ害スル所爲ハ文書偽造罪ヲ構成ス而シテ其文書ノ内容カ實體上ノ事實ニ符合スルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ  
○物品會計規則第十五條第二項ハ前任ノ物品會計官吏ヲシテ在職中ノ職務ニ關スル官文書ヲ作成セシムルノ必要ヲ認メ特ニ之ヲ規定シタルモノトス故ニ前任物品會計官吏トシテ物品出納ノ計算書ヲ作成スルニ方

三七  
一九四

三七  
二九二

三七  
三三二

三六  
一七〇

三六  
二二七

三六  
二二七

三六  
三二一

三六  
二九七

三六  
三三三

リ自己ノ犯罪ヲ掩ハンカ爲メニ虚偽ノ事項ヲ記載シテ行使シタル所爲ハ官文書偽造行使罪ヲ構成ス

○執達吏カ執達吏職務細則ノ規定ニ依リ債務者ニ諭示スル爲メ作成シタル文書ハ官文書ナリトス

○債務者ニ對スル執達吏ノ諭示書ハ常ニ差押處分ニ隨伴シテ生スル一ノ文書ナレトモ封印其モノ、一部ニ非スシテ全然別箇ノ效用ヲ有スルモノナレハ差押物件ニ施シタル封印ヲ破棄シ併セテ諭示書ヲ毀棄スルトキハ封印破棄及ヒ官文書毀棄ノ二罪ヲ構成ス

○執達吏規則第二十二條ニ執達吏ハ此規則ニ依ルノ外總テ一般官吏ノ例ニ依ルトアリテ執達吏ハ官吏ノ身分ヲ有スルモノナレハ其職務ニ關シテ作成シタル文書ハ公文書ニ非スシテ官文書ナリトス

○師團經理部ニ於テ馬糧購買手續ノ便宜ヲ圖リ各町村役場ニ對シ納入命令書ノ發付ヲ委託シタル場合ニ豫メ上司ヨリ其受託ノ原由ト爲ルヘキ指令アリタルトキハ町村長カ右ノ事務ヲ取扱フハ即チ職務上ノ行爲ニ外ナラス從テ其取扱ニ係ル文書ヲ偽造行使シタル所爲ハ公文書偽造行使罪ヲ構成ス

○本來私人ノ作成スヘキ文書ト雖モ市町村役場備付ノ書類トシテ之ヲ偽

造行使シタル所爲ハ公文書偽造行使罪ヲ構成ス

○警察官吏カ行政警察上ノ職權ニ基キ人民ニ對シテ發スル諭告書ハ官文書ノ性質ヲ帶フルモノトス而シテ該文書中偶々警察署ノ權限ニ屬セサル事項ノ記載アルモ之カ爲メニ其性質ヲ變スルコトナシ

○不眞正ナル官文書ヲ眞正ノ官文書ナリトシテ行使シ自己ノ欲望ヲ達セント企テタル以上ハ其目的ノ利害得失如何ニ拘ハラズ文書偽造行使罪ノ成立ニ必要ナル實害ノ要件ヲ具備スルモノトス

○舊戶籍簿ハ戶籍改製ノ時期ヨリ五十年間保存スヘキ公文書ナリトス從テ其保存期間中之ヲ變造シタル所爲ハ公文書變造罪ヲ構成ス

○裁判所書記カ職務上保管スル登記申請書ヨリ印紙ヲ剝離シテ竊取シタル所爲ハ官文書毀棄及ヒ監守盜ノ二罪ヲ構成ス

○登記所ノ通知書ヲ増減變換シ該文書本來ノ旨趣ニ從ヒ其證明力ヲ變更シテ之ヲ行使シタル所爲ハ官文書變造罪ヲ構成ス而シテ其通知書カ既ニ廢紙ト爲リタル事實ハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ボサス

第二百四條 公債證券地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證券ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

三六 四五七

三六 四七〇

三六 四七〇

三六 四七〇

三六 五〇五

三六 六九三

三六 七九五

三六 七九五

三六 二〇九

三六 二五三

三六 二八三

○町長カ自己ニ關スル事項ノ取扱ヲ避ケスシテ其町長タルヲ機トシ他人ノ證明願書ヲ偽造シ其監守ニ係ル町長ノ職印及ヒ役場印ヲ押捺シタル所爲ハ公文書偽造罪ヲ構成ス

三五

三

八〇

同主旨判例  
三二年一巻  
七頁

○登記官吏ノ爲シタル登記済ナル證明ハ登記原因ヲ證スル證書ニ記載シタル登記事項ヲ證明シタルモノトス從テ官吏ノ公證シタル文書トハ單ニ登記済ナル文字並ニ年月日番號廳名等ノ記載アル部分ノミナラス右證書中證明セラレタル事項ノ記載ハ總テ公證文書ナリトス

三五

二

九二

○公正證書ニ自己ノ氏名ヲ署シ自己ノ實印ヲ押捺シタリトスルモ代理權ナキ者カ擅ニ代理人ト記入シ其資格ヲ詐リ署名捺印シタル以上ハ公正證書偽造罪ヲ構成ス

三六

一九七

○公正證書ニ於ケル關係人ノ署名ハ該證書成立ノ要件ナリトス從テ情ヲ知ラサル甲ヲ欺キ乙ノ代人タルカ如ク其資格ヲ冒シテ公正證書ニ署名捺印セシメタル丙ノ所爲ハ甲ノ手ヲ借リ公正證書ノ一部ヲ偽造シタルモノニシテ公文書偽造罪ヲ構成ス

三六

八五九

○刑法第二百四條第一項ニ所謂官吏ノ公證シタル文書トハ官吏又ハ公吏カ其職務ヲ以テ利害關係人ノ爲メ或事實ノ存在ヲ證明スルヲ以テ唯一ノ目的ト爲ス文書ヲ云フ

三六

二七五二

○金員貸借ノ公正證書ト其委任狀トハ文書トシテノ性質效用ヲ異ニスルヲ以テ縱令偽造委任狀ノ形式上ノ效力ヲ利用シテ公正證書ヲ偽造行使シタル場合ト雖モ尙ホ各別ノ犯罪ヲ構成スルモノトス

三七

一八三六

○公正證書ハ公證人ト囑託者トノ協力ニ因リ成立スルモノニシテ囑託者モ亦作成者タルノ資格ヲ有ス從テ囑託者ノ資格ヲ冒稱シテ公正證書ニ署名捺印シタル所爲ハ公證文書偽造罪ヲ構成ス

三七

一一三

○公正證書ハ總テ公證人カ或事實ノ存在ヲ證明スヘキ公證文書ナリトス從テ之ヲ偽造行使シタル所爲ハ公證文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

九四

(同主旨)

公正證書ハ公證人カ人民ノ囑託ニ依リ民事ニ關スル事項ヲ公證スル爲メ作成スル文書ニシテ公證文書ナリトス從テ之ヲ偽造行使シタル所爲ハ公證文書偽造行使罪(刑法第二百四條第一項)ヲ構成ス

三七

一九七

○刑法第二百四條第一項ニ官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ云々トアルハ必スシモ完全ニ成立シタル文書ニ模擬シテ文書ヲ作成行使セル場合ノミヲ指シタルニ非ス既存ノ文書ナキモ官吏ノ公證シタル真正ノ文書ナルカ如キ形式ヲ具備スル文書ヲ偽造行使シタル場合モ亦之ニ包含スルモノトス

三七

一〇三八

(同主旨)

公證文書偽造罪(刑法第二百四條)ハ公證文書ヲ作成スル權限ナキ者カ其形式ニ於テ相當官吏ノ公證ヲ經タル文書ヲ作成スルニ依リ成立スルモノニシテ本罪ノ構成ニハ他ニ真正ナル公證文書在リテ犯人カ其全部又ハ一部ヲ偽造シタル事實アルコトヲ要セス

○文書偽造罪ヲ構成スルニハ偽造セラレタル文書カ形式的有效ナルヲ以テ足レリトシ實體的ニ有效ナルコトヲ要セス

(同左旨)

公正證書ノ偽造罪ハ眞實ノ公正證書ト誤認セラルヘキ表面上ノ形式ヲ用非證書ヲ作成スルニ因リテ成立ス從テ證書ノ要件ニ實質上ノ缺點アルカ爲メ法律上公正ノ效ヲ有セサルトキト雖モ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ナシ

同主旨判例  
三四年九卷  
七頁

○公正證書ヲ完成スルニハ法律上當事者及ヒ立會人等ノ署名ヲ必要トスルカ故ニ私人ノ署名ト雖モ該證書ノ一要部ヲ成スモノトス從テ其署名ノ部分ヲ偽造スルニ於テハ公正證書ノ偽造ヲ以テ論スヘキハ當然ナリ

○公正證書ハ公證人ナル公吏カ當事者ニ於テ證書所載ノ法律行爲ノ意思表示ヲ爲シタル事實ノ存在ヲ證明スル爲メ特ニ作成シ法律上特別ノ效力ヲ付與シタルモノナレハ通常公吏ノ作成スル文書ト同視スヘキモノニ非ス從テ該證書ヲ偽造行使シタル所爲ニハ明治二十三年法律第百號刑法第二百四條第一項ヲ適用スヘキモノトス

○他人ノ代理資格ヲ冒シ公正證書ニ署名捺印シタル以上ハ縱令公證人ノ命令ニ從ヒ其署名捺印ヲ爲シタルモノトスルモ公正證書偽造ノ罪責ヲ免ル、コトヲ得ス

○文書變造行使罪ハ既存ノ文書ニ増減變換ヲ加ヘ之カ提示ヲ受ケタル者ヲシテ錯誤ニ陥ラシメ依テ以テ自己又ハ他人ノ利益ヲ得ントスル行爲ナリトス

○華族世襲財産タル公債證書ノ押印記入ヲ洗除シ普通ノ公債證書ノ如クナラシメ人ヲ錯誤ニ陥レ之ヲ擔保トシテ金圓ヲ貸付セシメタル所爲ハ記名公債證書變造行使罪ヲ構成ス

○町村長カ證明文ヲ記載シタル改名許可申請書ハ所謂公吏ノ公證シタル文書ニ該當ス

○被告人カ公證人ニ對シテ他人ノ代理人タル資格ヲ詐リ又ハ情ヲ知ラサル他人ニ之ヲ詐ラシメ公正證書ノ作成ヲ囑託シ其證書ノ作成セラレタルコトヲ認ムヘキ事跡アルニ於テハ縱令該證書ノ署名部分ニ代理人タル肩書ヲ存セサルモ公正證書偽造罪ハ完全ニ成立スルモノトス

○供託金ニ對スル金庫ノ受領證ハ金庫カ供託者ニ對シ自ラ保管ノ義務ヲ負フコトヲ表明スルモノニシテ供託者ノ爲メ第三者ニ對シ或事實ヲ證明スルモノニ非サレハ刑法第二百四條ノ所謂官吏ノ公證シタル文書ニ

三七	二二九
三七	二二六
三七	二二四
三七	二二〇
三七	二〇一

三七	二〇八
三七	七五
三七	二〇八
三七	二八六
三七	二〇八
三七	二〇八

該當セス

第二百五條

官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

○三等郵便局ノ通信事務員ハ明治二十九年十月二日遞信省公達郵便及電信局備採用規則ノ規定ニ從ヒ三等郵便局長ニ於テ之ヲ任命シ監督官ノ認可ヲ經タル上官吏ノ管掌スヘキ通信事務ヲ取扱フモノトス  
○掃除監視吏員ハ汚物掃除法ノ規定ニ依リ汚物掃除實施ノ爲メ市ニ定置スル純然タル公吏ナリトス從テ掃除監視吏員タル掃除監督モ亦公吏ノ資格ヲ有ス

○戶籍吏カ豫メ虚偽ノ身分登記ヲ爲サントスル他人ノ計畫ニ賛同シ死者ノ名義ヲ以テ爲シタル届出ヲ死亡後ニ受領シ且其届出ハ死者ノ生前ニ受領セルモノトシ日附ヲ溯ラシメテ之カ登記ヲ爲シタル所爲ハ刑法第百二十五條ノ犯罪ヲ構成ス

○刑法第二百五條ニ所謂官吏ノ管掌ニ係ル文書トハ官吏カ其職務上作成ノ權限ヲ有スル文書ハ勿論職務上保管ノ責ニ任スル文書ヲモ指スモノニシテ其文書ハ官吏ノ職務ニ關係アルコトヲ必要トスルモ官吏ノ職務ノ其作成ニ關スルト其保管ニ係ルトハ問フ所ニ非ス

同主官判例  
二九年六卷  
一九頁

(同主官)

刑法第二百五條ニ所謂官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ云々シタル者トハ單ニ文書ヲ作成スヘキ職權アル官吏ノミニ止マラス苟クモ文書ヲ取扱フヘキ職責アル官吏ハ悉ク之ヲ包含スルモノトス

刑法第二百五條ニ所謂管掌トハ管理主掌ノ義ナレハ管ニ文書作成ノ職責アル者ノミナラス其保管ノ職責アル者モ亦之ニ包含セルモノトス

刑法第二百五條ニ所謂管掌ニハ官吏カ官ノ文書ヲ作成スルノ職務權限ヲ有スル場合ハ勿論官ノ文書ヲ保管シ其滅失毀損ヲ豫防スルノ職責アル場合ヲモ包含ス

○村役場ノ書記カ其管掌ニ係ル登記濟通知書ヲ増減變換シテ之ヲ行使シタル場合ニハ明治二十三年法律第百號及ヒ刑法第二百五條ヲ適用スヘキモノトス

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

○町村學校組合管理者ノ代理人カ其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ之ニ自己ノ監守ニ係ル職印ヲ盜捺シテ行使シタル所爲ハ公文書偽造行使公印盜用罪ヲ構成ス

(同主官)

戶籍吏カ戶籍原本ナキニ戶籍ノ認證原本ヲ偽造シ戶籍吏名下ニハ自己ノ監守スル職印ヲ盜捺シ移民ノ旅券下付願書ト共ニ郡役所ニ進達シ郡役所ヲシテ縣廳ニ轉達セシメ以テ縣廳ヲシテ

三八

二六三

三五

七五〇

三六

一四九六

三七

一三三七

三八

三九三

三六

一六八六

三七

二〇三五

三六

一五七

三六

二八三

三五

二二三

偽造ノ戶籍謄本ニ基キ不當ニ旅券ヲ下付セシメタル事實ハ實害ヲ生シ得ヘキ行爲ナリトス從テ右戶籍吏ノ所爲ハ公文書偽造行使公印盜用罪ヲ構成ス

○執達吏カ虚偽ノ差押調書ヲ作成シ其官印ヲ押捺シテ之ヲ自己ノ役場ニ備付ケタル所爲ハ官印盜用官文書偽造行使罪ヲ構成ス

○公文書偽造行使公印盜用ノ罪ヲ構成スルニハ犯人カ偽造シ又ハ公印ヲ盜用シタル文書ハ單ニ公文書トシテ行使シ得ヘキモノナルヲ以テ足レリトシ必スシモ法律上公文書タルノ形式ヲ完備スルコトヲ要セス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重懲罰ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス

○偽造ノ手段方法ハ犯罪成立ニ影響ナキヲ以テ之ヲ判文ニ明示セサルモ不法ニ非ス

○私印偽造行使罪ノ成立スルニハ偽造ニ係ル印章カ人ヲシテ眞印ナルコトヲ信セシムヘキ程度ニ偽造セラレタルヲ以テ足ル而シテ其偽印ノ眞印ニ酷似スルト否トハ之ヲ問フノ要ナシ

○印影ニハ必スシモ氏名ヲ表彰スルノ要ナシ從テ「相濟」ト刻シタル印類

ト雖モ押捺者ノ承諾ヲ證スル爲メ其名下ニ押捺スルニ於テハ調印ニ外ナラス

○七名ノ押印アル一通ノ白紙委任狀ニ虚偽ノ事項ヲ記入シ之ヲ行使シタルハ集合シタル七箇ノ印影ニ對スル一所爲ナリトス從テ其印ニシテ同一制裁ニ屬スルモノナルトキハ一箇ノ私印盜用罪ヲ構成スルモノトス

○印類ナル物體ハ相續ニ依リ相續人ノ所有トナルコトヲ得ヘキモ被相續人ノ實印トシテ之ヲ押捺使用スルノ權利ヲ取得スルモノニ非ス從テ被相續人カ生前ニ押捺シタルモノトシテ之ヲ押捺使用スルニ於テハ盜用罪ヲ構成ス

○他人ノ死亡後最早其人ノ印章トシテ使用スヘカラサル時期ニ於テ其印章ヲ盜捺スルモ之ヲ其人カ生前自己ノ印章トシテ使用セシ當時押捺セルモノトシテ行使スル以上ハ私印盜用罪ヲ構成ス而シテ其盜捺ノ當時ニ於ケル印類ノ所有者若クハ占有者ノ何人タルヤハ之ヲ問フノ要ナシ  
○人ノ死亡後ニ實印ヲ盜捺シタルトキト雖モ其生存中ノ日附ニ係ル文書ニ之ヲ盜用シタル場合ニ於テハ文書偽造罪ト共ニ印影盜用罪ヲ構成ス  
○私印偽造盜用ノ罪ハ人ノ使用スル印章ヲ偽造行使シ若クハ盜用スルニ因テ成立ス而シテ其印章ノ使用權ヲ有スル人ノ一個人タルト法人タル

三五	二〇	六
三七	一八三	
三七	一九六〇	
三五	四	九
三五	六	二八

三五	六	一六八
三五	四	七三
三五	二	一六九
三六		三八三
三六		四八五

ト將タ一個人ノ集合體タルトハ同罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ

○人ヲ教唆シテ他人ノ印影ヲ盜捺セシメタルノミノ所爲ハ何等ノ犯罪ヲ構成セス而シテ教唆者ニ於テ之ヲ行使シタルトキハ教唆者ハ私印盜用私書偽造行使ノ正犯トシテ處罰スヘキモノトス從テ教唆罪ニ關スル法條ヲ適用スヘキモノニ非ス

○刑法第二百八條ニ所謂「盜用」ナル語ハ印章ノ不正使用ノ意義ニ解スヘキモノトス從テ他人ノ印章ノ影蹟ヲ使用シ印章使用者ノ檢閲又ハ認證ヲ經タル事實ヲ證明スルノ用ニ供シタル所爲ハ私印盜用罪ヲ構成ス

○株式會社ノ取締役カ會社ノ業務執行ニ出テスシテ自己又ハ他人ノ爲メ其資格ヲ濫用シ手形ノ振出又ハ裏書ヲ爲シ擅ニ會社印及ヒ役印ヲ押捺シタルトキハ其所爲ノ犯罪ヲ構成スヘキハ當然ナリ

○官吏公吏ノ用ユル印類カ私印ナルヤ將タ職印ナルヤハ其印類ノ性質如何ニ依リテ定ムヘキモノニシテ之ヲ押捺セル文書ノ性質ニ據リテ定ムヘキモノニ非ス

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若シハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

三六 四九四

三六 五四二

三六 八九四

三六 三六六

三六 二〇八

○約束手形ヲ偽造シ執達吏ヲシテ手形面ノ債務者ニ呈示セシメタル所爲

ハ約束手形偽造行使罪ヲ構成ス

○約束手形ニ虛無ノ人名ヲ署シ之ヲ行使シタル所爲ハ記録者ノ資格ヲ詐リタル事實ナシトス從テ約束手形偽造行使罪ヲ構成スルモノニ非ス

○自己ヲ振出人トシ甲ヲ受取人ト爲シタル約束手形ヲ作成シ且甲ヨリ乙ヘ讓渡ヲ爲ス旨甲ノ名義ヲ以テ擅ニ裏書ヲ爲シタル所爲ハ約束手形ノ偽造若クハ變造ニ非スシテ詐欺ノ裏書ナリトス

○私文書ハ之ヲ偽造變造スルモ其效用ヲ致サシムル爲メ利害關係人ノ閱覽ニ供シ利害關係人ヲシテ其内容ヲ知ルコトヲ得セシムヘキ状態ニ置クニ非サレハ文書ノ信用ヲ害スヘキ危險ハ未タ生セサルモノトス從テ甲ニ對シ行使スルノ目的ヲ以テ偽造手形ヲ乙ニ交付シタルノミノ所爲ハ行使ノ事實アリタルモノト云フヲ得ス

○約束手形ノ振出人甲者カ受取人乙者ニ之ヲ交付スルニ先チ丙者ヲシテ第二順位ノ裏書欄内ニ裏書ヲ爲サシメ然ル後乙者ノ裏書ヲ求メタルニ之ヲ拒絕セラレタルニ依リ其手形ヲ利用スル爲メ受取人ヲ丁者ニ書換ヘ同人ヲシテ第一順位ノ裏書欄内ニ裏書文ヲ記入セシメ以テ該手形ヲ行使シタル所爲ハ刑法第二百九條第二項ノ犯罪ヲ構成ス

三五 二五

三五 一

三六 五六四

三六 一五五二

三七 三四

○第一約束手形ノ満期日ニ於テ第二ノ約束手形ヲ發行シ二箇ノ手形存在スル以上ハ縱令偽造ニ係ル裏書ノ氏名捺印二者同一ナルモ二箇ノ裏書偽造行使罪ヲ構成ス

○裏書偽造行使罪ハ手形ニ詐偽ノ裏書ヲ爲シ之ヲ行使スルニ因リテ成立ス從テ其手形カ實質上有效ナルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ關係ヲ有セス

○銀行取締役カ銀行ノ業務執行ニ出テスシテ擅ニ自己又ハ他人ノ爲メ其名義ヲ冒用シ手形ノ振出又ハ裏書ヲ爲シ若クハ借用證書ヲ作成シ恣ニ銀行印ヲ押捺シテ之ヲ行使セル所爲ハ犯罪ヲ構成スルモノトス

(同主旨)

株式会社ノ取締役カ其名義ヲ濫用シテ約束手形ヲ振出シ又ハ其裏書ヲ爲シタルトキハ其行爲ハ何等ノ資格ヲ有セサル者カ取締役ノ資格權限ヲ冒シテ之ヲ爲シタルト同一ニシテ手形及ヒ裏書偽造行使罪ヲ構成スルモノトス  
株式会社ノ取締役カ會社ノ業務執行ニ出テスシテ自己又ハ他人ノ爲メ其資格ヲ濫用シ手形ノ振出又ハ裏書ヲ爲シ擅ニ會社印及ヒ役印ヲ押捺シタルトキハ其所爲ノ犯罪ヲ構成スヘキハ當然ナリ

○竊取ニ係ル手形ト雖モ裏書ヲ偽造シテ之ヲ行使スルトキハ手形ノ裏書偽造罪ヲ以テ論スヘキモノトス

三七	三五〇
三六	三二六
三六	九四五
三六	二七七
三六	三二六
三六	九四五

○自由意思ヲ以テ小切手ヲ變造シ之ヲ流通セシムルニ於テハ縱令受取人カ其證券ヲ取得シタル行爲ノ不法ニシテ法律上保護セラルヘキ正當ノ原因ヲ欠ク場合ト雖モ手形變造行使ノ罪責ヲ免レサルモノトス

○手形ノ表面ニ金額ヲ記載スルハ裏書行爲ニ非スシテ振出行爲ナリトス從テ其記載部分ヲ變造シタル所爲ハ手形ノ變造ニ間擬スヘキモノナリ  
○手形ノ振出行爲ヲ完了シテ之ヲ流通ニ付シタル後擅ニ其表面ノ金額ヲ變換スルハ振出人ノ資格ヲ詐リ振出行爲ニ屬スル部分ヲ變造シタルモノニ外ナラス

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○米一俵ノ借用證書ヲ調製スルニ當リ米額ノ箇所及ヒ保證人ノ箇所ニ貼紙ヲ爲シ置キ後ニ至リ其貼紙ヲ剝取リテ米額ヲ増加シ保證人ノ箇所ニ借用主ト記入シタル連借證書ヲ作り之ヲ行使シタル所爲ハ私書變造行使ニ非スシテ私書偽造行使罪ナリ  
○自己ノ犯罪辯護ノ爲メナリト雖モ私書ヲ偽造變造シテ行使シタル以上

三六	二九九
三六	二九四
三六	二九四
三五	二二二
三五	二二二



ハ私書偽造變造行使罪ヲ構成ス

○共謀ノ上承諾ヲ得サル他人ノ訴訟代理委任狀ヲ恣ニ偽造シ之ヲ行使シタル事實ハ被告ニ惡意アリタルコト自ラ明カナルヲ以テ特ニ其惡意アリタルコトヲ判示スルノ要ナシ

反對判例三  
二二三年三卷一  
二四頁

○文書偽造行使罪ヲ構成スルニハ其文書ヲ偽造行使シタルニ因リ他人ニ害ヲ生シ又ハ生シ得ヘキコトヲ要ス從テ他人名義ノ文書ヲ偽造行使スルモ其者ノ爲メ必ス利益ヲ生シ損害ヲ生スヘカラサルトキハ犯罪ヲ構成セス

○苟モ權利關係ヲ證スヘキ文書ナル以上ハ其形體ノ何タルヲ問ハス刑法第二百十條第一項ニ所謂證書ナリトス

○新ニ證書ヲ作成シ又ハ既存ノ證書ヲ利用シ其記載ヲ増減變更シテ新ナル權利關係ヲ證スヘキ證書ヲ作成シタル所爲ハ證書偽造ナリ而シテ既存ノ證書ノ記載ヲ増減變更スルモ單ニ其效力ヲ變更スルニ過キサレ所爲ハ證書變造ナリ

○法律上證書ノ提出ヲ要セサル場合ナリトスルモ之ヲ證據トシテ裁判所ニ提出シタル事實アル以上ハ其證書ハ行使セラレタルモノトス從テ該證書ニシテ偽造ナルトキハ偽造文書行使罪ヲ構成ス

三五	四	七
三五	四	一七三
三五	五	六四
三五	六	四二
三五	九	一五六

○刑法ニ所謂「偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者」トアル中ニハ文書ヲ偽造又ハ變造シテ自ラ之ヲ行使シタル者ハ勿論他人ノ偽造又ハ變造

シタル文書ナルコトヲ知リテ之ヲ行使シタル者ヲモ包含ス

○金員ヲ騙取スルノ目的ヲ以テ同時ニ偽造株券五枚ヲ交付シ之ヲ行使シタル所爲ハ一罪ニシテ數罪ニ非ス

○案内狀及ヒ添書ナルモノカ金員ヲ受取ルコトヲ得ルノ權利ヲ生スル書面ナルトキハ其文書ハ權利義務ニ關スル證書ナリトス

同去旨判例  
三四年二卷  
二二頁

○登記申請書ハ不動産上ノ權利移轉ノ登記ヲ受クルノ效力ヲ生スヘキ書類ナリトス從テ該申請書ハ刑法第二百十條第一項ニ所謂權利義務ニ關スル證書ナリトス

同去旨判例  
二九年六卷  
三〇頁

○縱令金錢ノ收支及ヒ帳簿書類ノ作成保管ノ權限アル會社ノ取締役ト雖モ苟モ其帳簿及ヒ傳票ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ之ヲ行使シタルトキハ何等資格ナキ者カ其資格權限ヲ冒シテ偽造シタル場合ト同シク文書偽造行使罪ヲ構成ス

○苟モ他人ノ姓名ヲ署シ擅ニ他人名義ノ文書ヲ作成スルニ於テハ文書偽造罪ヲ構成ス從テ文書ニ署シタル姓名カ作成者固有ノ姓名ニ非スシテ他人ノ姓名ナルトキハ作成者カ其人ノ姓名ヲ冒シ自ラ其人ナリト稱シ

三五	二	六
三五	二	六一
三六		三六七
三六		三六九
三六		六五二

同主旨判例  
三二八頁  
一九頁

來リタルノ事實アリトスルモ其姓名ヲ文書ニ署シタル所爲ヲ以テ氏名詐稱ノ結果ナリトシ之ヲ不問ニ付スルコトヲ得サルモノトス

三六

六二

○自己ノ氏名ヲ署シテ文書ヲ作成シタル場合ト雖モ他人ノ代表者ナリト僭稱シ其名義ヲ以テ文書ヲ作成スルニ於テハ文書偽造罪ノ成立ニ必要ナル作成者ノ資格ヲ詐リテ文書ヲ作成シタル所爲アリタルモノトス

三六

三三

○親權ヲ行フ母カ未成年ノ子ニ代リテ其不動産ヲ賣却スルニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス而シテ親族會員カ右賣却ニ同意ヲ與フルト否トハ其權利ナルヲ以テ親族會員カ右賣却ヲ議決シタル旨ノ會議録ヲ偽造シタル所爲ハ刑法第二百十條第一項ニ所謂權利ニ關スル證書ヲ偽造シタルモノナリトス

三六

二七

○白紙委任狀ナルモノハ委任事項ノ記載ナキモ一定ノ範圍ニ於テ權利ヲ付與スルノ意思ヲ表示スルモノナル以上ハ其實質ニ於テハ權利付與ノ文書ナリトス從テ刑法ニ所謂權利義務ニ關スル證書ニ外ナラス

三六

三五

○苟モ文書ヲ偽造シテ之ヲ行使スルニ於テハ其文書カ絶對ニ實害ヲ生セシメ能ハサルモノニ非サルヨリハ文書偽造罪ヲ構成ス而シテ其程度ヲ決定スルハ一ニ事實裁判所ノ職權ニ屬ス

三六

四五

○苟モ權利ナクシテ他人名義ノ文書ヲ作成行使スルトキハ私文書偽造行使罪ハ完全ニ成立シ其文書ノ趣旨カ名義人ノ權利義務ニ關スルトキハ權利義務ニ關スル證書ヲ偽造行使シタルモノニ該當ス而シテ其偽造文書カ實體上名義人ノ權利義務ニ影響ヲ及ホスヤ否ヤハ犯罪ノ成立ニ何等ノ關係ナシトス

○他人ノ代理資格ヲ僞リテ文書ヲ作成シタル以上ハ其代理者ノ氏名ニ虛無ノ名稱ヲ用キタル場合ト雖モ文書偽造罪ヲ構成ス

三六

四八

○偽造文書ノ行使トハ偽造ノ文書ヲ真正ノ文書トシテ他人ニ提示シ其人ヲシテ錯誤ニ陥ラシメントスルノ行爲ヲ云フ

三六

八〇

○訴訟代理ヲ委任スルニ當リ金員辨濟ノ證據トシテ裁判上證明ノ具ニ供セシメンカ爲メ偽造ノ文書ヲ辯護士ニ提示シタルトキハ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三六

九七

○文書偽造罪ハ偽造文書ニ署名ヲ濫用セラレタル者ノ方面ニ於テ實體上何等ノ損害ヲ生シ又ハ生スルノ恐ナキ場合ト雖モ其證書ノ提示ヲ受ケ之ヲ信シテ取引ヲ爲シタル第三者ノ方面ニ於テ損害ヲ生シ又ハ之ヲ生スルノ恐アルトキハ完全ニ成立スヘキモノニシテ其損害ノ個人ノ私益ニ關スルト國家ノ公益ニ關スルトハ之ヲ問フコトヲ要セス

三六

九七

○抵當附債務證書ヲ作成スルニ當リ保證人トシテ他人ノ氏名ヲ僞署シ該

三七

九〇

證書ヲ以テ登記原因ノ證明ニ供シタル所爲ハ文書偽造行使罪ヲ構成ス而シテ其偽造ノ部分カ登記手續上必要ナラサルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ホサス

三七

三八三

○議員候補者推薦狀ノ偽造ハ之ニ記載セラレタル者ノ公權行使ニ關スル社會ノ信用ヲ傷害シ且一般選舉權者ヲシテ虛構ノ推薦ヲ眞實ナリト誤信セシメ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ホスコトアルヘキヲ以テ實害ナシト云フヲ得ス

三七

五五一

○委任狀ト登記申請書トハ各其性質ヲ異ニシ登記ニ關シテハ各別ニ效力ヲ有スルヲ以テ苟モ此二箇ノ文書ヲ偽造スルニ於テハ其行使ハ同時ナルモノニ非ズ構成スヘキモノトス

三七

五八〇

○正當ニ成立シタル文書ト雖モ之ヲ記錄者ノ目的以外ナル他ノ文書ニ添綴シテ形體上共ニ一體ノ文書ト爲シ之ヲ行使シタルトキハ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

九〇二

○偽造證書ヲ眞正ナル證書トシテ自己ノ訴訟代理人ニ交付シタル所爲ハ其代理人トノ關係ニ於テ偽造證書ヲ事實證明ノ用ニ供シタルモノニ外ナラサレハ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

一〇〇五

○後見人並ニ後見監督人ヲ選定シタル親族會決議書ノ謄本及ヒ後見人カ

被後見人ノ不動産ヲ賣却スルコトニ同意スル旨ノ親族會決議書ハ孰レモ刑法第二百十條第一項ノ證書ニ該當ス

三七

二六一

○刑法第二百十條ニ所謂權利義務ニ關スル證書中ニハ苟クモ權利義務ノ發生消滅變更ノ原因タル事實關係ヲ證明スルニ適切ナル文書ハ其何タルヲ論セス總テ之ヲ包含セルモノトス

三七

一三三七

○養子縁組ハ一面ニ於テ身分取得ノ原因タルト同時ニ他ノ一面ニ在テハ當事者間ニ於テ包括的ニ數多ノ權利義務ヲ發生セシムル一大原因ヲ成スモノナレハ該縁組ヲ爲シタル旨ヲ記載セル届書ハ權利義務ニ關スル證書ナリトス

三七

一三三七

○文書偽造罪ハ苟クモ實害ノ要件ヲ具備スルニ於テハ完全ニ成立スルモノニシテ犯人カ不正ニ自己ヲ利シ又ハ他人ヲ害セントスル目的ニ出テタルト正當ニ他人ヲ利シ又ハ自己ノ權利ヲ實行セントスルノ精神ニ基キタルトハ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ

三七

一三七

○他人ノ名義ヲ濫用シテ身分ニ關スル届書又ハ申請書ヲ作成シ之ヲ戶籍吏ニ提出シタル所爲ハ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

一五四

○官吏ノ出張旅費内譯明細表ハ旅費請求ノ爲メ出張日數及ヒ金額等ヲ詳細ニ記セル説明書ニ外ナラサレハ其職務上作成シタルモノニ非スシテ自己

ノ權利ニ關スル私文書タルニ過キス從テ虛偽ノ内譯明細表ヲ作成スル  
モ官文書偽造罪ヲ構成セス

三七

一九九四

○辯護士ハ裁判所ニ提出スル證書ノ眞否ニ付キ常ニ利害ノ關係ヲ有スル  
モノトス從テ犯人カ偽造證書ヲ眞正ナル證書トシテ辯護士ニ交付スル  
トキハ直ニ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

二二九九

○實印紛失届及ヒ改印届ハ孰レモ其紛失又ハ改印ノ事實ヲ申告スル書面  
タルニ過キスシテ權利又ハ義務ニ關スル事實ヲ證明スヘキモノニ非サ  
レハ刑法第二百十條第二項ニ所謂私書ニ外ナラス

三七

二二四〇

○株主總會ニ於テ取締役ヲ選任シタルトキハ本人ノ承諾アルト否トヲ問  
ハス會社ハ之カ變更登記ヲ爲スノ義務アリト雖モ被選者カ承諾セサル  
ニ拘ハラズ擅ニ其就任承諾書及ヒ登記變更ニ關スル委任狀ヲ作成シ登  
記ヲ申請シタル所爲ハ刑法第二百十條第一項ニ所謂他人ノ權利義務ニ  
關スル證書ヲ偽造シタルモノニ該當ス

三七

二二八七

○親族會員カ署名捺印ノミヲ爲シタル賣買證書及ヒ登記申請書用紙ニ擅  
ニ其會員ノ意思ニ反スル記入ヲ爲シ新ナル文書ヲ作成シテ行使シタル  
所爲ハ刑法第二百十條第一項ノ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三七

二二三三

○文書中正當ニ抹消セラレタル部分ハ文書ニ非スト云フヲ得ス而シテ其

抹消ニ係ル部分ノ記載カ尙ホ證據力ヲ有スル場合ニ於テ自己ニ不利益  
ナル抹消ニ係ラサル部分ヲ剝取り自己ニ利益ナル抹消ニ係ル部分ヲ存  
在セシメ以テ不實ノ事實ヲ證明スルノ具ト爲シタル所爲ハ文書變造行  
使罪ヲ構成ス

三七

二二七

○貸借證書ニ取扱人トシテ署名スルモ貸借ヨリ生スル權利義務ニ何等ノ  
關係ナケレハ之ヲ増減變換シテ保證人ノ意義ヲ有セシムルニ於テハ刑  
法第二百十條ノ權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シタルモノニ該當ス

三六

二〇四

○特定ノ人ノ文書ヲ偽造スル意思ヲ以テ故ラニ其本名ヲ用ユルコトヲ避  
ケ類似ノ氏名ヲ記載シタル所爲ハ文書偽造行使罪ヲ構成ス

三六

七三三

○取締役カ其資格ヲ以テ記載スルノ權限ナキ事項ヲ會社ノ帳簿ニ記載シ  
又ハ作成スルノ權限ナキ文書ヲ作成シ自己ノ權限内ニ於テ記載若クハ  
作成シタルモノ、如ク裝ヒ以テ之ヲ行使セル所爲ハ文書偽造罪ヲ構成  
スルモノトス

三六

九四五

(同註釋)

會社ノ取締役カ其資格ヲ以テ記載スルノ權限ナキ事項ヲ會社ノ帳簿ニ記載シ恰モ自己ノ權限  
内ニ於テ記載シタルモノ、如ク裝ヒ之ヲ行使シタル事實ハ文書作製者ノ資格ヲ詐リタルモノ  
トス從テ其所爲ハ私書偽造行使罪ヲ構成ス

三六

一〇九五

○犯人カ偽造文書ニ依リ債務者ニ對スル支拂命令ヲ得ント欲シ其申請書ヲ作成セシムル爲メ該文書ヲ代書人ニ交付スルモ未タ利害關係人ニ提示シ又ハ事實證明ノ用ニ供シタルモノニ非サレハ刑法ニ所謂偽造文書ノ行使ニ該當セス

○假住所届ハ民事訴訟法上當事者ノ訴訟行爲ニ關スル權利ニ影響ヲ及ホスヘキモノナレハ刑法第二百十條第一項ノ所謂權利義務ニ關スル書類ナリトス

○他人カ竊取シタル仕切書ヲ材料ト爲シ私書ヲ偽造變造シ其偽造若クハ變造文書ヲ行使シテ詐欺取財ヲ爲シタルトキハ緣由ノ如何ヲ問ハス竊盜罪ト獨立シテ別ニ犯罪ヲ構成スヘキモノナレハ之ヲ以テ竊盜罪ノ結果若クハ事後ノ從犯ナリト云フヲ得ス

○既存ノ證書ノ記載ヲ増減變更シテ其固有ノ效力ヲ滅却シ新ナル效力ヲ生スル證書ヲ作成シタル所爲ハ證書ノ偽造ニシテ變造ニ非ス

○偽造變造ノ文書ヲ公證人ニ提出シ確定日附ヲ受クルニ於テハ刑法ニ所謂行使ノ事實アルモノトス

○文書ノ性質上獨立シテ權利關係ヲ證明シ得サルモノハ權利義務ニ關スル證書ニ非ス從テ斯ノ如キ文書ヲ偽造行使シタル所爲ハ刑法第二百十

三	三	三	三	三
二〇二	二〇三	二〇四	二〇五	二〇六

條第二項ニ依リテ處斷スヘキモノトス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

○刑法第二百十四條ハ苟モ詐欺ノ所爲ヲ以テ鑑札ヲ受ケタル者ヲ處罰スルモノトス從テ其鑑札名義者ノ何人タルヤハ犯罪ノ成立ニ影響ナシ

○刑法第二百十四條ニ所謂免狀トハ之ヲ受クルト同時ニ或特殊ノ行爲ヲ實行シ得ヘキ權利ヲ享有スルモノヲ云フ從テ書記試驗及第證書ノ如キ試驗ニ及第シタルコトヲ證スルニ過キササルモノハ同條ニ所謂免狀ニ非ス

○刑法第二百十四條ニ所謂免狀トハ之ヲ有スル者ヲシテ特殊ノ行爲ヲ行フコトヲ得セシムヘキ效力アルモノヲ云フ從テ小學校準教員免許狀ノ如キハ之ニ包含セス

第二百五條 公務ヲ免カレ可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

三七	三五	三五	三七
二〇八	二〇九	二一〇	二一一

○刑法第二百五條第一項ニハ醫師ノ氏名ヲ用ヒテ疾病證書ヲ偽造行使シタル者ニ對スル刑罰ヲ定メ同條第二項ニハ人ノ囑託ヲ受ケ詐僞ノ疾病證書ヲ作りタル醫師ニ對スル刑罰ヲ定メアルモ其疾病證書ノ作成ヲ醫師ニ囑託シタル者ニ對スル刑罰ノ定アルコトナシ

○刑法第二百五條ノ公務トハ公共ノ利益ノ爲メニ法令ニ依リ命セラレタル義務ヲ指シタルモノトス而シテ娼妓カ規則ニ因リ健康診斷所ニ出頭シテ定期ノ健康診斷ヲ受クヘキコトヲ命セラレタルハ公衆衛生上ノ必要ニ基キ法令ニ依リテ定メラレタル義務ナリトス從テ同條ニ所謂公務ニ該當ス

第六節 偽證ノ罪

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ照シ處斷ス

- 一 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 二 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 三 違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス

○或事實ヲ見聞セサル證人カ現ニ之ヲ見聞シタリト稱シ虛僞ノ陳述ヲ爲

シタル場合ニ於テハ偽證罪ハ完全ニ成立ス而シテ證人カ現ニ見聞シタリト僞リタル事實カ偶 實際ノ事實ニ適合スルモ偽證罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ボサス

○證人カ數回訊問ヲ受ケタル場合ト雖モ一回毎ニ調書ノ讀聞ヲ受ケ其供述ヲ變更増減セサル意思ヲ表示シタルトキハ證人ノ供述ハ一回毎ニ確定シ其確定ト共ニ偽證罪ハ成立ス從テ證人カ前回ニ爲シタル供述ヲ取消スモ之カ爲メ既ニ成立シタル犯罪ヲ消滅セシムルモノニ非ス

○證人ノ直接ノ目的ハ被告人ヲ曲庇若クハ陷害スルニ非スシテ自己ノ惡事ヲ隱蔽スル爲メナリトスルモ現實被告人ヲ曲庇若クハ陷害スルコトヲ知リ故ラニ不實ノ陳述ヲ爲シタルトキハ偽證罪ヲ構成ス

○豫審廷ニ於テ爲シタル偽證ニ付テハ刑法第二百十八條第一號第二號ニ於ケル重罪輕罪ノ區別ハ檢事ノ起訴ニ依リ之ヲ爲スモノトス

○凡ソ行爲及ヒ其結果ノ單一ナル場合ニ在テハ其制裁モ亦單一箇ヲ以テスヘキモノトス從テ證人カ一箇ノ供述ヲ以テ偽證ヲ爲シ其結果偶、重罪輕罪ヲ曲庇シタルトキト雖モ其所爲ハ一箇ニ過キササルヲ以テ一罪トシテ處斷スヘク二罪トシテ處斷スヘキモノニ非ス

○二人以上ヲ曲庇陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタル場合ニ在テハ其行爲ハ一

反對判例三  
二年六卷九  
一頁

三五	三五	三五	三五	三五
九	二〇	二	二	二
七五	四	六六	六五	六五

三五	三五	三五	三五	三五
九	二〇	二	二	二
七五	四	六六	六五	六五

箇ノ供述ニ基クトキト雖モ一罪ヲ構成スルニ止マラスシテ數罪ヲ構成ス

三六

六六七

○證人トシテ訊問スヘキ旨ノ告知ヲ受ケタル者カ裁判所ニ向テ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ縱令其供述ハ各事項ノ訊問ニ對シ爲シタルモノニ非スシテ證人自ラ其訊問ニ先チ爲シタルモノト雖モ尙ホ偽證罪ノ責ニ任スヘキモノトス

三五

八四〇

○刑法第二百十八條第一項ニ所謂裁判所トハ裁判所構成法ニ定メタル普通裁判所ノ外刑事ノ裁判ヲ爲スヘキ裁判所ハ悉ク之ヲ包含スルモノトス

三六

一六四七

○證人カ裁判所ノ訊問ヲ受クルニ當リ不實ノ陳述ヲ爲シタル場合ニ其陳述ニシテ苟モ係争事實ニ關聯スル以上ハ偽證罪ヲ構成ス而シテ其陳述ノ趣旨カ正面ニ訊問事項ニ該當スルヤ否ヤハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ボサス

三五

一八九七

○證人カ被告人ヲ曲庇スルノ目的ヲ以テ事實ヲ掩蔽シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ偽證罪ハ完全ニ成立ス而シテ被告人カ審理ノ結果無罪ノ判決ヲ受ケタルトキト雖モ犯罪ノ構成ニ何等ノ影響ヲ及ボスコトナシ  
(同法第)

三七

二〇六

苟モ證人カ刑事事件ニ關シ宣誓ノ上被告人ヲ曲庇スル爲メ偽證ヲ爲シタル以上ハ偽證罪ハ直ニ成立ス從テ被告人カ無罪ノ言渡ヲ受ケタルト否トハ偽證罪ノ成否ニ何等ノ影響ナシトス

三六

九二

○同一事件ニ付キ同一ノ法廷ニ於テ同一ノ證人訊問ニ際シ證人カ數多ノ事項ニ涉リテ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル場合ト雖モ其陳述カ同種同性質ノモノニシテ同一ノ罪名ニ觸ル、モノナルトキハ相共ニ一箇ノ偽證罪ヲ構成ス

三七

四七一

○一ノ證言ヲ以テ一人ニ對スル重罪ト輕罪トヲ曲庇シタル場合ニ於テハ輕罪曲庇ノ罪ハ重罪曲庇ノ罪ニ包含セラレ單ニ一罪ヲ構成スルモノトス

三七

二七七

○證人トシテ裁判所ニ出頭シタル者カ宣誓ヲ爲シタル後虚偽ノ陳述ヲ爲ストキハ偽證罪ヲ構成ス而シテ訊問手續上ノ瑕瑾ノ如キハ必スシモ犯罪ノ成立ニ影響ヲ及ボスコトナシ

三七

二三五

○證人トシテ宣誓ノ上判事ノ訊問ニ對シ裁判ニ影響ヲ及ボスヘキ事項ニ付キ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル所爲ハ偽證罪ヲ構成ス而シテ證言ノ事項カ證人訊問事項中ニ明記アルト否トハ犯罪ノ成否ニ何等ノ關係ナシ

三八

二〇一

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○刑法第二百二十三條ノ偽證罪ハ裁判所ニ於テ宣誓ノ上虚偽ノ陳述ヲ爲スニ因テ成立ス而シテ其陳述セル事項カ法律上證言證據ノ效力アルト否トハ犯罪ノ成否ニ何等ノ影響ナシトス

○懲戒事件ノ證人ニシテ虚偽ノ陳述ヲ爲スモ偽證罪ヲ構成セス

○懲戒裁判ハ或一定ノ業務ニ從事スル者ヲシテ規律ヲ嚴守セシムル目的ヲ以テ其違犯者ニ制裁ヲ加ヘンカ爲メニ設ケラレタルモノトス從テ該裁判ハ之ヲ行政裁判ト同視スヘキモノニ非ス

○刑法第二百二十三條ノ行政裁判ナル用語ハ普通ノ意義ニ解スヘキモノニシテ懲戒裁判ノ如キハ之ヲ包含セサルモノトス

○刑法第二百二十三條ハ偽證ノ目的ニ付キ何等ノ制限ヲ設ケス從テ犯人カ當事者ニ對シ不正ノ利ヲ與ヘ若クハ損害ヲ加フルノ目的ヲ有シタルヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシ

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證ノ例ニ同シ

○甲カ處罰セラル、トキハ會社ノ不名譽ナルニ付キ公判廷ニ於テハ甲ハ乙ヲ毆打シタルコトナキ旨證言セヨト囑託シ丙ヲシテ偽證ヲ爲スノ決意ヲ爲サシメタル所爲ハ刑法第二百二十五條ニ所謂其他ノ方法ヲ以テ

反對判例三  
一年五卷六  
頁

偽證ヲ囑託シタルモノトス

○刑法第二百二十五條ニ所謂其他ノ方法中ニハ贈與ノ豫約ノ如キ賄賂ニ類似セル方法ハ勿論詐欺脅迫其他囑託者カ他人ヲシテ偽證ヲ爲スコトニ決意セシムルニ付キ用ユル總テノ方法ヲ包含ス而シテ囑託者ノ使用スル方法ハ必スシモ不正ノ手段ナルコトヲ要セス

(同案旨)

刑法第二百二十五條ノ其他ノ方法中ニハ贈與ノ豫約ノ如キ賄賂ニ類似セル方法ハ勿論詐欺脅迫其他囑託者カ他人ヲシテ偽證ヲ爲スコトニ決意セシムルニ付キ用ユル總テノ方法ヲ包含ス

○刑法第二百二十五條ハ同法第五百條ノ單純ナル適用ヲ示シタルモノニシテ其例外ヲ示シタルモノニ非ス

○偽證ヲ囑託シタル者ト其囑託ヲ受ケ偽證シタル者トノ關係ハ則チ教唆者ト被教唆者トノ關係ニシテ刑法ニ所謂共犯ナリトス

○自己ノ犯罪ヲ免レンカ爲メ他人ニ囑託シテ偽證ヲ爲サシメタルトキハ其辯護權ノ範圍ヲ超越シタルモノニシテ刑法第二百二十五條ノ犯罪ヲ構成ス

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

○刑法第二百二十六條ノ自首ナル文字ニハ自白ヲ包含セス

三五	三七	三六	三六	三五	三六	三五
九				二		八
七五	七九	一三八	一三八	一六四	一三二	四



第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十九條 商賣農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下

ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

○刑法第二百二十九條第一項ノ「衡」ナル者ハ衡器ト懸錘トノ二者相待テ始メテ其效用ヲ爲スヘキモノトス從テ正當ノ衡器ニ廢物ナル輕キ懸錘ヲ付シ秤量ヲ増加セシムルモノヲ所有スル者ハ同條ニ所謂定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ナリトス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ借用シタル

者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○官名並ニ職名ヲ明示シテ身分ヲ詐稱シタルニ非サルモ何々縣廳第何課ニ奉職スル役人某ト詐稱シタル所爲ハ官職詐稱罪ヲ構成ス

○自己ニ對スル處分ヲ免レントスルノ意思ヲ以テ官職ヲ詐稱シタル所爲ハ刑法第二百三十二條ノ犯罪ヲ構成ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○村助役ニ選舉セララル、ノ資格ナキ者ト雖モ現ニ助役ノ職ニ在リテ選舉事務ニ執掌スル以上ハ其管理ノ下ニ執行セラレタル選舉ニ關シテ罪ヲ犯シタル者ハ刑法ノ制裁ヲ免ル、コトヲ得ス

○刑法ハ公選ノ投票ニ關スル犯罪ニ對シ特ニ別段ノ罰則ヲ規定シタルカ故ニ其犯罪ニ付テハ文書ノ偽造若クハ變造又ハ印ノ偽造若クハ盜用ニ係ルモノアルトキト雖モ尙ホ該規定ヲ適用セサルヘカラス

○刑法第二百三十三條ノ公選投票トハ單ニ法令ヲ以テ選舉方法ヲ規定シタルモノヲ指稱スルノミナラス法令ニ據リテ設置セラレタル公共團體ノ規約ニ基ク選舉ノ投票モ亦之ニ包含セルモノトス

○刑法第二百三十三條ニ公選ノ投票ヲ偽造シトアルハ既ニ投票シタルモノヲ偽造セル場合ノミナラス未タ投セサルモノヲ偽造シテ投票シタル場合モ亦之ニ包含スルノ律意ナリトス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○舊衆議院議員選舉法ハ投票ヲ得ル目的ヲ以テ金錢等ヲ授與スルノミニテ未タ其目的ヲ遂ケサル場合ト既ニ其目的ヲ遂ケタル場合トヲ區別シタルモ新法ニ於テハ之ヲ合併シ目的ヲ遂ケタルト否トヲ問フコトナシ

三六 二五三

三五 二一四

三七 五七三

三九 二二六

三六 二二六

三六 四七六

三六 四七六

從テ衆議院議員及ヒ衆議院議員選舉法ヲ準用スヘキ其他ノ選舉ニ付テハ刑法第二百三十四條ハ新法ニシテ特別法タル同法ニ依リ自然改正セラレタルモノトス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○府縣會議員選舉ノ投票録ハ投票所ニ於ケル投票ノ顛末ヲ報告スル記録ニシテ刑法第二百三十六條ニ所謂投票ノ結局ヲ報告スルモノニ該當ス從テ該選舉ノ投票管理者カ投票録ヲ偽造シテ之ヲ選舉會場ニ送致シタル所爲ハ同條ノ犯罪ヲ構成スルモノトス

○府縣會議員選舉ノ投票立會人ハ府縣制ノ規定ニ依リ投票録ニ署名シテ投票管理者ト共ニ之ヲ選舉會場ニ送致スヘキ職責ヲ有シ其署名ハ投票録作成ノ一要件ニシテ俱ニ投票ノ顛末ヲ報告スルモノトス故ニ其刑法上ノ責任ニ於テ投票管理者ト異ナル所ナシ

○刑法第二百三十六條ニ所謂其他詐偽ノ所爲トハ法文上別ニ何等ノ制限ヲ設ケサレハ苟クモ公選ニ關シ調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スルカ爲メニ犯シタル分アル者ニシテ其調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スルカ爲メニ犯シタル詐偽ノ所爲ハ其種類ノ何タルヲ問ハス總テ之ニ包含セルモノトス

### 第五章 健康ヲ害スル罪

#### 第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス  
○刑法第二百三十七條ニ所謂阿片烟ヲ輸入スルトハ外國ヨリ來レル阿片烟ヲ我國ニ陸揚スルノ謂ナリ從テ阿片烟ヲ積載シタル船舶力單ニ我領海ニ入ルモ未タ陸揚ヲ爲サルトキハ之ヲ輸入シタルモノト云フヲ得ス

### 第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以上以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○賭場開張ノ罪ハ賭場ヲ開設シテ手数料若クハ寺錢等ノ如ク一定ノ利益ヲ得ルニ因テ完成スルモノトス從テ開張者自ラ賭博ヲ爲スニ於テハ別ニ賭博罪ヲ構成ス

○賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ云々ノ規定（刑法第二百六十條）中利ヲ圖リトハ利益ヲ取得スルノ企圖アルコトヲ要スルノミニシテ既ニ利益ヲ取得シタルコトヲ要スルノ趣旨ニ非ス

三六

四九八

三六

三三八

三六

三三八

三六

三三八

三七

一九

三五

四

一五五

三五

五

一六二

○一定ノ場所ニ他人ヲ招集シ博奕ヲ爲スノ便宜ヲ與ヘ以テ利益ヲ圖リタル所爲ハ賭場開張罪ヲ構成ス而シテ犯人カ之ヲ常業ト爲シタルヤ否ヤハ本罪ノ成立ニ何等ノ關係ナシ

第二百六十一條

財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

○賭場開張ノ罪ハ賭場ヲ開設シテ手数料若クハ寺錢等ノ如ク一定ノ利益ヲ得ルニ因テ完成スルモノトス從テ開張者自ラ賭博ヲ爲スニ於テハ別ニ賭博罪ヲ構成ス

○取引所ノ相場ノ高低ハ偶然ノ事柄ニ屬ス從テ其高低ニ因リ勝敗ヲ決スルノ方法ヲ以テ金錢ヲ賭シタルトキハ賭博罪ヲ構成ス

○骨子骨牌ノ如キハ賭博常用ノ器具ナルヲ以テ金錢ヲ賭シ之ヲ使用シテ博奕ヲ爲シタル旨ヲ判示スルニ於テハ偶然ノ事ニ依テ勝敗ヲ決シタル事實ハ自ラ明瞭ナリトス

○賭博ノ胴元タル甲ヨリ賭具配布方ノ周旋ヲ託サレタル乙カ賭金者ヨリ賭金ヲ受ケ賭具ヲ携帶シ即チ賭博ノ行爲中警察官ニ檢舉セラレタル場

三六  
一一三

三五  
四  
一五五

三五  
八  
四七

三五  
一〇  
四

合ニ於テハ縱令胴元タル甲ハ未タ賭金ヲ受取ラス且檢舉ノ際現場ニ在ラサルモ甲カ賭博ノ行爲中檢舉セラレタルモノナリトス

○チーハート稱スル賭博ノ賭金及ヒ紙札ヲ其胴元ニ送致ノ途中逮捕セラレタル事實ハ賭博ノ實行中其犯罪ノ發覺シタルモノニシテ賭博ノ現行犯ナリトス

○刑法第二百六十一條ニ所謂賭博ノ器具トハ賭事ノ爲メニ直接必要ナルモノ、ミヲ指稱シタルニ非スシテ賭博ノ用ニ供セラレタル一切ノ器具ヲ包含セルモノトス

○抽籤ノ方法ニ依ラス財物ヲ賭シテ偶然ノ利益ヲ僥倖スル行爲ハ刑法ニ所謂博奕ニ該當ス而シテ其當事者カ一席ニ集合スルト否トハ犯罪ノ成否ニ何等ノ關係ナシ

○賭博ハ財物ヲ賭スル行爲ニシテ胴元ト賭者トノ間ニ取引ノ關係ヲ有シ二者孰レモ危險ノ負擔ニ任スルモノトス之ニ反シ富籤ハ財物ヲ醜集スル行爲ニシテ其興行者ハ如何ナル場合ト雖モ危險ヲ負擔スルコトナシ

第二百六十二條

財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○賭博ハ財物ヲ賭スル行爲ニシテ胴元ト賭者トノ間ニ取引ノ關係ヲ有シ

三五  
二  
一一六

三六  
九〇二

三七  
二三五

三八  
六

三九  
一八五

二者孰レモ危險ノ負擔ニ任スルモノトス之ニ反シ富籤ハ財物ヲ醜集スル行爲ニシテ其興行者ハ如何ナル場合ト雖モ危險ヲ負擔スルコトナシ

### 第九章 官吏瀆職ノ罪

#### 第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百八十二條 裁判官檢察事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

○警部代理ノ巡查カ司法警察官ノ職務執行トシテ犯罪嫌疑者ノ陳述ヲ聽取スルニ際シ其罪狀ヲ陳述セシメンカ爲メニ之ヲ毆打負傷セシメタル所爲ハ刑法第二百八十二條ノ犯罪ヲ構成ス

○刑法第二百八十二條ニ所謂警察官吏トハ司法警察事務ニ從事スル官吏ノ總稱ニシテ管ニ司法警察官ノミナラス巡查憲兵卒ニ至ル迄該事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ悉ク之ヲ包含セルモノトス

第二百八十四條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

○明治二十三年法律第百號ニ所謂公吏トハ主トシテ地方自治團體ニ屬スル行政事務ノ執行ヲ掌ル吏員ヲ指シタルモノトス而シテ市參事會員ハ右法律ニ所謂公吏ナリトス

○法律ハ賄賂ノ所爲ヲ以テ犯罪ト爲スモノニ非スシテ唯其賄賂ヲ收受シタル所爲ヲ以テ犯罪ト爲ス從テ會社ヨリ賄賂ヲ收受シタル事實アルニ於テハ收賄罪ヲ構成ス而シテ會社カ犯罪能力ヲ有スルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ

○賄賂ノ聽許ニ止マルモノハ其聽許ニ依リ犯罪ハ成立スヘキモ賄賂ヲ收受スルニ於テハ其收受カ請託ヲ受ケタル當時タルト職務執行ノ後ナルトヲ問ハス收受ノ時ニ至リ犯罪ハ完成スルモノトス

○收賄罪ニ於ケル請託關係ハ贈賄者ノ請託ト收賄者ノ受諾トニ依テ發生スルモノニシテ其受諾ノ通知ヲ待テ後發生スルモノニ非ス

○小學校令第二十六條ハ其第一項乃至第八項ノ本官ノ職務ニ加フルニ小學校圖書審查委員ノ職務ヲ以テシタルモノトス從テ郡視學ナル本官ノ職務ニ在ルノ故ヲ以テ審查委員ノ職ヲ命セラレタル場合ニ在テハ其委員ハ本官ノ附加職ニシテ尙ホ官職ナリトス

三五	三	八九
三五	三	八九
三五	三	八九
三六		二七六

三七	三七	二八五
三七	三七	二八五
三七	三七	二八五
三七		二四九

○官吏收賄罪ハ官吏カ其職務ニ關シ内囑ノ申込ヲ受ケタル日ニ成立スルモノニ非スシテ其内囑ノ申込ニ應シタル日ニ於テ成立ス從テ申込ヲ受ケタル日ハ未タ其職ニ在ラストスルモ申込ニ應シタル日ニ於テ其職ニ在リタル時ハ同罪ヲ構成ス

三六

二七六

○官吏收賄罪ハ官吏カ一方ニ於テ人ノ請託ヲ受ケ其職務上爲スヘキ事務ノ取扱ニ關シ請託者ノ爲メニ盡力シ諸般ノ便宜ヲ與フルコトヲ約スルト同時ニ他方ニ於テ請託者ノ爲メニ將來爲スヘキ便宜ノ處置ニ對シ報酬トシテ現ニ金錢物品ノ贈與ヲ受ケ又ハ之ヲ受クヘキコトヲ許諾スルニ因リテ成立ス

三六

二六〇九

○官吏カ人ノ請託ニ基キ職務ヲ執行シタル後謝禮トシテ金錢ヲ收受シタル事實アルモ其金錢ノ授受タル全ク事後ノ事ニ屬シ事前ニ於テ何等金錢ノ授受ニ關スル豫約チカリシ場合ニ在テハ官吏收賄罪ヲ構成セス

三六

二六〇九

○府縣知事ノ職務ハ北海道ニ在テハ北海道廳長官之ヲ行フヘキハ勿論小學校令第二十六條ニ規定セル府縣視學官ハ北海道ニ在リテハ北海道廳視學官ニ相當スルヲ以テ北海道廳視學官ハ小學校圖書審查委員會ノ委員タルヘキ資格ヲ有シ北海道廳長官ハ右ノ委員會ヲ開閉スヘキ權限ヲ有ス從テ同視學官カ其委員ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シタルトキハ官吏

同主官判例  
二八年五卷  
一〇頁

收賄罪ヲ構成ス

○官吏收賄罪ノ加擔行爲タル贈賄ノ所爲ハ我刑法上之ヲ犯罪ト爲サハルカ故ニ贈賄者ハ收賄ノ教唆者又ハ從犯トシテモ何等ノ責任ヲ負フコトナシ

三七

二七四

○府縣内務部ノ課長カ課僚ヨリ財物ヲ贈與セシメ其報酬トシテ不正行爲ヲ不問ニ付シ該課僚ノ爲メ將來ニ於ケル便宜ノ處置ヲ取りタル所爲ハ官吏收賄罪ヲ構成ス

三七

九五五

第二百八十六條 裁判官檢察官官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

三七

二六九二

○刑法第二百八十六條ノ「刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者」トハ裁判官檢察官又ハ警察官ニシテ刑事被告人ノ罪ノ有無ヲ定ムル公訴ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ勿論犯罪ノ捜査犯人ノ逮捕起訴豫審等刑事被告事件ニ關スル司法事務ニ

付キテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ヲモ包含ス  
 ○刑法ニ所謂警察官吏トハ司法警察事務ニ従事スル官吏ノ總稱ナリトス  
 從テ司法警察官ノミナラス巡查憲兵卒ニ至ルマテ司法警察事務ノ取扱  
 フ爲ス總テノ者ヲ包含ス

○刑法第二百八十六條第一項ニ刑事ノ裁判ニ關シトアルハ公訴ノ提起ニ  
 因リ現ニ事件カ刑事裁判所ニ繫屬シタル場合ノミヲ指スモノニ非スシ  
 テ公訴ノ提起前ト雖モ公訴トナルヘキ性質ノ事件ハ總テ之ニ包含スル  
 モノトス

(同至旨)

刑法第二百八十六條ニ刑事ノ裁判ニ關シトアルハ公訴ノ提起後ハ勿論其以前ト雖モ荷モ公訴  
 ト爲ルヘキ事柄ニ關スル總テノ場合ヲ包含スルモノトス

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者  
 ハ其價ヲ追徴ス

○刑法第二百八十八條ニ所謂費用トハ汎ク賄賂カ犯人ノ手ニ現存セサル  
 場合ヲ指シタルモノトス而シテ自己ノ利益ノ爲メニ處分シタルト否ト  
 ハ之ヲ問フモノニ非ス

○數人共同シテ一團ト爲リ賄賂ヲ收受セル場合ニ於テハ其分配ヲ受ケタ  
 ル金額如何ニ拘ハラズ各自賄賂ノ全部ニ付キ追徴ヲ受クルノ責任アル

モノトス

(同至旨)

數人共謀シテ一團體ト爲リ賄賂ヲ收受シタル上ハ即チ其團體ニ於テ收受シタルモノナルヲ以  
 テ賄賂ノ現存セサルモノハ亦其團體ニ於テ費用シタルモノト認メサルヲ得ス從テ共犯者ハ賄  
 賂ノ全部ニ付キ共同ノ責任ヲ負フモノニシテ各自カ分配ニ依テ得タル部分ノミニ付キ責任ヲ  
 負ノモノニ非ス

### 第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
 因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

○船車營業係ヲ擔任セル町役場書記カ船稅納付ノ爲メ送付シ來リタル郵  
 便爲替證書ヲ保管中ニテ竊取シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス

○自治制ノ未タ施行セラレサル村落ノ戸長ハ所轄官廳ニ於テ任命シ其身  
 分ハ明治十九年内務省令第二十一號ニ依リ判任官ニ準スヘキモノトス  
 從テ戸長ハ官吏ナリトス

○戸長役場ノ筆生ハ官制上所謂高等官若クハ判任官ノ資格ヲ有セサルノ  
 ミナラス其待遇ヲ此二者ニ準スヘキ法規ノ存在スルコトナシ從テ筆生  
 ハ官吏ニ非ス〔三〇年六卷一頁、三三年二卷三六頁參照〕  
 ○通信事務員ハ雇員ニシテ官吏ニ非ス

三七	三五	三五	三五	三五	三六
五九七	七	一〇	一〇	一〇	一〇
		三〇	三〇	三〇	三〇
		八九	八九	八九	八九

三五	三五	三七	三六	三五
七	六	元	一六〇	七
七四	一五七			
				八九

(同左旨)

三等郵便電信局ノ通信事務員ハ明治二十九年十月二日逓信省公達郵便及電信局雇採用規則ノ規定ニ從ヒ三等郵便局長ニ於テ雇ヲ命ジ通信事務ニ從事セシムルモノナレハ官制上所謂高等官判任官ノ資格ナキハ勿論之ニ準シ又ハ其待遇ヲ受クルモノニ非ス從テ該雇員ハ官吏ニ非ス

○郵便電信局ノ通信事務員ハ雇員ニシテ官吏ニ非ス從テ通信事務員ニシテ其監守ノ責アル郵便物ヲ竊取シタル所爲ハ郵便法第五十一條ニ依リ刑法竊盜ノ例ニ照シ一等ヲ加ヘ處斷スヘキモノニシテ監守盜ヲ以テ論スヘキモノニ非ス

○町村制ニ依レハ書記ハ收入役ヲ代理スルノ權限ナキヲ以テ現實其代理トシテ町村稅ヲ受領シ之ヲ保管スルコトアルモ書記ノ職責トシテ受領保管スルモノト云フヲ得ス從テ書記ニシテ其保管金ヲ費消シタル場合ニ在テハ委託金費消罪ニ問フヘキモノニシテ監守盜ヲ以テ論スヘキモノニ非ス

○明治二十一年六月逓信省公達第三百三十一號ニ依リ三等郵便電信局長ニ於テ疾病其他ノ事故ニ依リ雇員ヲシテ局務ヲ代理處辨セシムルトキト雖モ其雇員ハ局長ト同一ニ官吏ノ待遇ヲ受クルモノニ非ス從テ此場合ト雖モ其身分ハ純然タル一ノ雇員ナリトス

○監守盜罪ヲ構成スルニハ官吏カ其職責上保管スル金穀物件ヲ盜取シタルノ事實アルノミヲ以テ足ル從テ其所有者ノ誰タルヤハ之ヲ問フノ要ナシ

○郵便局長ヲシテ其監守スル爲替金ヲ取出サシメタルモ自ラ其金員ノ取出ニ干與セサルトキハ犯罪ノ實行ニ干與セサルモノナルヲ以テ監守盜ノ教唆者トシテ責任ヲ負ハシムヘク共犯ヲ以テ論スヘキモノニ非ス

○刑法第二百八十九條ハ監守ノ職責ニ違背シテ金品ヲ竊取又ハ費消シタル官吏ヲ嚴罰スルモノニ外ナラスシテ法律カ犯人ノ身分ニ因リ特ニ刑ヲ加重シタル場合ノ一ニ屬スルモノトス從テ監守ノ責アル官吏ヲ教唆シテ監守盜罪ヲ犯サシメタル通常人ニ對シテハ同條ノ規定ヲ適用スヘキモノニ非ス

○公立工業學校書記ハ明治二十四年十二月勅令第二百四十四號公立中學校技藝學校職員名稱待遇任免第二條及ヒ明治三十二年二月勅令第二十九號實業學校令第二條第十八條ニ依リ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ニシテ官吏ナリトス

○監守盜罪ノ共犯人ヲ竊盜ノ罪ニ問フニハ監守者カ自己ノ手裡ニ保有セサル金品ヲ自己ノ占有ニ移シテ横領シタルノ事實ト共犯人カ其金品横

三五二 五

三六 五二

三六 101

三六 107

三六 三九

三六 三四

三六 三四

三六 六四

領ノ所爲ニ干與シタルノ事實トヲ具體的ニ判文ニ明示スルヲ要ス

三六

七五二

○町村長カ銀行ヨリ村債金ヲ受領スルモ其金錢ハ未タ以テ町村ニ收入セラレタル村有金ナリト云フヲ得テ從テ收入役カ收入ノ手續ヲ爲サ、ル前町村長ニ於テ之ヲ費消スルモ銀行ノ金錢ヲ費消シタルニ過キサ、ル以テ其所爲ハ受寄ノ財物ヲ費消シタル罪ヲ構成スルニ止マリ監守盜罪ヲ構成スヘキモノニ非ス

三六

一〇六

○村有ノ金錢ヲ保管シ直接ニ其出納ヲ管掌スル者ハ收入役ナルモ村長モ亦町村制上其金錢ノ出納ヲ監視スルノ職責ヲ有ス從テ村長又ハ助役カ收入役ト共ニ村有ノ金錢ヲ費消シタルトキハ監守盜ノ正犯トシテ處罰スヘキモノトス

三六

二六五

○村ヲ代表シ村ニ於テ徵收シタル縣稅等諸稅金ヲ郡役所ニ納付スルカ如キハ收入役ノ職務權限ニ在ラスシテ村長ノ職務ナリトス從テ村長カ郡役所ニ納付スヘキ稅金ヲ收入役ヨリ受取り其保管中之ヲ費消シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス

三六

一四三

○執達吏手數料規則ニ依レハ執達吏ハ手數料及ヒ立替金ヲ豫納セシメ委任事務ノ終了スルトキハ其豫納金ヲ以テ直ニ受取ルヘキ手數料又ハ立替タル金額ニ充當スルコトヲ得ルモノトス從テ其豫納金ニ付キ監守盜

ヲ以テ處罰スルニハ執達吏カ委任事務ノ終了前ニ費消シタルカ又ハ其終了後委任者ニ返還スヘキ殘餘ヲ費消シタル事實ヲ明示スルヲ要ス

三六

一七五

○區長ハ區有財產及ヒ區ノ事務ニ付キ市長カ市ニ於ケルト同一ナル職權ヲ有スルカ故ニ區長カ區書記ニ命シ區有財產ノ利子ヲ受領シ之ヲ市稅金受取所ニ納入スルノ手續ヲ爲サシムルハ區事務ノ分擔ニ外ナラス從テ其命ヲ受ケタル區書記カ利子ヲ受領シ其保管中之ヲ盜費シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス

三六

一七七

○監守盜罪ハ官吏カ其監守ニ係ル金品ヲ不正ニ橫領スルニ依テ成立ス從テ犯人タル官吏カ其金品ヲ處分スルノ行爲ハ監守盜ノ結果トシテ當然其中ニ包含セラレ獨立ノ犯罪ヲ構成スルモノニ非ス

三六

一八二

○村ノ助役ハ町村制第七十條ニ依リ村長ヲ代理スルノ權限ヲ有ス故ニ助役カ村長ニ代テ郡役所ヨリ受取りタル蟲害驅除費金及ヒ郡役所ニ上納スヘキ郡費金並ニ縣稅交付金ノ保管中擅ニ之ヲ費消スルニ於テハ監守盜罪ヲ構成ス

三七

二五

○普通水利組合ノ管理者カ偽造ノ公私文書ヲ以テ收入役ヲ欺キ組合ノ金錢ヲ騙取シタル所爲ハ監守自盜罪ヲ構成ス

三七

三五

○町村學校組合長ハ其組合ニ屬スル學校ノ會計ヲ管理シ組合ノ金錢ヲ監



守スルノ職責ヲ有ス從テ其管掌スル金錢ヲ竊取シタル所爲ハ監守自盜罪ヲ構成ス

○町長カ融通ノ爲メニ收入役ヲシテ其職務上保管スル税金ヲ取出サシメタル所爲ハ監守盜ノ教唆罪ヲ構成ス

○町村ノ區有財産ヨリ生スル收益金ハ收入役ニ於テ之ヲ受領スルニ因リ公金ト爲ルモノニシテ町村長ハ收入役ニ代リ之ヲ受領スルノ職權ヲ有セス從テ町村長カ該收益金ヲ受領シ之ヲ費消シタル所爲ハ監守盜罪ニ非スシテ委託物費消罪ナリトス

○町村ノ附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任シ町村ノ行政事務ヲ擔任セシムルモノトス從テ附屬員ハ公吏タル資格ヲ有ス

○市ノ書記カ市長ノ命令ニ依リ其代理トシテ縣稅及ヒ市稅ノ滯納處分ヲ爲シ通貨ヲ徵收シタル以上ハ其職務上一時自ラ之ヲ保管スルノ責任ヲ有ス從テ其監守中ノ之ヲ竊取シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス

○村長ニ於テ郡役所ヨリ罹災救助金ノ交付ヲ受クルニ方リ其手續上便宜ニ從ヒ各罹災民ヲシテ先ツ交付簿ニ受領印ヲ押捺セシメタリトスルモ現ニ該金員ヲ罹災民ニ下付シ了ル迄ハ其職務上保管スヘキ公金ニシテ私金ニ非ス從テ之ヲ費消シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス

○裁判所書記ニ於テ競賣事件主任判事ノ命令ヲ受クルトキハ競賣代金ヲ受領シ權利者ニ配當スル迄或ハ配當ヲ爲ス能ハサルカ爲メ供託スル迄職務トシテ其代金ヲ監守セサルヘカラス

○町村長ハ法律命令又ハ上司ノ命令ヲ受クルトキハ町村ニ屬セサル金圓等ヲ直接ニ收受シ之ヲ保管スヘキ職務權限ヲ有ス從テ村長ノ命ニ因リ此等ノ事務ヲ分掌スル書記カ軍人ノ遺族ニ下付スヘキ金券ヲ郡役所ヨリ受領シ其保管中ノ之ヲ自己ノ用途ニ費消シタルトキハ監守盜罪ヲ構成ス

○官吏カ其職務上監督スル金品ヲ横領シタル所爲ハ監守盜罪ヲ構成ス而シテ其手段カ直接ニ金品ヲ保管スル者ト通謀シ相共ニ之ヲ横領シタルニ在ルト保管者ノ同意ヲ得シテ擅ニ之ヲ取出シタルニ在ルト將タ保管者ヲ欺罔シ其交付ヲ受ケタルニ在ルトハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ

○監守盜ノ犯人カ他人ノ手ヲ經テ金品ヲ領得シタル場合ニハ其仲介者カ事實上該金品ヲ犯人ニ交付シ得ヘキ地位ニ在ルトヲ以テ足り法律上之ヲ交付スルノ權限ヲ有シタルコトヲ必要トセス

○刑法第二百八十九條ハ直接ニ金穀物件ヲ保管スル者カ之ヲ横領シタル

三七 三五

三七 四七

三七 五四

三七 六三七

三七 七八

三七 一三四六

三七 一五〇七

三七 一七〇二

三七 二一〇三

三七 二一〇三

場合ニノミ適用スヘキ規定ニ非スシテ他人ノ保管スル金穀物件ヲ監督シ其滅失毀損脱漏又ハ費消ヲ豫防スヘキ官職上ノ義務アル者カ其義務ニ違背シテ之ヲ横領シタル場合ニモ亦適用セラルヘキモノトス

(同罪名)

刑法第二百八十九條ニ所謂監督ナル語ハ金穀物件ノ監督守護ヲ爲スノ義ナリトス從テ監督盜ノ主體タルヘキ官吏ノ中ニハ金穀物件ノ出納ヲ管掌シ直接ニ其保管ヲ爲スノ職責ヲ有スル者ハ勿論官規上間接ニ金穀物件ノ出納ヲ監督シ其滅失毀損脱漏費消等ノ危険ニ對シテ之ヲ保護スルノ職責ヲ有スル者ヲモ包含ス

刑法第二百八十九條ハ金穀物件ヲ直接ニ保管スル者ハ勿論之ヲ監督スルノ職責アル者ニ於テ其金穀物件ヲ竊取費消スル等不正ノ處分ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用スルノ法意ナリトス

○町村長カ收入役ニ代リテ過徴收ノ税金ヲ保管スル場合ニ於テハ縱令其保管ハ法律上ノ職責ニ出テサルモ之カ爲メニ監督ノ職權ヲ失フヘキモノニ非ス從テ其金員ヲ不正ニ費消シタル所爲ハ監督盜罪ヲ構成ス

○刑法第二百八十九條ノ罪ハ性質上竊盜又ハ委託物費消罪ニシテ唯犯人ノ官吏タル身分ニ因リ特ニ其刑ヲ加重シタルモノニ外ナラス

○刑法第二百八十九條第二項ノ官文書増減變換等ノ行爲ハ監督盜罪ノ手段トシテ犯シタルモノノミヲ指シタルモノトス從テ其事後ノ行爲ハ同條項ニ問擬スヘキモノニ非ス

○刑法第二百八十九條第二項ノ「増減變換」ナル語ハ廣義ニ用ヒラレタルモノニシテ文書簿冊偽造ノ場合ヲモ其中ニ包含スルモノトス

○刑法第二百八十九條第二項ハ監督盜ヲ爲スニ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル所爲ハ同法第二百五條ノ管掌文書偽造又ハ變造行使罪ノ例ニ照シ處斷スヘキ旨ヲ規定セルニ過キスシテ監督盜ノ所爲ト文書簿冊ノ變造又ハ毀棄ノ所爲トヲ一罪トシテ處斷スルノ謂ニ非ス

(同罪名)

文書簿冊ヲ偽造變造スルノ所爲ト監督ノ金品ヲ竊取スルノ所爲トハ全ク其内容ヲ異ニシ各獨立ノ犯罪ヲ構成スルモノトス從テ監督盜ヲ爲スニ當リ官ノ文書ヲ偽造又ハ變造シタルトキハ各箇ノ所爲ハ別ニ一罪ヲ構成スルモノニシテ相共ニ一罪ヲ構成スルモノニ非ス

○裁判所書記カ職務上保管スル登記申請書ヨリ印紙ヲ剝離シテ竊取シタル所爲ハ官文書毀棄及ヒ監督盜ノ二罪ヲ構成ス

第二百九十條

租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○官吏カ租稅其他諸般ノ入額ノ徵收ニ關スル職務ヲ行フニ當リ苟クモ正當ニ徵收ヲ爲スヘキ職務權限ヲ有スル數量以外ノ金穀ヲ徵收シタルトキハ刑法第二百九十條ノ制裁ヲ受クヘキモノトス而シテ其金穀ハ實體上ニ於テ之ヲ徵收シ得サルモノナルト手續上ニ於テ徵收シ得サルモノ

三七

二一〇三

三六

七五二

三七

三三五

三六

三三二

三六

七〇一

三六

二一〇〇

三六

二二六五

三六

九六

三六

二一六五

三六

二五三

ナルト又或人民ニ對シテ正當ニ徵收シ得ヘキモノヨリ餘分ノ金穀ヲ徵收シタルト正當ニ徵收シ得ヘキ人民以外ノ者ヨリ金穀ヲ徵收シタルトハ之ヲ問フノ要ナシ

○市町村長カ徵稅令書ニ基キ縣稅ノ徵收ヲ爲スニ當リ其徵稅令書ニ指定シタル以外ノ金額ヲ徵收シタルトキハ刑法第二百九十條ノ犯罪ヲ構成ス

○現在ノ戶數ニ對シ村稅ヲ賦課スヘキ場合ニ於テ村長カ戶數ノ幾部ヲ控除シ之ヲ隱蔽シタル爲メ其部分ニ付テハ村會ノ議決ナキニ拘ハラズ該戶數ニ對シテ稅金ヲ賦課徵收シタル所爲ハ刑法第二百九十條ニ所謂正數外ノ金穀ヲ徵收シタルモノニ該當ス

○正數外ノ租稅徵收罪ハ不法ノ徵收ヲ爲シ納稅者ヲ害スルニ因リ成立スルモノニシテ必スシモ自己若クハ他人ヲ利スルノ目的ニ出ツルコトヲ要セス

### 第三編 身體財產ニ對スル重罪輕罪

#### 第一章 身體ニ對スル罪

##### 第一節 謀殺故殺ノ罪

○謀殺故殺若クハ誹毀ノ如キ犯罪ハ自他互ニ集合シ難キ人ノ生命若クハ名譽ヲ侵害スルモノニシテ被害者毎ニ異別ノ效果ヲ生ス從テ縱令同一ノ決意ヲ以テ同時同一ノ場所ニ於テ數人ヲ謀殺若クハ誹毀スルモ之ヲ一括シテ一ノ謀殺一ノ誹毀ナリト云フヲ得ス

第二百九十二條 謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

○人ヲ殺害センコトヲ共謀シ殺害實行ノ現場ニ於テ下手者ニ助勢シ又ハ兇行ノ障礙排除ニ力メタル者ハ謀殺罪ノ正犯ナリトス

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

○毒殺罪ニ付テハ殺意ヲ以テ毒藥ヲ調合シ其之ヲ服用セシメントスル人ニ渡シタルノミノ所爲ハ未タ毒殺ノ實行ニ著手シタルモノニ非ス從テ現ニ毒藥ヲ服用セシメ又ハ目的ノ人カ服用スヘキ狀況ニ毒藥ヲ供シタル時ニ於テ始メテ實行ノ著手アリタルモノトス

○甲者カ乙者ヲ殺害シ自己モ直ニ自殺センコトヲ決意シ其携來レル石炭酸ヲ乙者ノ口中ニ注入シタルモ大部分ハ口外ニ流下シタルニ因リ死ニ至ラサル場合ニ於テハ甲者ノ所爲ハ毒殺未遂罪ヲ構成ス

○人ヲ殺スノ意思ヲ以テ毒藥ヲ施用シタル以上ハ縱令少量ノ爲メ人ヲ殺スニ足ラサルモ犯人意外ノ舛錯ニ外ナラサレハ未遂罪ヲ構成セサルモ

同主旨判例  
三〇年六卷  
五七頁

三六 一九四

三六 一九四

三六 一九四

三六 一九五

三七 九五二

三七 二四五

三七 二四九

三七 四八八

ノト云フヲ得ス

○刑法第二百九十三條ノ犯罪ヲ構成スルニハ被害者ニ對シテ毒物ヲ施用セル事實アルコトヲ要ス而シテ何レノ場合タルヲ問ハス必然人ノ飲食スヘキ状態ニ毒物ヲ提供スルニ非サレハ未タ之ヲ施用シタルモノト云フヲ得ス

○刑法第二百九十三條ニ所謂毒物トハ適當ノ分量ヲ施用セハ人ヲ死ニ致スヘキ性質ヲ有スルモノ、總稱ニシテ日本藥局方ニ謂フ毒藥類ノミヲ指稱シタルモノニ非ス

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀殺ヲ以テ論ス

○甲ヲ毒殺センコトヲ謀リ致死量以上ノ毒藥ヲ包ミタル餡餅ヲ甲ニ供シタルニ偶、丙カ之ヲ貰受ケ食シタル爲メ煩悶シテ吐出シ死ニ至ラザリシ事實ハ被告カ丙ニ餡餅ヲ與ヘタルニ非サルモ之ヲ食セシムヘキ状態ニ置キタルモノトス從テ被告ノ所爲ハ刑法第二百九十八條ニ所謂謀殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル罪ノ未遂罪ヲ構成ス

○刑法第二百九十八條ノ罪ハ謀殺故殺ノ所爲ニ因リ誤テ其目的以外ノ人ヲ殺シタル場合ニ成立スルモノトス

第二節 毆打創傷ノ罪

○人ヲ突倒シ其身體ヲ他物ニ觸レシメ創傷ヲ負ハシムルトキハ毆打創傷罪ヲ構成ス

○苟クモ故意ヲ以テ人ヲ毆打シタル以上ハ加害者ノ豫期如何ニ拘ハラズ現ニ發生シタル結果ニ付キ責任ヲ負フヘキハ當然ナリ從テ其創傷ヲ豫期セシヤ否ヤハ之ヲ判文ニ説示スルノ要ナシ

○人ヲ毆打シテ數箇ノ創傷ヲ負ハシヌタル場合ト雖モ同一意思ノ發動ニ基因セルトキハ相共ニ一罪ヲ構成スルニ過キスシテ別箇獨立ナル數罪ヲ構成スヘキモノニ非ス

第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

○毆打創傷ノ罪ハ其結果ニ依リ刑ヲ定ムルモノトス故ニ輕重ノ創傷アリテ其内ノ幾部カ致死ナル結果ヲ生シタルトキハ輕キ結果ハ最重ノ致死ナル結果ニ包含セラルヘキモノナレハ單ニ一罪トシテ處斷スヘキモノトス

○或病因ヲ有スル者ヲ毆打シ爲メニ疾病ヲ誘發セシメ因テ之ヲ死ニ致シタル所爲ハ毆打致死罪ヲ構成ス

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

三七 一四三

三七 一四三

三七 一三三

三五 九 一六三

三六 二六二

三七 九二

三七 九二

三七 二九〇

三七 二九三

三七 二二六

其一目ヲ瞎シニ耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癱瘓ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

○甲乙共謀シ犯人ヲ逃走セシメント欲シ甲者ハ監守ノ右手ニ組付キ且乙者ニ對シ同監守ノ指ヲ折ルヘキコトヲ命シタルニ乙者之ニ應シテ其左手拇指ヲ逆折シ犯人ヲ逃走セシメタル場合ニ於テハ甲者カ犯人ヲ逃走セシメタル所爲ハ官吏抗拒罪ノ實行正犯ニシテ監守ノ指ヲ折傷シタル所爲ニ付テハ毆打創傷ノ教唆ナリトス

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス  
疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

○強盜ヲ毆打創傷シタル場合ト雖モ尙ホ毆打創傷罪ヲ構成ス從テ強盜ナリト誤信シテ他人ヲ毆打創傷セシメタル所爲ヲ以テ罪トナルヘキ事實ヲ知ラサリシモノト謂フヲ得ス

○帳簿ヲ取回サンカ爲メ人ニ組付キタル所爲ハ人ノ身體ニ對シ暴行ヲ加ヘタルモノニシテ刑法ニ所謂毆打ノ所爲ナリトス

○人ヲ毆打シテ疾病休業二十日以内ノ創傷ヲ負ハシメタル後捕縛ヲ以テ

三七

九七

三五

二四

四六

三五

二二

二五

捕縛シタル所爲ハ毆打創傷罪(刑法第三百一條第二項)ト制縛罪(刑法第三百二十二條)トノ二罪ニシテ毆打拷責ノ一罪(刑法第三百二十三條)ニ非ス

第三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

○刑法第三百四條ノ罪ハ毆打ノ所爲ニ因リ誤テ其目的以外ノ人ヲ毆打シタル場合ヲ指稱シタルモノトス

第三百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルコト能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

○數人共毆ノ場合ニ於テハ刑法ハ總則ノ共犯例ヲ適用スヘカラサルモノトシテ特ニ第三百五條ノ規定ヲ爲シタルモノトス

第二節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所爲ニ因リテ自ら暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

○刑法第三百九條ニハ自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ云々トアリ而シテ暴行ト脅迫若クハ誹毀トハ刑法上明カニ區別シアルヲ以テ單ニ脅迫ヲ受ケタルノミニテハ同條ニ所謂暴行ヲ受ケタルモノト云フヲ得ス  
○人ノ不行跡ヲ詰責スルハ德義上正當ニ爲シ得ヘキ事ニ屬シ敢テ行爲ノ

三六

六九五

三五

二二

一五

三五

三三

六七

三五

二二

二九

軌道外ニ逸出シタルモノニ非サレハ刑法第三百九條但書ニ所謂不正ノ所爲ニ該當セス

第三百一十一條

本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

○刑法第三百一十一條ノ「直チニ」ナル語ハ「姦所ニ於テ」ノ語ヲ受ケタルモノトス從テ本夫カ姦通ノ現場ニ於テ直チニ殺傷ヲ爲シタルトキハ其豫謀ニ出テタル場合ト雖モ同條ノ宥恕ヲ受クヘキモノトス

第四節 過失殺傷ノ罪

○船舶相衝突セル場合ト雖モ其行爲ハ海上衝突豫防法ノ違背トナラスシテ刑法上過失罪トナルコトアルヲ以テ裁判所カ過失殺傷ノ事實ヲ認メタル以上ハ直ニ刑法ヲ適用シテ處斷スルモ不法ニ非ス

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

○囑託ヲ受ケ自殺者ノ爲メニ手ヲ下シタル者(刑法第三百二十條)ニ科スルニ重禁錮ノ刑ヲ以テシタルハ相當ノ刑ヨリ重キ刑ヲ言渡シタル失當ノ判決ナリトス

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

○刑法第三百二十一條ノ自殺ニ關スル教唆罪ハ自殺者ヲ以テ犯罪ノ目的物ト爲シ教唆ノ行爲ヲ犯罪構成ノ要素トシ其行爲ノ結果被教唆者カ自殺ヲ遂クルニ因リテ完成ス故ニ被教唆者カ自殺セントシテ遂ケサリシ場合ニ於テハ同條ノ未遂罪ヲ構成スルモノトス

○苟クモ被教唆者ノ死亡カ教唆者ニ利益ナル以上ハ其財産ニ關スルト否トヲ論セス刑法第三百二十一條ニ所謂自己ノ利ヲ圖リトアルニ該當ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

○人ヲ毆打シテ疾病休業二十日以内ノ創傷ヲ負ハシメタル後捕縛ヲ以テ捕縛シタル所爲ハ毆打創傷罪(刑法第二百一十一條第二項)ト制縛罪(刑法第三百二十二條)トノ二罪ニシテ毆打拷責ノ一罪(刑法第三百二十三條)ニ非ス

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○居坐スルコト能ハサル方法ニテ人ヲ制縛シ身體ニ苦痛ヲ感セシメタル

同主旨判例  
二九年一巻  
七五頁

三六	三五
五	三
五二	六
三	七
二〇二	三
六九	五

三七	三五
二六九	二
三七	二九

所爲ハ刑法第三百二十三條ニ所謂苛刻ノ所爲ナリトス

○親權者カ懲戒ノ爲メ其子ヲ制縛監禁シ又ハ毆打シタル場合ニ其行爲ニシテ苟クモ法律ニ定ムル必要ノ範圍外ニ逸出スルトキハ刑法第三百二十三條ノ犯罪ヲ構成ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百三十一條

藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

○墮胎トハ藥物其他ノ方法ヲ以テ胎内ニ在ル胎兒ヲ殺シ之ヲ胎外ニ排出セシムルノ謂ニシテ其分娩期ニ至リ居リシト否トハ之ヲ問ハサルモノトス從テ胎兒カ産門ヨリ其顛頂部ヲ露ハシ將ニ出產セントスル際兩手ヲ産門ニ挿入シ胎兒ノ鼻口ヲ壓迫シ之ヲ死ニ致シ其頭部ヲ攫ミ引出シタル所爲ハ墮胎罪ナリトス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十五條

不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

○數人共謀シテ誣告ヲ爲ス場合ニ在テハ共謀者中一人ノ犯罪行爲ノ實行ハ共謀者全體ノ行爲ト看做スヘキモノトス

反對判例三〇年七卷一頁

同主旨判例三〇年一〇卷四頁

○誣告罪ハ不實ノ事ヲ官ニ申告スルニ因テ成立ス從テ告訴狀ノ效力ノ如何ハ此犯罪ノ成否ニ關係ナシ

○法人ハ犯罪ノ主體タル能力ヲ有セサルヲ原則トシ法律ノ明文ニ依リ特ニ其主體タル場合ト雖モ財產刑其他法人ノ性質ト相容ルヘキ刑罰ニ服從スルニ止マリ體刑ヲ科スヘキ犯罪ノ主體タルコト能ハサルモノトス從テ漁業組合ノ名ヲ以テ爲シタル告訴力誣告ニ出テタル場合ト雖モ法人タル組合ハ體刑ヲ科スヘキ誣告罪ノ主體トシテ刑罰ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非ス

○二人以上ヲ陷害センカ爲メニ誣告ヲ爲シタルトキハ犯人ノ行爲ハ一人ナルモ其結果ハ各人ニ付テ生スルカ故ニ二箇以上ノ犯罪ヲ構成ス

○數多ノ事項ヲ掲ケテ一人ヲ陷害セントスルモ陷害ノ結果ハ唯一ナルカ故ニ縱令一人ヲ陷害スル爲メ數罪アリト誣告シタルハトテ數罪ヲ成スモノニ非スシテ一罪ニ止マルモノトス

○苟クモ他人ニ犯罪アリトシテ不實ノ事實ヲ構造シ或方法ニ依リ之ヲ當該官吏ニ申告スルニ於テハ誣告罪ハ完全ニ成立ス而シテ其申告ハ告訴ノ形式ヲ以テスルト否ト又自己ノ名義ヲ以テスルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ關係ヲ有セス

同主旨判例三〇年七卷三一頁

三五 三 二六

三七 一三三

三六 二二九

三五 六 六六

三五 二 二七五

三六 一〇三

三七 二五二

三七 二五二

三六 二九二

(同案旨)

刑法第三百五十五條ハ別ニ誣告ノ手段方法ヲ限定セサルカ故ニ苟クモ當該官吏ニ對シ或人ニ犯罪行為アリトシテ不實ノ申告ヲ爲ストキハ常ニ誣告罪ヲ構成ス而シテ其申告カ告訴ノ形式ニ依ルト否ト自己ノ名義ヲ以テスルト否トハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ナシ

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

○刑法第三百五十六條ハ自首ノ一般條件ニ對シ推問前ナルコトヲ要スル特別條件ヲ加ヘテ刑罰ノ全免ヲ定メタルモノニ過キサレハ同條ノ規定ニ依ル自首モ亦事ノ發覺前ニ爲スコトヲ要ス

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ照シテ處斷ス

- 一 公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 二 書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○刑法第三百五十八條第一項ニ所謂「惡事醜行ノ摘發」トハ惡事醜行ヲ指摘シテ之ヲ公布スルノ意ニシテ公衆ノ認知セサル人ノ惡事醜行ヲ暴露シ公衆ヲシテ其惡事醜行ヲ認知スルコトヲ得セシムルヲ謂フ

○人ノ醜行ヲ摘發シタル者ハ其事實ノ有無ニ拘ハラズ誹毀罪ノ犯人トシ

テ刑罰ノ制裁ヲ受ケサルヘカラス從テ或人カ現ニ惡事醜行ヲ爲シタル場合ト雖モ之ヲ指摘シテ社會公衆ニ知ラシムルノ所爲ハ誹毀罪ヲ構成ス

第二章 財産ニ對スル罪

○刑法上ノ財物ノ意義ニ廣狹ノ二アリテ其廣義ニ於テハ證書類ヲ包含シ其狹義ニ於テハ之ヲ包含セス而シテ刑法第三百九十九條ノ財物ハ後者ニ屬シ同第三百七十八條ノ財物ハ前者ニ屬スルモノトス

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

○竊盜罪ハ賊物ノ各箇ニ對シ各別ニ犯罪ヲ構成スルモノニ非ス從テ判決ニ於テ認定シタル賊物ノ價格起訴事實ノ價格ニ超過スル場合ト雖モ其竊取ノ行為一ナルトキハ公訴以外ノ事實ヲ審理判決シタルモノト云フヲ得ス

○立木ヲ盜伐セント企テ之ヲ切り倒シタルトキハ事實上其立木ヲ占領シ任意ニ處分シ得ヘキ實力ヲ取得シタルモノトス從テ此瞬間ニ於テ竊盜

同主旨判例  
二八年二〇  
七頁

三六 1000

三六 1765

三五 17

三七 1261

三七 51

三六 1000



ノ既遂罪ヲ構成ス而シテ之ヲ現場ヨリ搬出シタルヤ否ヤハ犯罪ノ成立ニ關係ナシ

三五

一一

二四

○電流ハ有體物ニ非サルモ五官ノ作用ニ依リ其存在ヲ認識スルコトヲ得ヘキモノニシテ之ヲ容器ニ收容シテ獨立ノ存在ヲ有セシムルコトヲ得從テ他人ノ所持スル電流ヲ不法ニ奪取シテ之ヲ自己ノ所持内ニ置キタル者ハ刑法第三百六十六條ニ所謂他人ノ所有物ヲ竊取シタルモノトス

三六

八七

○甲カ酒造税滯納ノ爲メ差押ヲ受ケ封印ヲ施サレタル酒桶ヲ甲ノ雇人乙ニ於テ看守ヲ命セラレ其看守中甲乙及ヒ丙ノ三人共謀ノ上封印ヲ破棄シ清酒ヲ竊取シタル所爲ハ甲乙丙三人共ニ刑法第三百六十六條ノ竊盜罪ヲ以テ論スヘキモノトス

三七

一一三

○鐵道乘車券ハ乘車ノ權利ヲ證明スヘキ要具ニシテ有價物ナリトス

三七

一〇七

○神社ノ床下ト雖モ特別ノ事情存セサル限リハ其建物主ノ看守内ニ屬スルヲ以テ通常トス從テ其床下ニ藏置セル物品ヲ竊取シタル所爲ハ建造物内ノ竊盜罪ヲ構成ス

三七

七四

○瓦斯ハ一種ノ物體ナルヲ以テ他人ノ製造ニ係ルトキハ刑法第三百六十六條ノ所謂他人ノ所有物ニ該當ス從テ之ヲ竊取シタル者ハ同條ノ制裁ヲ免ル、コトヲ得ス

三七

九一〇

○他人ノ所有ニ係ル倉庫ノ一部ヲ借受ケタル者カ便宜上其鍵ヲ委託セラレタル事實ヲ認ムルモ其倉庫中ニ在ル物件ノ委託アリタル事實ヲ認メサル以上ハ該物件ヲ取出シ費消シタル所爲ハ竊盜ニシテ委託物費消ニ非ス

三七

二五六

○竊盜罪ノ目的物ハ他人ノ所持ニ係ルモノナルコトヲ要ス而シテ所持ノ有無ハ物ニ對シ事實上支配力ヲ及ホスコトヲ得ルヤ否ヤニ依リテ之ヲ決スヘキモノトス

三七

一四六

○刑法第三百六十六條ニ所謂人ノ所有物トハ一般ニ金錢的價值ヲ有スルト否トヲ問ハス苟クモ所有權ノ目的物タルコトヲ得ヘキモノハ總テ之ヲ包含ス

三七

二九一

○是非ノ辨別ナキ幼者ヲ機械ト爲シ竊ニ借用證書ヲ取出サシメタル者ハ實行正犯トシテ處分スヘキモノトス

三七

二四五

○公債證書ヲ賣買セントスルニ當リ仲買人ノ手代カ取引ヲ承諾セス其證券ヲ注文者ノ居室ニ差置キ他室ニ赴キタル隙ニ乘シ注文者ニ於テ之ヲ持去リタル所爲ハ竊盜罪ヲ構成ス

三六

三三

○他人カ竊取シタル仕切書ヲ材料ト爲シ私書ヲ偽造變造シ其偽造若クハ變造文書ヲ行使シテ詐欺取財ヲ爲シタルトキハ緣由ノ如何ヲ問ハス竊

盜罪ト獨立シテ別ニ犯罪ヲ構成スヘキモノナレハ之ヲ以テ竊盜罪ノ結果若クハ事後ノ從犯ナリト云フヲ得ス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

○邸トハ家屋其他建造物ノ存スル構内ノ土地ヲ云フ從テ邸内ナル文字ハ建造物内ナル文字ト同義ニ解スルコトヲ得ス

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

○刑法ニ所謂邸宅トハ住宅ト之ニ附屬スル構内ノ敷地ヲ指稱シタルモノトス從テ荷モ兇器ヲ携帯シテ其構内ニ忍入り財物ヲ竊取シタル以上ハ財物ノ所在如何ニ拘ハラヌ持兇器竊盜罪ヲ構成ス

○兇器ヲ携帯シテ人ノ住居スル家屋又ハ圍障ノ設ケアル其家屋所在ノ宅地内ニ入りタル事實ト現ニ其家屋又ハ宅地内ニ於テ竊盜ヲ爲シタル事實アル以上ハ持兇器竊盜罪ハ完全ニ成立ス從テ犯人カ竊盜ヲ爲シタル瞬間ニ於テ現ニ兇器ヲ身邊ニ携帯シタルヤ否ヤハ之ヲ問フノ要ナシ

○刑法第三百七十條ニ所謂兇器トハ人ノ身體ニ危險ナル器具ヲ意味シ其性質上人ノ身體ヲ傷害シ得ヘキ器物ハ總テ之ヲ包含スルモノトス

○刑法第三百七十條ノ犯罪ハ兇器ヲ携帯シ人ノ邸内ニ入り竊盜ヲ爲スニ依リ成立スルモノニシテ必スシモ人ノ家屋内ニ入ルヲ要セス又其兇器ノ使用如何ハ之ヲ問フノ要ナシ

○鑿ヲ携帯シテ人ノ邸内ニ忍入り財物ヲ竊取シタルトキハ縱令其財物ヲ占有スルノ時ニ當リ鑿ヲ携帯セザリシトスルモ持兇器竊盜罪ヲ構成ス

○刑法第三百七十條ノ持兇器竊盜罪ハ兇器ヲ携帯シテ人ノ現ニ住居スル家宅内若クハ現ニ人ノ居住スル家宅ニ非サルモ其家宅所在ノ圍障アル宅地内ニ侵入シ竊盜ヲ爲スニ依リテ成立ス從テ其犯行ノ場所ニ人ノ住居シタルヤ否ヤハ犯罪ノ成立ニ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

○苟クモ官署ノ命令ニ依リ他人ノ看守シタル物件ヲ竊取スルニ於テハ其命令ノ原因如何ニ拘ハラヌ刑法第三百七十一條ノ竊盜罪ヲ構成ス  
○有體動産ニ對スル強制執行ノ如キ封印其他ノ方法ヲ以テ差押ノ要件トスヘキ規定(民事訴訟法第五百六十六條)アル場合ハ格別其他ノ差押ニ付テハ封印等ナキノ一事ヲ以テ直ニ其差押ヲ無効ナリト云フヲ得ス  
○收稅官吏カ間接國稅犯則者處分法ニ基キ犯則者ノ財産ヲ差押ヘ一私人

三六

三六

三七

三七

三七

三七

三七

三七

三七

三七

ヲシテ之ヲ看守セシムル場合ト雖モ刑法第三百七十一條ニ所謂官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時ナリトス從テ之ヲ竊取スルトキハ同條ノ犯罪ヲ構成ス

三五七 七 七

○間税官吏カ證據物件トシテ差押ヲ爲シタル以上ハ縦令差押調書ノ作成ヲ了セサル前ト雖モ其物件ノ占有ハ該官吏ニ移轉シタルモノトス從テ其物件ハ官吏ノ看守ニ係ルモノトス

三六 九二六

○執達吏ノ命令ニ依リ甲ノ長男カ甲ノ所有物ヲ看守シタル場合ニ之ヲ竊取シタル甲ノ所爲ハ長男ノ管督權ヲ侵害シタルニ止マラスシテ直接ニ執達吏ノ官權ヲ侵害シタルモノトス從テ親族互ニ其財物ヲ竊取シタルモノト云フヲ得ス

三六 一四六八

○有體動産ノ差押ヲ受ケタル後債務者カ債務ヲ完済シタルトキハ其差押ハ債權者カ辨濟ヲ受ケタル旨ヲ記載シタル證書ヲ執達吏ニ提出シタル場合ニ於テ之ヲ停止スヘキモノナルモ債務者カ債務ヲ辨濟スルト同時ニ當然其差押ノ效力ヲ失フヘキモノニ非ス從テ其差押ノ解除前差押物件ヲ竊取シタル所爲ハ刑法第三百七十一條ノ犯罪ヲ構成ス

三六 一四六八

○封印破毀罪ト刑法第三百七十一條ノ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守スル自己ノ所有物ヲ竊取スル罪トハ各獨立シタル犯罪ナリトス從テ封印破

毀罪ハ右盜罪ノ成立要件ニ非ス

三六 一四六八

○執達吏カ自己ノ責任ヲ以テ一私人ニ差押物件ノ保管ヲ爲サシメタル場合ト雖モ其保管ハ命令ニ因ル保管ナリト云フコトヲ得從テ刑法第三百七十一條ニ所謂命令中ニハ此場合ヲモ包含スヘキモノトス

三六 一四六八

○刑法第三百七十一條ハ官署ノ命令ニ依リ他人ノ看守シタル自己ノ所有物ヲ竊取シタル場合ヲ規定シ同法第三百九十六條ハ官署ヨリ差押ヘラレタル自己ノ所有物ヲ藏匿脱漏シタル場合ヲ規定シタルモノトス從テ前者ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守中ニ在ルモノニ係リ後者ハ他人カ官署ノ命令ニ因リ看守セサル差押品ニ係ル犯罪ナリトス

三六 一四六八

○刑法第三百七十一條ノ犯罪ハ差押ニ係ルト否トヲ問ハス官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守中ニ在ル自己ノ所有物ヲ竊取スルニ因テ成立ス

三七 二二九四

○執達吏代理カ裁判所ノ命令ニ依リ債務者ノ動産ヲ差押ヘ之ヲ其妻ニ保管セシメタル場合ニ於テハ執行行爲ニ關シ自己ノ責任ニ於テ物件ノ占有ヲ實行セシムルモノニ外ナラス從テ其債務者カ該物件ヲ竊取シタル所爲ハ刑法第三百七十一條ノ犯罪ヲ構成ス

三七 二二九四

○收税官吏カ甲乙丙ノ共有ニ係ル醜ヲ差押ヘ甲者ヲシテ保管セシメタル場合ニ三名共謀ノ上擅ニ之ヲ汲取リタルトキハ乙丙二人ニ對シテハ刑

法第三百七十一條ヲ適用シ甲者ニ對シテハ同第三百九十六條ヲ適用スヘキモノトス

三七

二六四

○刑法第三百七十一條ニ所謂他人ノ看守シタル時トハ官署ニ於テ一旦物件ノ差押ヲ爲シタル上他人ヲシテ保管セシメタル場合ト其差押ヲ爲サスシテ當初ヨリ他人ニ看守セシメタル場合トヲ包含セルモノトス

三七

二六四

○刑法第三百七十一條ニ所謂他人ノ看守シタル時トハ獨リ差押其他ノ權力行爲ニ依リテ所有者ノ物件ヲ取上ケタル官吏カ第三者ヲシテ之ヲ保管セシムル場合ニ限ラス其官吏自ラ保管スル場合モ亦之ニ包含セルモノトス

三七

二七二

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

○田野ニ竊取リアル稻ヲ竊取シタル所爲ハ刑法第三百七十二條ノ田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取シタル者ニ該當ス

三五

三七

第三百七十七條 祖父父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜罪ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス

○刑法第三百七十七條第一項(親屬相盜)ノ規定ハ所有者カ自己ノ物ヲ竊取スルモ罪トナラサル場合ニ限リ親屬カ之ヲ竊取スルモ竊盜ヲ以テ論

セストノ趣旨ニシテ刑法第三百七十一條(準竊盜)ノ如キ自己ノ物ト雖モ之ヲ竊取セハ罪トナルヘキ場合ニ適用スヘキモノニ非ス

三五

三〇

○刑法第三百七十七條ノ同居ノ兄弟トハ同居シタル眞實ノ兄弟ヲ謂フモノニシテ妻ノ兄弟ヲ謂フノ義ニ非ス

三六

一五

○縁組ハ要式契約ニシテ戸籍吏ニ其届出ヲ爲サ、ル間ハ民事ニ於ケルト刑事ニ於ケルトトヲ問ハス其效力ナキモノトス從テ事實上養子ヲ爲シタリトスルモ其届出ナキ間ハ法律上何等ノ關係ヲ生セサルヲ以テ此場合ニ於テハ刑法第三百七十七條ハ之ヲ適用スヘキモノニ非ス

三六

二四一

○執達吏ノ命令ニ依リ甲ノ長男カ甲ノ所有物ヲ看守シタル場合ニ之ヲ竊取シタル甲ノ所爲ハ長男ノ管督權ヲ侵害シタルニ止マラスシテ直接ニ執達吏ノ官權ヲ侵害シタルモノトス從テ親族互ニ其財物ヲ竊取シタルモノト云フヲ得ス

三六

一四六

○刑法第三百七十七條第二項ハ其所謂他人カ實行正犯タルト教唆者タルトヲ論セズ廣ク共犯關係ヲ有スル者ニ適用スヘキ規定ナリトス故ニ竊盜教唆者ノ罪責ヲ定ムルニ當リテハ先ツ其被教唆者カ被害者ト同條第一項ノ身分關係ヲ有スルヤ否ヤヲ決セサルヘカラス

三七

八七六

○刑法第三百七十七條ニ規定スル親族ノ所有物ト雖モ官署ノ命令ニ因リ